

令和 7 年度・
津和野町民意識調査
報 告 書

令和 7 年 12 月
津和野町 つわの暮らし推進課

目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の概要.....	1
(3) 実施期間.....	1
(4) 回収状況.....	1
(5) 報告書の見方.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 回答者自身について	2
(2) 重要度と満足度について	6
(3) 津和野町について	15
(4) 地域幸福度（Well-Being）について	65
(5) クロス集計結果一覧	79

Ⅰ．調査概要

（Ⅰ）調査の目的

この調査は、津和野町民の町政に対する意識についてうかがい、現在策定を進めている「津和野町総合振興計画（津和野町の将来像を描く計画）」の方向性を決める基礎資料として活用することを目的として行いました。

（Ⅱ）調査の概要

調査対象	2025年（令和7年）9月時点で津和野町に住民票を有する18歳以上の市民を各町の人口、年代別人口で案分し、無作為抽出した1,800人
調査方法	紙・Web調査

（Ⅲ）実施期間

期間	内容
2025年（令和7年）9月26日（金）	調査票発送（1,800人） Web調査ページ公開
2025年（令和7年）10月30日（金）	回収締切
2025年（令和7年）11月	集計・分析作業
2025年（令和7年）11月	調査報告書（速報値）作成

（Ⅳ）回収状況

回収数（n）	837件	Web回答数	184件
		紙媒体回答数	653件
回収率	46.5%（837／1,800×100）		

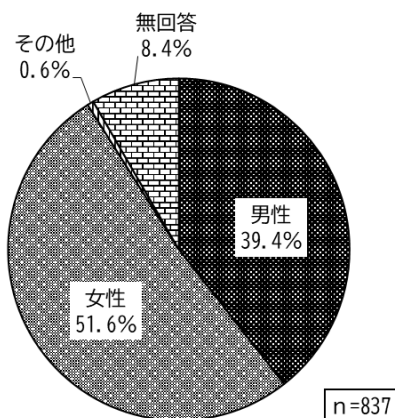
（Ⅴ）報告書の見方

- ① 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示しています。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とまらない場合があります。
- ② 調査結果における「全体」は設問の全回答者数（複数回答が可能な場合は累計回答数）を表しており、「構成比」は全回答に占める各選択肢の回答割合を表しています。
- ③ 調査結果における「n」は、回答者数（複数回答が可能な場合は累計回答数）を表しています。

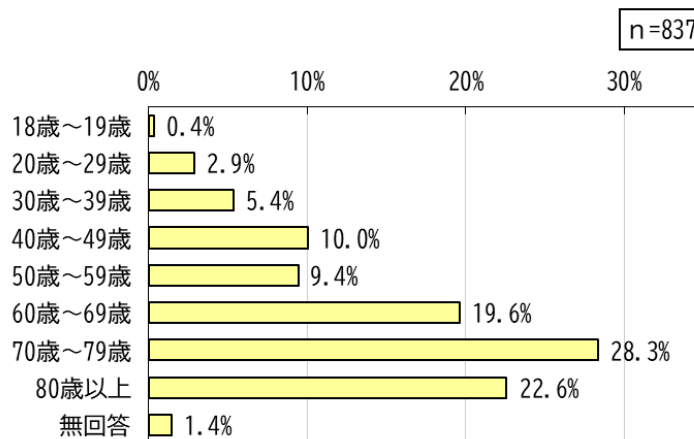
2. 調査結果

(1) 回答者自身について

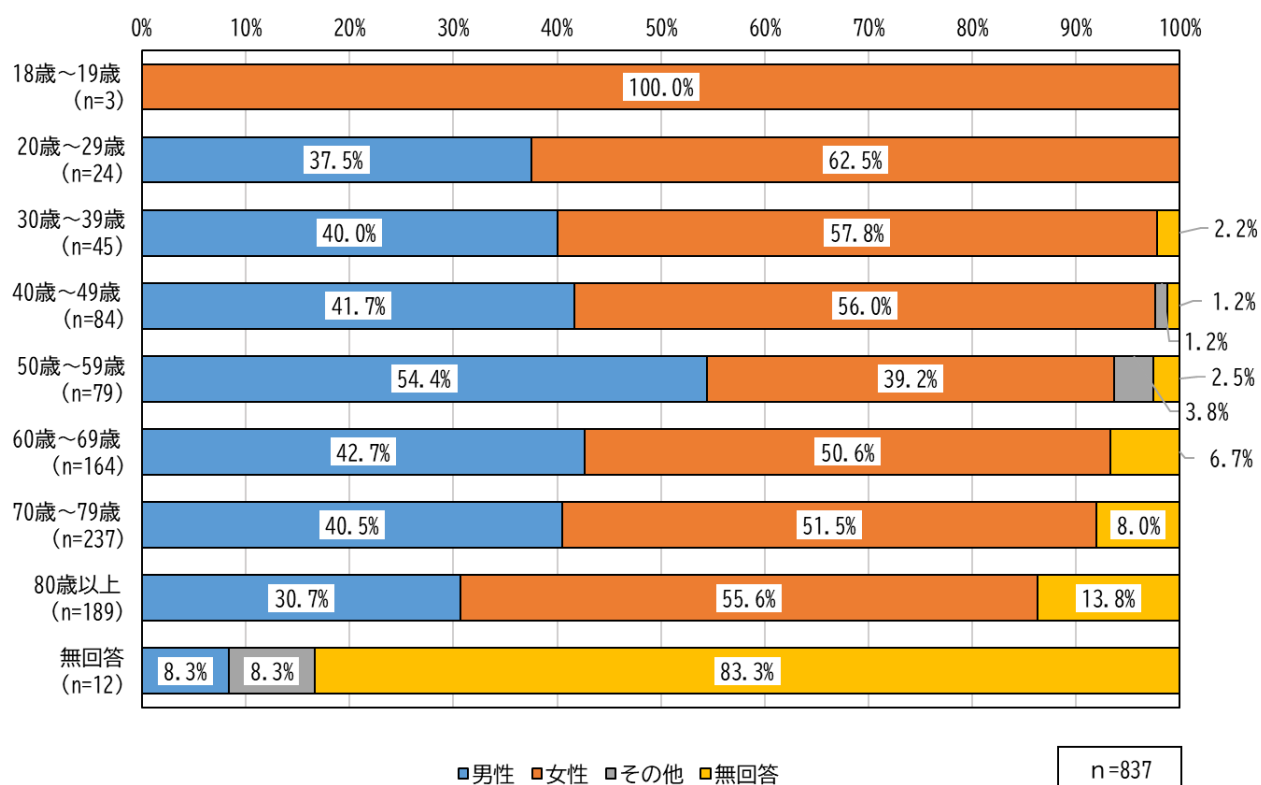
①性別



②年齢

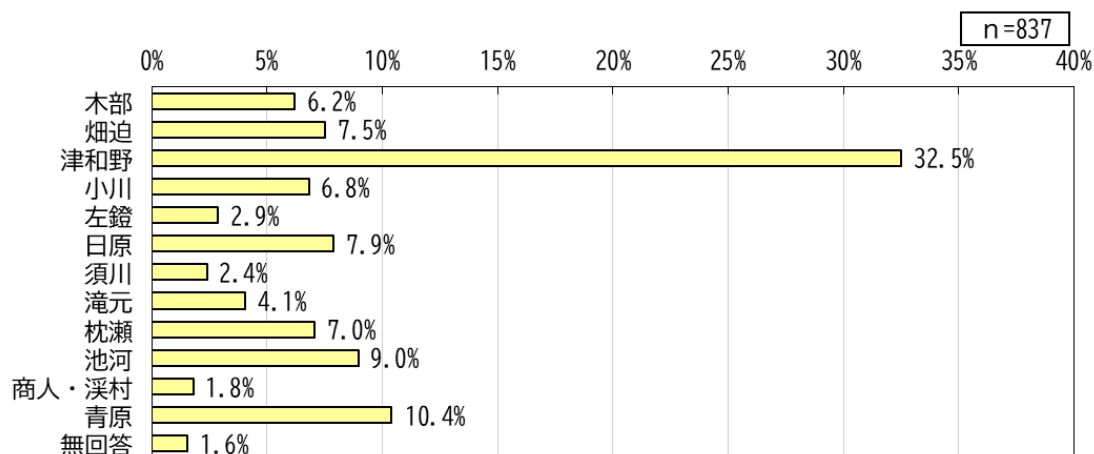


③年齢ごとの性別の割合



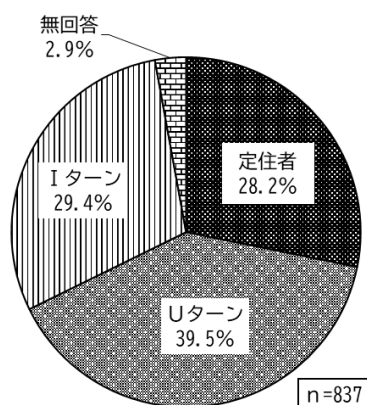
回答者の性別を見ると、「女性」が51.6%と、「男性」39.4%と比べて高くなっています。
また、年代では「70～79歳」が28.3%と最も高くなっています。

④お住まいの地域



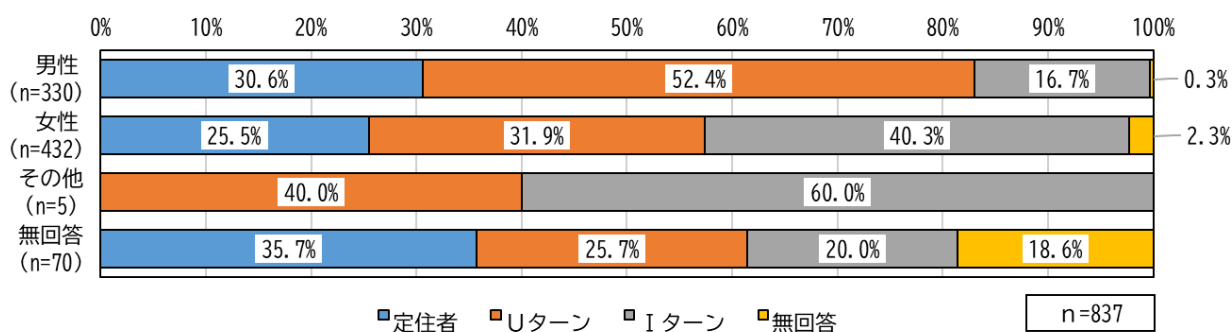
お住まいの地域を見ると、「津和野」32.5%が最も高くなっています。

⑤お住まいの状況



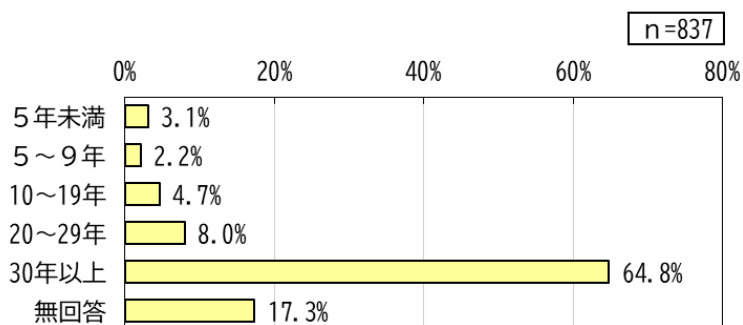
- ・「定住者」 : 生まれてから、ずっと津和野町に住んでいる
- ・Uターン : 津和野町出身であるが一度町外に転出し、現在は津和野町に住んでいる
- ・Iターン : 津和野町以外の出身で、町外から転入し、現在は津和野町に住んでいる

⑥性別ごとのお住まいの状況の割合



お住まいの状況を見ると、「Uターン者」の割合が最も高くなっています。また、性別ごとに見た場合、「男性」は「Uターン者」の割合が、「女性」では「Iターン者」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

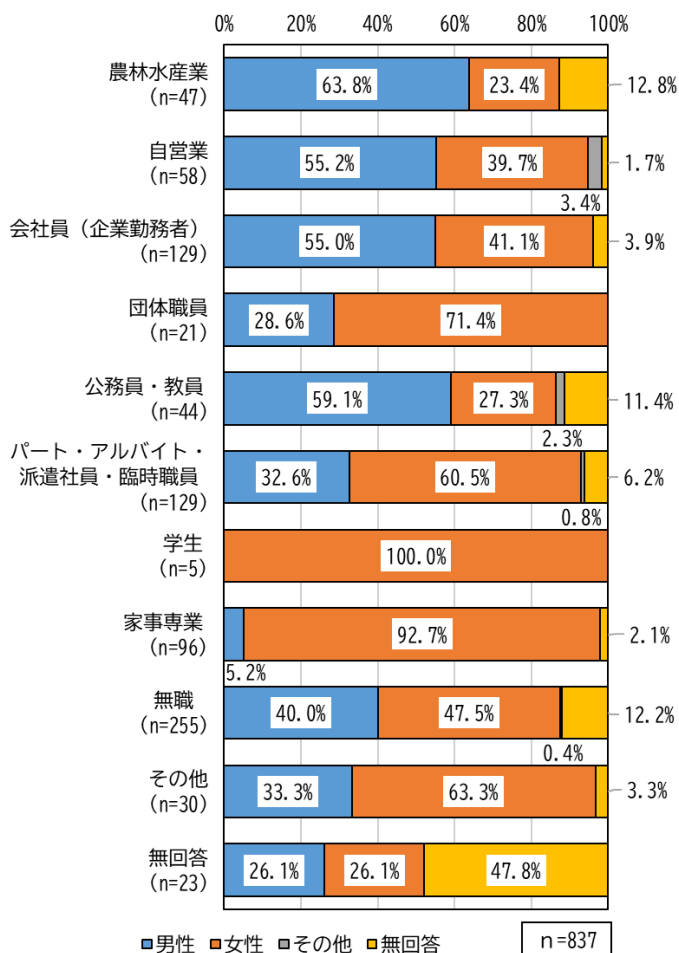
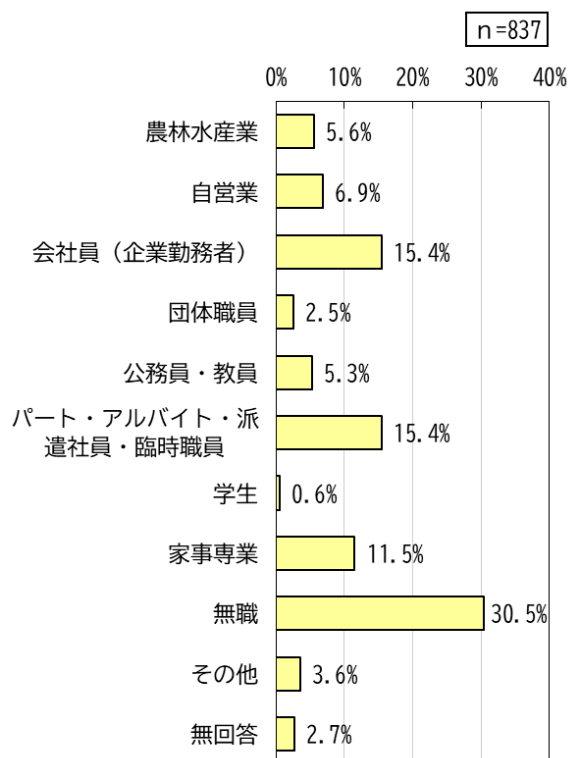
⑦津和野町にお住まいの年数



※Webアンケート作成時の不備により、10月16日までにお答えいただきました129件の回答について、「⑤津和野町にお住まいの年数」の設問が表示されておりませんでした。そのため、129件の回答につきましては「無回答」として集計しております。

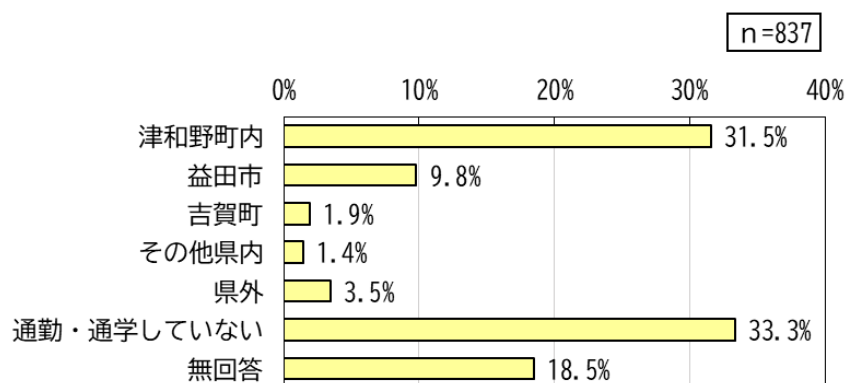
お住まいの年数を見ると、「30年以上」64.8%が突出して高くなっています。

⑧職業

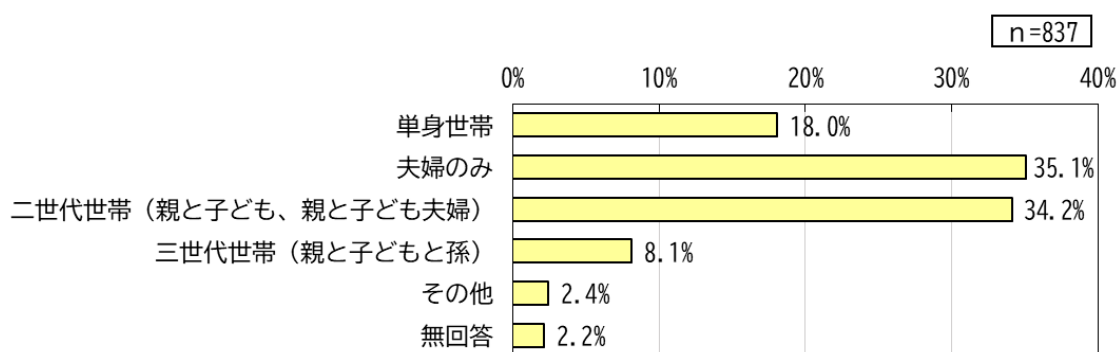


職業を見ると、「無職」30.5%の割合が最も高く、次いで「会社員（企業勤務者）」15.4%、「パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員」15.4%が同率で高くなっています。

⑦通勤・通学先



⑧家族構成



通勤・通学先を見ると、「通勤・通学していない」33.3%の割合が最も高く、通勤・通学している人の中では「津和野町内」31.5%の割合が最も高くなっています。

家族構成を見ると、「夫婦のみ」35.1%の割合が最も高く、「二世帯世帯（親と子ども、親と子ども夫婦）」34.2%が次いで高くなっています。

(2) 重要度と満足度について

問Ⅰ 津和野町のこれまでの取組について、あなたはどのくらい満足していますか。
また、今後どのくらい重要になるとお考えですか。
(各取組について、「満足度（これまでの取組についてどのくらい効果を実感しているか）」と「重要度（今後その取組に対してどれくらい力を入れるべきか）」の5段階の評価のうちそれぞれ1つを選択)

問Ⅰでは津和野町の実施している40の取組（分野別施策とその主要な取組）について、それぞれ「満足度」と「重要度」を5段階で伺っています。40の取組は以下の通りとなります。

No.	分野別施策	主な取組
1	計画的な町の形成	計画的な土地利用、町並み整備と景観対策、伝統的建造物の保存整備、地籍調査の推進
2	上下水道の整備・維持管理	水道施設の整備、水道未普及地域の解消
3	環境の保全	ごみ減量化・再利用化・再資源化の推進、環境教育、再生可能エネルギー等の利活用促進
4	道路の整備・維持管理	国道・県道の整備と利便性の向上、町道・林道・農道の整備と保全
5	交通手段の確保	JR山口線の活性化、町営バス等地域公共交通の整備、萩・石見空港東京路線の利用促進
6	消防・防災体制等の充実	防災体制の整備、消防・防災意識の普及・啓発、消防・防災機能の整備
7	交通安全・防犯体制等の充実	交通安全の推進、防犯体制の推進、消費生活相談の充実と消費者意識啓発推進
8	老朽空き家の対策	老朽空き家の対策
9	公営住宅の整備・維持管理	公営住宅の維持・管理
10	学校教育の振興	教育の魅力化、津和野高等学校の支援、奨学金制度、特別な支援を必要とする教育の推進
11	社会教育の振興	生涯学習の推進、生涯学習施設の活用促進
12	青少年育成	青少年育成活動の充実
13	地域文化の振興	文化・芸術活動の振興、団体等の育成、文化財の保存・活用、伝統文化の継承
14	スポーツの振興	スポーツ・レクリエーション活動充実、スポーツクライミング競技の普及促進

No.	分野別施策	主な取組
15	農林水産業の振興	担い手育成、地産地消・食育活動の推進、観光と農業の連携、自伐型林業による定住施策
16	商工業の振興	商店街の魅力づくり、商工業ビジョン策定、農商連携による6次産業化の推進
17	企業誘致の推進	町外企業への企業訪問、企業進出のための環境整備、ICTへの理解向上
18	地場産業の振興	地場企業の育成
19	起業の促進	起業の促進
20	雇用対策	雇用・就業の支援、新規学卒者の支援
21	観光及びレクリエーションの振興	新しい魅力づくり、宿泊客誘致、観光PR、広域観光の推進、公園等の維持管理
22	津和野ブランドの宣伝活動	津和野ブランドの推進、津和野ブランド化商品の研究開発と流通拡大、宣伝活動の展開
23	健康増進の推進	健康づくりの推進、生活習慣病予防の推進（定期健診・健康相談等）
24	地域福祉の推進	地域福祉活動の促進、ボランティア活動の推進、買い物支援の充実
25	高齢者福祉の充実	生きがいづくり、気軽に集まれる場づくり、福祉サービス・地域包括ケアシステムの充実
26	障がい者福祉の充実	障がい者（児）の自立と社会参加の促進・支援、障がい理解啓発の促進、相談体制の整備
27	児童福祉・子育て支援の推進	家庭・地域の子育て支援、妊産婦や子どもの健康確保、援助を要する子どもや家庭の支援
28	ひとり親家庭等に対する福祉の充実	ひとり親福祉の充実、生活相談・生活指導の充実、経済的自立に向けた就労促進
29	社会保障の充実	健全な国民健康保険の運営、介護保険制度の適正な運営
30	地域医療の確保と充実	医療体制の整備充実、通院手段の確保
31	人権・同和問題と多様性の尊重	人権・同和対策の推進、男女共同参画の推進
32	移住・定住の促進	津和野暮らしの体験推進、ワンストップ相談対応、「住まい」の確保、縁結び支援
33	関係人口の創出	関係人口の拡大、都市農村交流の促進、ふるさと納税寄附者との継続的な繋ぎの維持

No.	分野別施策	主な取組
34	地域間交流の促進	地域間交流の推進、文化交流の推進、国際交流の推進
35	協働のまちづくり	小さな拠点づくりの推進、住民活動団体活動支援及び連携支援
36	信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実、職員の育成、電子行政サービスの充実（e-Tax等）、情報公開と個人情報の保護
37	効果的・効率的な行政運営の推進	計画的な行政運営と効率化の推進（行政評価システムの活用、民間活力を積極的に活用した行政運営等）
38	財政の健全化	適正な財政運営、自主財源の確保（ふるさと納税等）、公共施設等の適正な管理
39	広域行政の推進	広域連携の推進（医療・幹線道路の整備・総合特区・環境問題・地方創生・消防等）
40	地域の情報化の促進	地域の情報化（地域情報や災害時等緊急時の情報発信充実、超高速情報通信環境の活用、移動通信用鉄塔施設等の整備）

以下では各取組の「満足度」について、回答ごとの割合を一覧で示しています。

満足度 : 最も割合の高い項目 : 2 番目に割合の高い項目

No.	分野別施策	全体（人）	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
1	計画的な町の形成	837	4.9%	18.4%	39.8%	22.1%	8.8%	6.0%
2	上下水道の整備・維持管理	837	14.7%	27.5%	39.8%	13.3%	8.4%	4.9%
3	環境の保全	837	7.6%	24.4%	39.8%	15.4%	4.4%	4.7%
4	道路の整備・維持管理	837	5.0%	18.8%	39.8%	30.0%	11.6%	3.9%
5	交通手段の確保	837	3.8%	15.1%	39.8%	25.8%	13.3%	3.6%
6	消防・防災体制等の充実	837	8.4%	22.3%	39.8%	11.1%	3.5%	4.5%
7	交通安全・防犯体制等の充実	837	6.9%	22.3%	39.8%	13.3%	3.6%	4.2%
8	老朽空き家の対策	837	1.4%	6.9%	30.9%	35.0%	21.5%	4.2%
9	公営住宅の整備・維持管理	837	2.6%	8.7%	63.9%	13.6%	5.4%	5.7%
10	学校教育の振興	837	5.4%	22.3%	52.8%	10.2%	3.7%	5.6%
11	社会教育の振興	837	2.9%	14.0%	63.1%	10.9%	3.0%	6.2%
12	青少年育成	837	4.1%	11.4%	64.4%	11.1%	3.1%	6.0%
13	地域文化の振興	837	5.3%	23.9%	50.4%	12.2%	2.7%	5.5%
14	スポーツの振興	837	3.8%	15.4%	62.2%	9.6%	2.9%	6.1%
15	農林水産業の振興	837	2.3%	10.9%	49.1%	22.8%	9.0%	6.0%
16	商工業の振興	837	2.4%	9.6%	44.8%	25.9%	11.2%	6.1%
17	企業誘致の推進	837	1.3%	6.0%	49.2%	22.1%	12.5%	8.8%
18	地場産業の振興	837	1.0%	5.3%	49.1%	25.0%	11.2%	8.5%
19	起業の促進	837	1.4%	3.3%	56.5%	19.4%	10.9%	8.5%
20	雇用対策	837	1.3%	5.0%	45.5%	26.9%	12.9%	8.4%
21	観光及びレクリエーションの振興	837	2.2%	10.2%	46.1%	23.8%	10.5%	7.3%
22	津和野ブランドの宣伝活動	837	2.2%	10.3%	50.5%	21.4%	7.6%	8.0%
23	健康増進の推進	837	9.0%	30.2%	42.9%	9.1%	2.5%	6.3%
24	地域福祉の推進	837	4.7%	21.3%	47.3%	16.6%	4.1%	6.1%
25	高齢者福祉の充実	837	5.6%	20.4%	47.0%	15.4%	5.4%	6.2%
26	障がい者福祉の充実	837	3.6%	12.3%	59.5%	12.7%	4.5%	7.4%
27	児童福祉・子育て支援の推進	837	4.3%	13.7%	57.6%	12.4%	3.8%	8.1%
28	ひとり親家庭等に対する福祉の充実	837	2.9%	9.7%	65.0%	10.8%	3.9%	7.8%
29	社会保障の充実	837	3.3%	16.0%	49.2%	18.2%	6.1%	7.2%
30	地域医療の確保と充実	837	4.1%	14.0%	29.5%	29.2%	17.1%	6.2%
31	人権・同和問題と多様性の尊重	837	2.5%	9.3%	72.8%	5.0%	2.2%	8.2%
32	移住・定住の促進	837	1.9%	9.0%	60.7%	15.1%	5.0%	8.4%
33	関係人口の創出	837	2.0%	6.7%	65.5%	13.5%	3.9%	8.4%
34	地域間交流の促進	837	1.7%	7.4%	70.1%	9.0%	3.2%	8.6%
35	協働のまちづくり	837	2.3%	11.0%	66.7%	9.9%	2.3%	7.9%
36	信頼される行政サービスの提供	837	3.0%	15.7%	53.3%	14.5%	5.3%	8.4%
37	効果的・効率的な行政運営の推進	837	1.8%	8.0%	62.0%	14.5%	5.0%	8.7%
38	財政の健全化	837	2.3%	9.2%	55.8%	17.2%	7.3%	8.2%
39	広域行政の推進	837	2.4%	12.4%	48.7%	21.0%	7.6%	7.8%
40	地域の情報化の促進	837	3.0%	13.1%	57.9%	11.9%	5.3%	8.7%

満足度では、「2. 上下水道の整備・維持管理」14.7%、「23.健康増進の推進」9.0%、「6. 消防・防災体制等の充実」8.4%などで「満足」を選択している人の割合が高くなっています。一方、「8. 老朽空き家の対策」21.5%、「30.地域医療の確保と充実」17.1%、「5. 交通手段の確保」13.3%などで「不満」を選択している人の割合が高くなっています。

以下では各取組の「重要度」について、回答ごとの割合を一覧で示しています。

重要度 : 最も割合の高い項目 : 2 番目に割合の高い項目

No.	分野別施策	全体（人）	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
1	計画的な町の形成	837	25.9%	39.2%	20.1%	4.3%	1.1%	9.4%
2	上下水道の整備・維持管理	837	35.5%	33.1%	19.8%	1.8%	0.5%	9.3%
3	環境の保全	837	30.1%	34.4%	24.0%	1.7%	0.7%	9.1%
4	道路の整備・維持管理	837	36.8%	36.6%	16.6%	1.4%	0.1%	8.5%
5	交通手段の確保	837	34.5%	37.5%	17.6%	1.3%	0.6%	8.5%
6	消防・防災体制等の充実	837	30.6%	35.4%	24.0%	1.1%	0.2%	8.7%
7	交通安全・防犯体制等の充実	837	25.7%	34.4%	29.0%	1.6%	0.4%	9.0%
8	老朽空き家の対策	837	33.2%	39.8%	17.2%	2.3%	0.4%	7.2%
9	公営住宅の整備・維持管理	837	13.6%	26.3%	46.4%	4.2%	0.8%	8.7%
10	学校教育の振興	837	29.0%	29.5%	30.7%	2.0%	0.5%	8.2%
11	社会教育の振興	837	14.6%	28.1%	44.4%	2.9%	1.1%	9.0%
12	青少年育成	837	20.9%	27.0%	40.7%	2.0%	0.8%	8.5%
13	地域文化の振興	837	18.0%	32.3%	36.6%	3.2%	1.2%	8.7%
14	スポーツの振興	837	10.2%	27.8%	46.4%	4.7%	2.3%	8.7%
15	農林水産業の振興	837	31.5%	32.5%	25.1%	1.8%	0.8%	8.2%
16	商工業の振興	837	25.6%	33.2%	28.9%	2.5%	1.3%	8.5%
17	企業誘致の推進	837	24.6%	27.8%	32.6%	2.7%	0.8%	11.4%
18	地場産業の振興	837	26.3%	33.2%	28.0%	0.5%	0.7%	11.4%
19	起業の促進	837	20.3%	27.5%	37.2%	2.6%	1.4%	11.0%
20	雇用対策	837	33.7%	31.4%	23.4%	0.8%	0.1%	10.5%
21	観光及びレクリエーションの振興	837	25.1%	30.7%	30.2%	2.7%	1.2%	10.0%
22	津和野ブランドの宣伝活動	837	23.2%	29.4%	33.7%	1.8%	1.6%	10.4%
23	健康増進の推進	837	29.5%	34.5%	25.2%	0.8%	0.4%	9.6%
24	地域福祉の推進	837	25.0%	35.5%	28.1%	1.4%	0.7%	9.3%
25	高齢者福祉の充実	837	28.8%	34.3%	26.3%	1.2%	0.8%	8.6%
26	障がい者福祉の充実	837	25.1%	35.0%	29.3%	0.6%	0.4%	9.7%
27	児童福祉・子育て支援の推進	837	30.6%	30.8%	27.1%	0.5%	0.6%	10.4%
28	ひとり親家庭等に対する福祉の充実	837	24.6%	32.3%	30.8%	1.6%	0.6%	10.2%
29	社会保障の充実	837	34.1%	33.5%	21.1%	0.8%	0.6%	9.9%
30	地域医療の確保と充実	837	51.6%	26.3%	12.2%	0.6%	0.4%	9.0%
31	人権・同和問題と多様性の尊重	837	12.1%	21.6%	49.7%	3.5%	2.5%	10.6%
32	移住・定住の促進	837	18.0%	27.6%	39.1%	3.3%	1.7%	10.3%
33	関係人口の創出	837	17.6%	26.3%	42.2%	2.5%	1.2%	10.3%
34	地域間交流の促進	837	12.8%	24.5%	47.4%	3.5%	1.8%	10.0%
35	協働のまちづくり	837	13.3%	26.8%	44.4%	2.9%	1.6%	11.1%
36	信頼される行政サービスの提供	837	21.9%	30.7%	34.8%	1.2%	0.7%	10.8%
37	効果的・効率的な行政運営の推進	837	18.6%	29.3%	38.4%	1.7%	0.8%	11.2%
38	財政の健全化	837	29.4%	26.3%	31.1%	1.2%	0.7%	11.4%
39	広域行政の推進	837	32.4%	31.9%	24.9%	0.5%	0.4%	10.0%
40	地域の情報化の促進	837	26.5%	29.5%	32.1%	1.0%	0.5%	10.4%

重要度では、「30. 地域医療の確保と充実」51.6%、「4. 道路の整備・維持管理」36.8%、「2. 上下水道の整備・維持管理」35.5%などで「重要」を選択している人の割合が高くなっています。一方、「31. 人権・同和問題と多様性の尊重」2.5%、「14. スポーツの振興」2.3%、「34. 地域間交流の促進」1.8%などで「重要でない」を選択している人の割合が高くなっています。

続いて、満足度と重要度それぞれの評価を点数化し、各取組の平均点を求めています。

満足度については、「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を4点、「不満」を1点として点数化します。重要度については、「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや重要でない」を4点、「重要でない」を1点として点数化します。その後、各取組の点数を合計したものを、回答総数（837）から「無回答」を除いたもので割り、平均点を求めます。

以上の方法によって算出された各取組の満足度・重要度の平均点は以下の表の通りとなります。

各取組の平均点（満足度・重要度）

■：最も平均点の高い項目 ■：2番目に平均点の高い項目

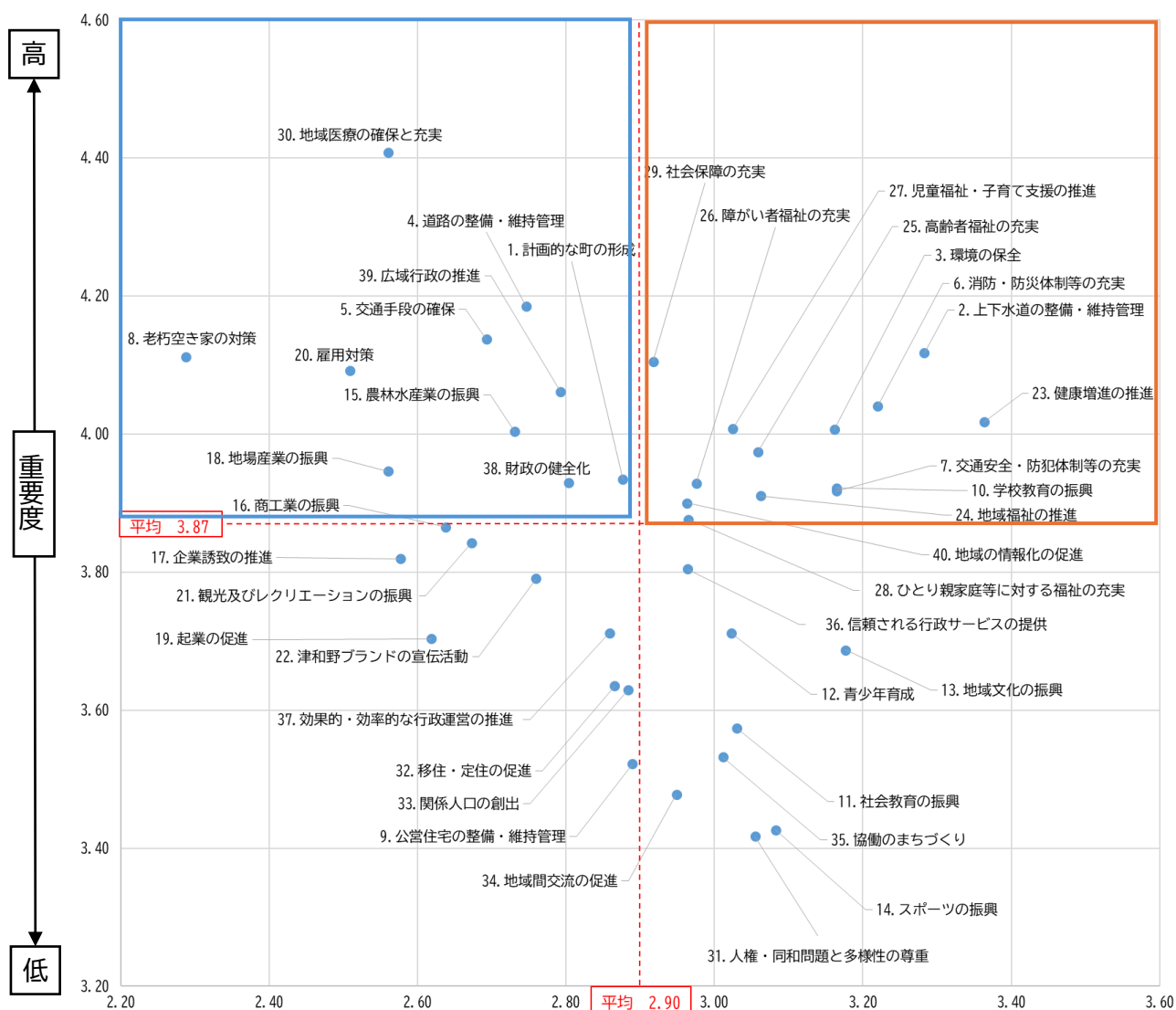
No.	分野別施策	満足度	重要度
1	計画的な町の形成	2.88	3.93
2	上下水道の整備・維持管理	3.28	4.12
3	環境の保全	3.16	4.01
4	道路の整備・維持管理	2.75	4.19
5	交通手段の確保	2.69	4.14
6	消防・防災体制等の充実	3.22	4.04
7	交通安全・防犯体制等の充実	3.16	3.92
8	老朽空き家の対策	2.29	4.11
9	公営住宅の整備・維持管理	2.89	3.52
10	学校教育の振興	3.16	3.92
11	社会教育の振興	3.03	3.57
12	青少年育成	3.02	3.71
13	地域文化の振興	3.18	3.69
14	スポーツの振興	3.08	3.43
15	農林水産業の振興	2.73	4.00
16	商工業の振興	2.64	3.87
17	企業誘致の推進	2.58	3.82
18	地場産業の振興	2.56	3.95
19	起業の促進	2.62	3.70
20	雇用対策	2.51	4.09
21	観光及びレクリエーションの振興	2.67	3.84
22	津和野ブランドの宣伝活動	2.76	3.79
23	健康増進の推進	3.36	4.02
24	地域福祉の推進	3.06	3.91
25	高齢者福祉の充実	3.06	3.97
26	障がい者福祉の充実	2.98	3.93
27	児童福祉・子育て支援の推進	3.02	4.01
28	ひとり親家庭等に対する福祉の充実	2.97	3.88
29	社会保障の充実	2.92	4.10
30	地域医療の確保と充実	2.56	4.41
31	人権・同和問題と多様性の尊重	3.05	3.42
32	移住・定住の促進	2.87	3.64
33	関係人口の創出	2.88	3.63
34	地域間交流の促進	2.95	3.48
35	協働のまちづくり	3.01	3.53
36	信頼される行政サービスの提供	2.96	3.80
37	効果的・効率的な行政運営の推進	2.86	3.71
38	財政の健全化	2.80	3.93
39	広域行政の推進	2.79	4.06
40	地域の情報化の促進	2.96	3.90

満足度では、「23.健康増進の推進」の平均点が最も高く、次いで「2. 上下水道の整備・維持管理」の平均点が高くなっています。一方で、「8. 老朽空き家の対策」の平均点が最も低く、次いで「20. 雇用対策」の平均点が低くなっています。

重要度では、「30.地域医療の確保と充実」の平均点が最も高く、次いで「4. 道路の整備・維持管理」の平均点が高くなっています。一方で、「31. 人権・同和問題と多様性の尊重」の平均点が最も低く、次いで「14.スポーツの振興」の平均点が低くなっています。

満足度と重要度の平均点の分布

各取組の平均点（満足度・重要度）について、以下では縦軸に重要度、横軸に満足度の値を取り、各取組の分布を示しています。赤色の点線はそれぞれ重要度と満足度の全体の平均点を示しています。



グラフにおいて、 で囲まれた部分の施策は重要度・満足度ともに高くなっており、健康増進・福祉・子育て・教育・防災・交通安全・上下水道整備などの内容が該当しています。一方、 で囲まれた部分の施策は重要度が高いにもかかわらず満足度が低くなっており、空き家対策・道路整備・地域医療・産業振興・雇用対策・行政などの内容が該当しています。特に後者については、住民の実際の需要を満たしきれていない可能性があります。

以下では、性別・年齢ごとの満足度・重要度を示しています。各設問、各項目の平均点を、上述の全体の平均点と同様の方法で求めています。

満足度 : 全体平均を上回る項目 : 全体平均を下回る項目

No.	分野別施策	全体平均	性別			年齢							
			男性	女性	その他	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	計画的な町の形成	2.88	2.87	2.89	2.60	3.33	3.42	3.07	2.77	2.84	2.86	2.81	2.94
2	上下水道の整備・維持管理	3.28	3.29	3.26	2.80	3.33	3.88	3.42	3.10	3.11	3.16	3.22	3.57
3	環境の保全	3.16	3.21	3.12	2.40	3.67	3.58	3.18	2.95	2.79	3.11	3.18	3.41
4	道路の整備・維持管理	2.75	2.76	2.75	2.00	3.33	3.13	2.76	2.69	2.72	2.59	2.72	2.91
5	交通手段の確保	2.69	2.75	2.65	1.80	2.33	2.50	2.58	2.36	2.53	2.60	2.80	2.98
6	消防・防災体制等の充実	3.22	3.27	3.19	2.60	3.67	3.29	3.22	2.93	3.22	3.14	3.25	3.41
7	交通安全・防犯体制等の充実	3.16	3.22	3.15	2.60	4.00	3.54	3.27	3.02	3.08	3.15	3.16	3.23
8	老朽空き家の対策	2.29	2.30	2.29	1.60	2.67	2.71	2.29	2.25	2.27	2.15	2.31	2.37
9	公営住宅の整備・維持管理	2.89	2.88	2.91	2.00	2.67	3.17	2.91	2.77	2.73	2.81	2.93	3.03
10	学校教育の振興	3.16	3.19	3.17	2.20	3.00	3.29	3.24	2.98	3.09	3.08	3.22	3.28
11	社会教育の振興	3.03	3.05	3.01	2.60	3.33	3.38	3.20	3.00	2.94	2.91	3.04	3.11
12	青少年育成	3.02	3.04	3.03	2.60	2.67	3.29	3.20	3.06	3.05	2.88	2.98	3.12
13	地域文化の振興	3.18	3.17	3.20	2.40	4.33	3.54	3.36	3.13	3.18	3.04	3.17	3.24
14	スポーツの振興	3.08	3.04	3.12	2.60	4.33	3.33	3.13	3.00	3.04	2.97	3.07	3.22
15	農林水産業の振興	2.73	2.74	2.73	2.00	2.67	3.00	3.00	2.76	2.65	2.63	2.70	2.82
16	商工業の振興	2.64	2.68	2.62	2.20	2.67	2.79	2.84	2.55	2.63	2.60	2.61	2.72
17	企業誘致の推進	2.58	2.48	2.68	2.80	3.33	2.61	2.87	2.58	2.83	2.49	2.43	2.67
18	地場産業の振興	2.56	2.54	2.60	2.80	2.67	3.04	2.82	2.58	2.65	2.51	2.42	2.62
19	起業の促進	2.62	2.59	2.66	3.00	3.33	2.91	2.82	2.65	2.76	2.56	2.54	2.60
20	雇用対策	2.51	2.46	2.57	2.00	4.00	2.75	2.58	2.35	2.51	2.45	2.47	2.66
21	観光及びレクリエーションの振興	2.67	2.69	2.69	2.40	3.33	3.08	2.82	2.58	2.72	2.66	2.57	2.76
22	津和野ブランドの宣伝活動	2.76	2.75	2.79	2.80	3.00	3.17	2.91	2.79	2.82	2.70	2.67	2.80
23	健康増進の推進	3.36	3.27	3.45	2.40	3.33	3.54	3.36	3.31	3.25	3.23	3.46	3.43
24	地域福祉の推進	3.06	2.99	3.14	2.00	3.67	3.54	3.24	3.00	3.04	2.97	3.06	3.08
25	高齢者福祉の充実	3.06	3.01	3.14	2.60	3.00	3.42	3.11	3.10	3.00	2.97	3.08	3.07
26	障がい者福祉の充実	2.98	2.98	3.00	2.40	3.33	3.00	2.98	3.01	3.06	2.93	2.93	3.03
27	児童福祉・子育て支援の推進	3.02	3.59	3.69	3.30	2.67	3.00	3.31	3.06	3.14	2.89	2.97	3.10
28	ひとり親家庭等に対する福祉の充実	2.97	3.55	3.65	3.40	3.67	3.17	3.02	2.94	3.09	2.95	2.88	2.99
29	社会保障の充実	2.92	2.91	2.93	2.20	3.33	3.17	2.93	2.93	2.92	2.81	2.82	3.13
30	地域医療の確保と充実	2.56	2.61	2.52	2.20	3.00	2.79	2.40	2.50	2.66	2.32	2.53	2.85
31	人権・同和問題と多様性の尊重	3.05	3.08	3.04	2.60	3.67	3.04	3.04	2.98	3.12	3.03	3.02	3.14
32	移住・定住の促進	2.87	2.84	2.89	2.20	3.00	3.09	2.80	2.93	2.87	2.84	2.84	2.89
33	関係人口の創出	2.88	2.88	2.88	2.60	2.67	3.29	3.07	2.83	2.86	2.82	2.82	2.97
34	地域間交流の促進	2.95	2.91	2.97	2.80	3.67	3.25	3.00	2.90	2.92	2.87	2.93	3.03
35	協働のまちづくり	3.01	2.98	3.04	2.60	3.33	3.25	3.18	2.99	2.95	2.96	3.00	3.04
36	信頼される行政サービスの提供	2.96	2.96	2.97	2.00	3.67	3.21	2.96	2.81	2.92	2.90	3.01	3.06
37	効果的・効率的な行政運営の推進	2.86	2.86	2.88	2.60	2.67	3.13	2.87	2.85	2.86	2.78	2.84	2.96
38	財政の健全化	2.80	2.81	2.80	2.00	2.67	3.00	2.78	2.70	2.86	2.72	2.76	2.97
39	広域行政の推進	2.79	2.83	2.78	2.00	3.00	3.00	2.87	2.86	2.78	2.63	2.79	2.91
40	地域の情報化の促進	2.96	2.97	2.97	2.20	2.67	3.21	2.87	3.05	2.97	2.87	2.99	3.00

性別で見ると、男女を比較した際、「男性」は交通・環境・地域医療などの内容、「女性」は企業誘致・健康増進・地域福祉などの内容の施策の平均点が特にながくなっています。

年齢で見ると、「18～39歳」・「80歳以上」が全体平均と比べて満足度が高い傾向にある一方で、「40～79歳」は全体平均と比べて満足度が低い傾向にあります。

重要度



: 全体平均を上回る項目



: 全体平均を下回る項目

No.	分野別施策	全体平均	性別			年齢							
			男性	女性	その他	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	計画的な町の形成	3.93	3.97	3.93	3.60	3.67	4.04	4.24	3.72	4.07	3.97	3.91	3.90
2	上下水道の整備・維持管理	4.12	4.15	4.10	4.00	3.33	3.78	4.13	3.95	4.22	4.22	4.16	4.08
3	環境の保全	4.01	3.98	4.05	4.20	3.33	3.65	3.91	3.85	3.97	4.05	4.11	4.01
4	道路の整備・維持管理	4.19	4.27	4.15	3.80	3.33	4.22	4.31	4.11	4.17	4.24	4.19	4.17
5	交通手段の確保	4.14	4.13	4.19	4.60	4.33	4.13	4.33	4.10	4.22	4.11	4.09	4.19
6	消防・防災体制等の充実	4.04	4.04	4.06	3.40	3.67	3.96	3.84	3.95	3.85	4.04	4.13	4.14
7	交通安全・防犯体制等の充実	3.92	3.94	3.92	3.40	4.00	3.91	3.80	3.83	3.77	3.85	4.00	4.05
8	老朽空き家の対策	4.11	4.14	4.13	4.20	4.00	4.04	4.36	4.06	4.01	4.14	4.11	4.11
9	公営住宅の整備・維持管理	3.52	3.53	3.53	3.80	4.00	3.96	3.77	3.37	3.59	3.55	3.45	3.51
10	学校教育の振興	3.92	3.91	3.96	4.00	4.33	4.13	4.04	3.90	3.94	3.92	3.86	3.97
11	社会教育の振興	3.57	3.48	3.64	3.80	3.67	3.57	3.80	3.42	3.56	3.53	3.56	3.68
12	青少年育成	3.71	3.67	3.75	3.40	4.00	3.57	3.60	3.64	3.71	3.65	3.71	3.89
13	地域文化の振興	3.69	3.63	3.70	3.80	3.00	3.83	3.76	3.48	3.65	3.67	3.71	3.79
14	スポーツの振興	3.43	3.39	3.44	3.60	3.33	3.70	3.36	3.26	3.45	3.42	3.39	3.57
15	農林水産業の振興	4.00	3.99	4.03	4.20	4.00	4.22	4.11	3.98	4.01	4.00	3.96	4.05
16	商工業の振興	3.87	3.88	3.87	4.00	2.67	3.87	4.04	3.84	3.84	3.86	3.84	3.94
17	企業誘致の推進	3.82	3.90	3.75	3.40	2.67	3.95	3.87	3.70	3.66	3.76	3.94	3.84
18	地場産業の振興	3.95	3.96	3.93	3.60	4.00	3.59	4.11	3.84	3.88	3.95	3.99	3.99
19	起業の促進	3.70	3.71	3.71	3.00	3.67	3.55	3.89	3.55	3.56	3.59	3.81	3.80
20	雇用対策	4.09	4.07	4.12	4.60	3.33	4.17	4.27	4.21	4.14	4.11	4.07	3.97
21	観光及びレクリエーションの振興	3.84	3.79	3.87	3.60	4.00	3.91	3.96	3.89	3.75	3.74	3.88	3.88
22	津和野ブランドの宣伝活動	3.79	3.76	3.83	3.40	4.00	3.70	4.16	3.78	3.77	3.74	3.73	3.87
23	健康増進の推進	4.02	3.92	4.08	3.60	4.00	3.96	4.13	3.80	3.99	3.98	4.01	4.17
24	地域福祉の推進	3.91	3.81	3.98	4.20	4.00	3.87	3.98	3.71	3.86	3.92	3.89	4.05
25	高齢者福祉の充実	3.97	3.84	4.07	3.80	3.67	4.04	4.04	3.77	4.04	3.94	3.96	4.09
26	障がい者福祉の充実	3.93	3.85	3.98	3.80	3.00	3.96	3.96	3.84	3.76	3.97	3.91	4.07
27	児童福祉・子育て支援の推進	4.01	4.04	4.09	3.90	4.33	4.13	4.33	4.10	3.94	4.03	3.98	3.92
28	ひとり親家庭等に対する福祉の充実	3.88	3.81	3.91	4.00	3.33	3.83	4.02	3.73	3.83	3.81	3.90	4.02
29	社会保障の充実	4.10	4.07	4.14	4.00	3.33	3.91	4.09	3.94	4.06	4.09	4.15	4.22
30	地域医療の確保と充実	4.41	4.37	4.44	4.60	4.00	4.17	4.56	4.32	4.46	4.39	4.44	4.43
31	人権・同和問題と多様性の尊重	3.42	3.30	3.49	3.60	3.33	3.74	3.53	3.27	3.40	3.46	3.32	3.54
32	移住・定住の促進	3.64	3.63	3.65	4.20	3.67	3.87	3.82	3.51	3.56	3.59	3.58	3.79
33	関係人口の創出	3.63	3.64	3.62	3.60	4.00	3.57	3.93	3.39	3.69	3.54	3.63	3.76
34	地域間交流の促進	3.48	3.45	3.51	3.40	3.33	3.61	3.60	3.30	3.33	3.41	3.46	3.71
35	協働のまちづくり	3.53	3.53	3.53	3.20	3.33	3.48	3.62	3.38	3.49	3.49	3.50	3.74
36	信頼される行政サービスの提供	3.80	3.85	3.78	4.40	3.00	3.74	3.87	3.72	3.85	3.81	3.73	3.94
37	効果的・効率的な行政運営の推進	3.71	3.72	3.72	3.80	4.00	3.74	3.96	3.64	3.73	3.57	3.75	3.78
38	財政の健全化	3.93	3.98	3.92	4.00	4.00	3.57	4.24	3.95	3.92	3.94	3.91	3.95
39	広域行政の推進	4.06	4.01	4.11	4.00	4.00	3.83	4.07	3.90	4.00	4.04	4.16	4.12
40	地域の情報化の促進	3.90	3.85	3.96	3.80	4.00	3.57	4.11	3.79	3.90	3.89	3.92	3.97

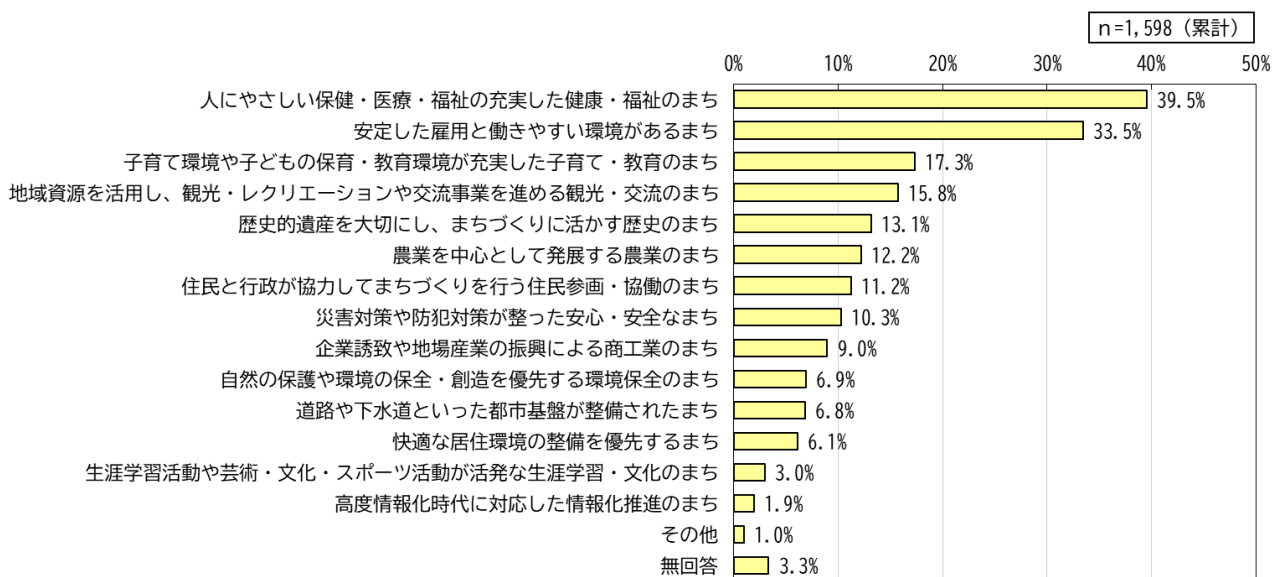
性別で見ると、男女を比較した際、「男性」は企業誘致・道路整備などの内容、「女性」は高齢者福祉・多様性尊重・地域福祉などの内容の施策の平均点が特になくなっていきます。

年齢で見ると、「20～29歳」・「80歳以上」が全体平均と比べて重要度が高い傾向にあります。

(3) 津和野町について

問2 あなたは津和野町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。
(2つまで選択可)

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	農業を中心として発展する農業のまち	102	12.2%
2	企業誘致や地場産業の振興による商工業のまち	75	9.0%
3	地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち	132	15.8%
4	安定した雇用と働きやすい環境があるまち	280	33.5%
5	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち	145	17.3%
6	人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち	331	39.5%
7	災害対策や防犯対策が整った安心・安全なまち	86	10.3%
8	快適な居住環境の整備を優先するまち	51	6.1%
9	自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち	58	6.9%
10	道路や下水道といった都市基盤が整備されたまち	57	6.8%
11	高度情報化時代に対応した情報化推進のまち	16	1.9%
12	生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化のまち	25	3.0%
13	歴史的遺産を大切にし、まちづくりに活かす歴史のまち	110	13.1%
14	住民と行政が協力してまちづくりを行う住民参画・協働のまち	94	11.2%
15	その他	8	1.0%
	無回答	28	3.3%
	全体(累計)	1,598	190.9%



※回答者数は837人ですが、1人につき2つまで選択可能なため、全体の累計人数は837を超えています。

「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」39.5%、「安定した雇用と働きやすい環境があるまち」33.5%、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」17.3%の順で、選択している人の割合が高くなっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

●性別で見ると、男女ともに「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」、「安定した雇用と働きやすい環境があるまち」の順で選択している人の割合が高くなってい

ます。

●年齢で見ると、「18～19歳」は「住民と行政が協力してまちづくりを行う住民参画・協働のまち」、「20～29歳」は「地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち」、「30～49歳」は「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」、「50～59歳」、「70歳以上」は「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」、「60～69歳」は「安定した雇用と働きやすい環境があるまち」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

●地域で見ると、「木部」・「畑迫」・「津和野」・「左鐙」・「須川」・「枕瀬」・「池河」・「商人・溪村」・「青原」は「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」、「小川」・「日原」・「滝元」は「安定した雇用と働きやすい環境があるまち」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。ほとんどの地域で、上記のうち異なる方が2番目に高い選択肢となっていますが、「木部」のみ「農業を中心として発展する農業のまち」が2番目に高い選択肢となっています。

●お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」、「安定した雇用と働きやすい環境があるまち」の順で選択している人の割合が高くなっています。

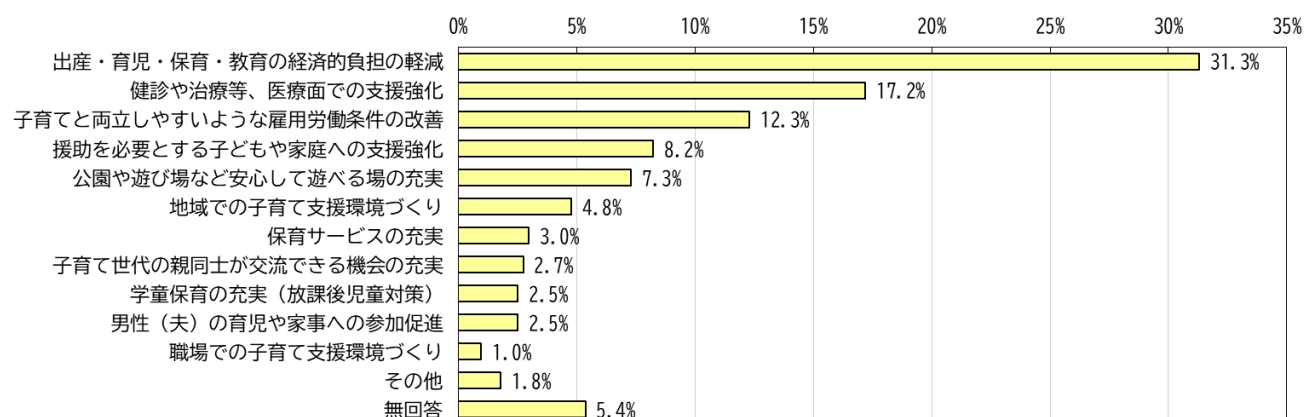
●職業で見ると、「農林水産業」は「農業を中心として発展する農業のまち」と「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」、「自営業」・「団体職員」・「パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員」・「家事専業」・「無職」は「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」、「会社員（企業勤務者）」は「安定した雇用と働きやすい環境があるまち」、「公務員・教員」・「学生」は「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

問2 その他の意見
美観地区の徹底管理、四季にあった公園作り
この地で生きていける町づくり、お金も必要、収入がないと生きられない。
働きながら農的に生活できるまち
企業誘致、農業の振興に力を入れ定住人口が増えること
林業のまち
熊の駆除
一人住まいの人が多いので目の行き届く行政サービスをお願いしたい
人口増加に向け都会化
完全閉鎖都市（街）
事業を立ち上げて応援する気風より自分達より豊かになるのを嫌う気質である様に昔より感じている。日原より津和野の方が強く、事業が伸びない！町全体で広報に協力したり、色々力添えしてやる町であって欲しいと思う。
全部じゃないですか？

問3 津和野町をより子育てしやすい環境にするために、今後特に力を注ぐべき取組は
何だと思いますか。(1つ選択)

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減	262	31.3%
2	健診や治療等、医療面での支援強化	144	17.2%
3	援助を必要とする子どもや家庭への支援強化	69	8.2%
4	公園や遊び場など安心して遊べる場の充実	61	7.3%
5	保育サービスの充実	25	3.0%
6	学童保育の充実(放課後児童対策)	21	2.5%
7	子育て世代の親同士が交流できる機会の充実	23	2.7%
8	地域での子育て支援環境づくり	40	4.8%
9	職場での子育て支援環境づくり	8	1.0%
10	子育てと両立しやすいような雇用労働条件の改善	103	12.3%
11	男性(夫)の育児や家事への参加促進	21	2.5%
12	その他	15	1.8%
	無回答	45	5.4%
	全体	837	100.0%

n=837



「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」31.3%が突出して高く、次いで「健診や治療等、医療面での支援強化」17.2%、「子育てと両立しやすいような雇用労働条件の改善」12.3%を選択している人の割合が高くなっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

●性別で見ると、男女ともに「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」、「健診や治療等、医療面での支援強化」の順で選択している人の割合が高くなっています。

●年齢で見ると、「18～19歳」は「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」・「援助を必要とする子供や家庭への支援強化」・「地域での子育て支援環境づくり」、「20～29歳」は「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」・「健診や治療等、医療面での支援強化」、「30歳以上」は「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

●地域で見ると、「須川」のみ「健診や治療等、医療面での支援強化」を選択している人の割合が最も高くなっています。その他の地域では「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」を選択している人の割合が最も高くなっています。

●お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」、「健診や治療等、医療面での支援強化」の順で選択している人の割合が高くなっています。

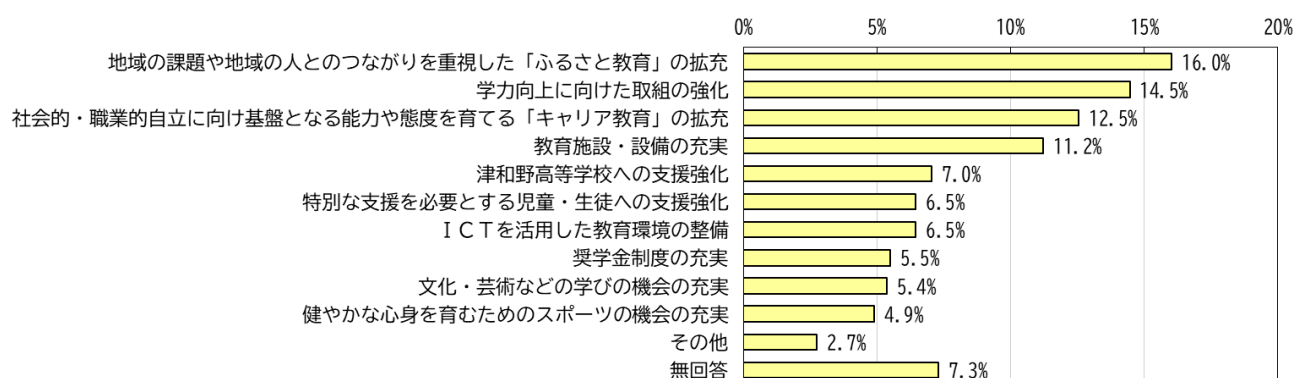
●職業で見ると、いずれの職業でも「出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減」を選択している人の割合が最も高くなっています。

問3 その他の意見
子育てする保護者にとってくらしやすいまちづくり
まず子供が少ないので若い人が住みやすい環境づくりが必要
若い人が逃げていくようなことしかない集団の圧力がある限り消滅していきます。保育園もどこも最悪だと思いました。
医療の充実
町内には産婦人科が無く、里帰り出産は難しい。里帰り出産となると益田まで行か無いと無理なので急な時を考えると不安だと思う。
昔は医大の共有病院で先生が来たりして見てもらっていたが今は益田、出雲、宇部、山口に出ていかないといけなくなった。救急の場合も他病院に行くのではなく、地元で安心して診て欲しいものです。
男性（夫）の育児や家事への参加促進はもちろん、それを理解し支えられる社会の形成。共働きはもはやスタンダードなので、子育てと両立しやすい雇用労働条件の改善。
正社員を絶対確保できる環境
（しっかりした教育（学力・態度・マナー・考え方）を身につけさせる体制づくり・中間層を上げていく）
幼児教育の高品質化
人口対策No1重要、町として人口対策は向上はしているが0である、他町より思い切った事をやる事が重要。
少子化対策を
自分たちは苦しくてもやってきた、今は考えが甘い。
あてはまらない

問4 津和野町の教育環境をより充実したものとするために、今後特に力を注ぐべき取組は何だと思いますか。(1つ選択)

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	学力向上に向けた取組の強化	121	14.5%
2	教育施設・設備の充実	94	11.2%
3	特別な支援を必要とする児童・生徒への支援強化	54	6.5%
4	ICTを活用した教育環境の整備	54	6.5%
5	文化・芸術などの学びの機会の充実	45	5.4%
6	健やかな心身を育むためのスポーツの機会の充実	41	4.9%
7	地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充	134	16.0%
8	社会的・職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」の拡充	105	12.5%
9	津和野高等学校への支援強化	59	7.0%
10	奨学金制度の充実	46	5.5%
11	その他	23	2.7%
	無回答	61	7.3%
	全体	837	100.0%

n=837



「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」16.0%、「学力向上に向けた取組の強化」14.5%、「社会的・職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」の拡充」12.5%の順で、選択している人の割合が高くなっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

●性別で見ると、男女ともに「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」を選択している人の割合が最も高く、次いで、「男性」では「教育施設・設備の充実」の割合が、「女性」では「学力向上に向けた取組の強化」の割合が高くなっています。

●年齢で見ると、「18～19歳」は「特別な支援を必要とする児童・生徒への支援強化」・「ICTを活用した教育環境の整備」・「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」、「20～29歳」は「ICTを活用した教育環境の整備」、「30～39歳」は「教育施設・設備の充実」、「40～59歳」は「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふ

るさと教育」の拡充」、「60～69歳」は「学力向上に向けた取組の強化」、「70歳以上」は「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

●地域で見ると、「木部」・「畑迫」・「日原」・「池河」・「商人・溪村」は「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」、「津和野」・「須川」・「滝元」・「青原」は「学力向上に向けた取組の強化」、「小川」は「教育施設・設備の充実」、「左鐙」・「枕瀬」は「社会的・職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」の拡充」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

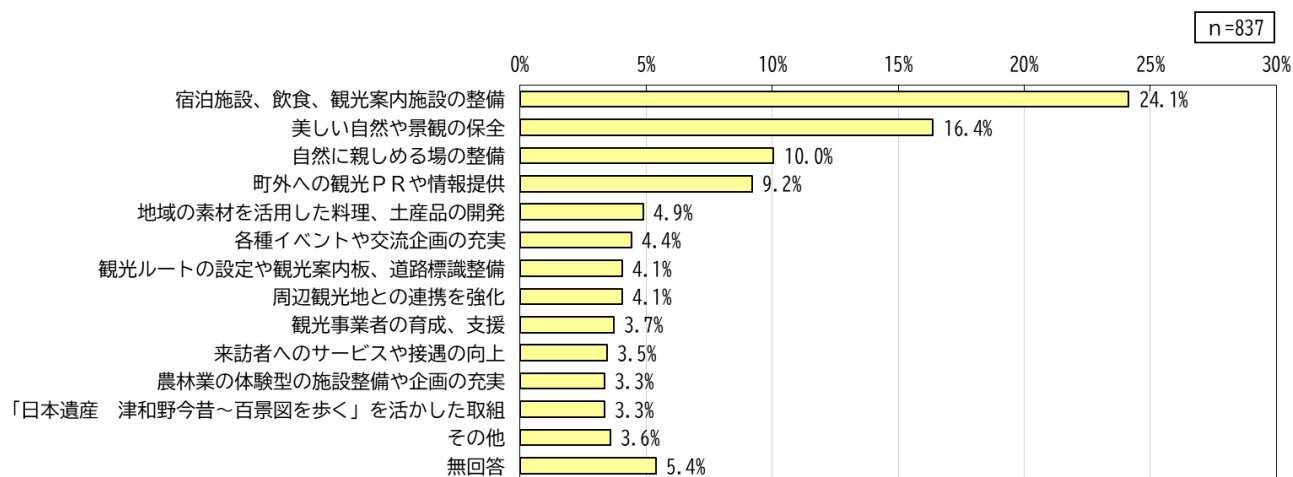
●お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」を選択している人の割合が最も高くなっています。また、「定住者」は「学力向上に向けた取組の向上」、「Uターン者」は「社会的・職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」の拡充」の割合がそれぞれ同率で最も高くなっています。

●職業で見ると、「農林水産業」・「公務員・教員」・「無職」は「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」、「自営業」・「パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員」は「地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充」と「社会的・職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」の拡充」、「会社員（企業勤務者）」・「団体職員」は「社会的・職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」の拡充」、「学生」は「ICTを活用した教育環境の整備」、「家事専業」は「学力向上に向けた取組の強化」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

問4 その他の意見
他ではできない津和野町ならではの特化した教育
生活として不便な所もあるが都会にはない環境の良さ。ふるさと教育はとても大事だと思う。大人が自分の生まれ育ったところはとても素晴らしいと子供に常に話をしていくことが大切と思う。
地域それぞれの特性を生かしたコミュニティの維持・復活
英会話、英語力の強化。よその地域では当たり前と話せる教育環境が整えられている。
独自の発想を基にした教育（森鷗外）
子どもの個性、特技を見つけ、おおいに伸ばしていけるよう支援してあげる。
ギフテッド重点支援
まず小中高すべてトイレを洋式にするところからじゃないです？環境を整えてからでは。
人工芝のグラウンド。野球、サッカーなどスポーツができる施設を作って健やかな心身を育む！
小学校、中学校派の支援強化
大学のキャンパスを作るべき。高校迄いても県東部、県外へ行かなければいけないのはハードルが最初から高い！
ひと学年のある程度の人数。（一クラス30人とかになるような統合等の検討）
各家庭が平和であることです。教育に愛情が注がれること、経済的余裕がないと愛情が注がれません。
先生方が働きやすい環境を整備
環境ではなく個人の努力
充実した教育を受けた立派な人は皆出ていく。
都市計画から考えるか、こちらから都市計画を立てるのかで考えは変わると思います。
年令、障害者、自分の事しか考えられない。
当てはまらない

問5 津和野町が観光をさらに振興するために、今後特に力を注ぐべき取組は何だと思いますか。(1つ選択)

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	美しい自然や景観の保全	137	16.4%
2	自然に親しめる場の整備	84	10.0%
3	宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備	202	24.1%
4	観光ルートの設定や観光案内板、道路標識整備	34	4.1%
5	地域の素材を活用した料理、土産品の開発	41	4.9%
6	各種イベントや交流企画の充実	37	4.4%
7	農林業の体験型の施設整備や企画の充実	28	3.3%
8	「日本遺産 津和野今昔～百景図を歩く」を活かした取組	28	3.3%
9	観光事業者の育成、支援	31	3.7%
10	来訪者へのサービスや接遇の向上	29	3.5%
11	町外への観光PRや情報提供	77	9.2%
12	周辺観光地との連携を強化	34	4.1%
13	その他	30	3.6%
	無回答	45	5.4%
	全体	837	100.0%



「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」24.1%、「美しい自然や景観の保全」16.4%、「自然に親しめる場の整備」10.0%の順で、選択している人の割合が高くなっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

●性別で見ると、男女ともに「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」、「美しい自然や景観の保全」の順で選択している人の割合が高くなっています。

●年齢で見ると、「18～19歳」は「美しい自然や景観の保全」・「自然に親しめる場の整備」・「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」、「20～79歳」は「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」、「80歳以上」は「美しい自然や景観の保全」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

●地域で見ると、「小川」は「美しい自然や景観の保全」と「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」、「左鐙」は「美しい自然や景観の保全」を選択している人の割合が最も高くなっ

ています。それ以外の地域では「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」を選択している人の割合が最も高くなっています。

●お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」ともに「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」、「美しい自然や景観の保全」の順で選択している人の割合が高くなっています。

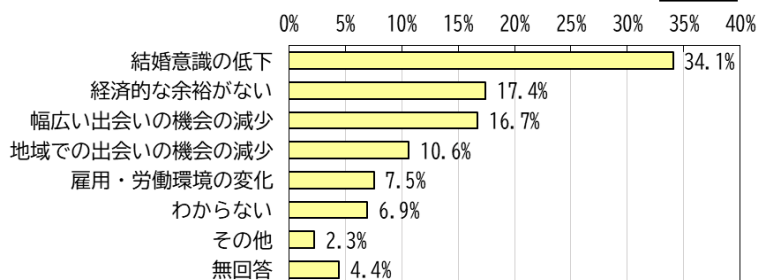
●職業で見ると、「自営業」は「美しい自然や景観の保全」、「学生」は「自然に親しめる場の整備」と「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」を選択している人の割合が最も高くなっています。それ以外の職業では「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」を選択している人の割合が最も高くなっています。

問5 その他の意見
どこにでもある観光をまねるのではなく、津和野独自を作る
どこにでもあるような紹介ではなく、何かに特化した魅力、楽しめる体験をどんどん発信していく。マラソン、ロードバイク、川、陶芸、お茶イベント…外からも参加してもらえるような、外国の人も楽しめる体験型イベントなど。
安来の「足立美術館」や松江の「由志園」のような、芸術・庭園・特産物が融合した観光施設。前記施設の協力を仰ぎ、津和野らしい鯉・花菖蒲・紅葉・桜・栗・柿などの動植物と城下町の町並みが楽しめる観光施設を誘致すると、城下町としての情緒が高まり、観光客を呼び込めると思います。
観光客が来る歴史の町。と一括りにしても、興味を持って主体的に勉強したい人が現地に来ているのは全体の1%もないと思う。観光と言うより、気軽にお出かけで来た人でも、津和野百景図（江戸時代）～明治維新前後の近世に津和野の人物がどう関わっていたのか？を伝えられる文言を、主要な観光スポットに掲示しては？
富裕層特化型のブランディング
町内に温泉を巡らす
ドラマ・映画等ロケ地招致
田舎は田舎で良いがモダンにしない
安めの宿泊施設と飲食店増加
町なかの商店がお店を17時で閉めない
スマホ決済が出来るように 今時 現金払いの所はない
SNSのインフルエンサーを利用した宣伝
この町でしかない食品（アユ、ブドウ、メロンの拡大）
事業承継の支援を強化。承継したくなる事業をつくっていく。伝統と革新を創出するための糸口を模索して欲しい。
観光客と住民の繋がりを強化する。
現状の取り組みでは変わらない、外部者からの新しい意見を取り入れたらどうか。
大型無料駐車場の確保 イベントに参加するのに駐車場探しに苦労します。町民は無料で停められる場所がほしいです
駐車場の増加
草刈りをまめに、トイレの整備（公民館とかトイレ臭いしヤバイ）子供をつれて行こうと思えない観光地。グーグルの口コミ見て下さい、やばかったですよ。
町内を他から見て（9号線からの景観）きれいな町に見えるように町内を歩いてきれいと思える町、新しくするのはなく美しく保存する。
グラウンド！試合誘致で温泉、食事、ついでに観光！
近辺、市町村在住をふくめた外国人観光への対策、特に言葉や日本のルール
13, インバウンドを入れない！
観光従業者とそうでない町民はどう生きるか。
観光に力を入れるべきではない
中途半端に観光地化にしないでいいと思います。
なにもかも求めて雑に終わる計画は何にもなれないと思います。
必要なし
いらない！！
わからない

問6 近年全国的に未婚化が進んでおり津和野町でも同様の傾向が見られます。
未婚化が進む主な要因は何だと思われますか。(1つ選択)

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	幅広い出会いの機会の減少	140	16.7%
2	地域での出会いの機会の減少	89	10.6%
3	結婚意識の低下	285	34.1%
4	経済的な余裕がない	146	17.4%
5	雇用・労働環境の変化	63	7.5%
6	わからない	58	6.9%
7	その他	19	2.3%
	無回答	37	4.4%
	全体	837	100.0%

n=837



「結婚意識の低下」34.1%が突出して高く、次いで「経済的な余裕がない」17.4%、「幅広い出会いの機会の減少」16.7%の順で選択している人の割合が高くなっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

●性別で見ると、男女ともに「結婚意識の低下」を選択している人の割合が最も高く、次いで、「男性」では「経済的な余裕がない」の割合が、「女性」では「幅広い出会いの機会の減少」の割合が高くなっています。

●年齢で見ると、「18～19歳」は「経済的な余裕がない」、「20～29歳」は「幅広い出会いの機会の減少」、「30歳以上」は「結婚意識の低下」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。

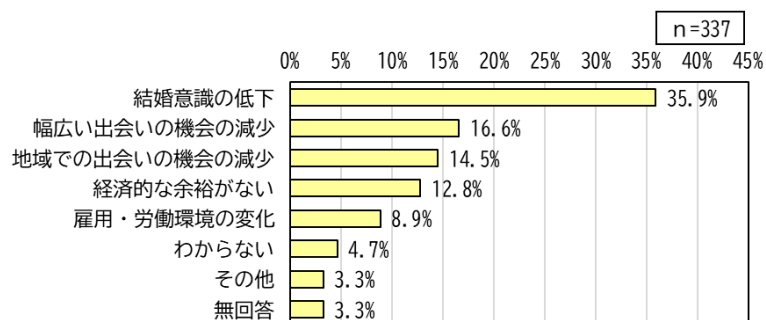
●地域で見ると、「商人・溪村」は「幅広い出会いの機会の減少」と「地域での出会いの機会の減少」の選択している人の割合が最も高くなっています。それ以外の地域では「結婚意識の低下」を選択している人の割合が最も高くなっています。

●お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「結婚意識の低下」を選択している人の割合が最も高く、次いで、「定住者」では「幅広い出会いの機会の減少」の割合が、「Uターン者」・「Iターン者」では「経済的な余裕がない」の割合が高くなっています。

●職業で見ると、「団体職員」・「学生」は「経済的な余裕がない」を選択している人の割合

が最も高くなっています。それ以外の職業では「結婚意識の低下」を選択している人の割合が最も高くなっています。

以下は、前回行った住民意識調査（令和元年実施、回収数337/1000）における同じ質問内容の結果です。

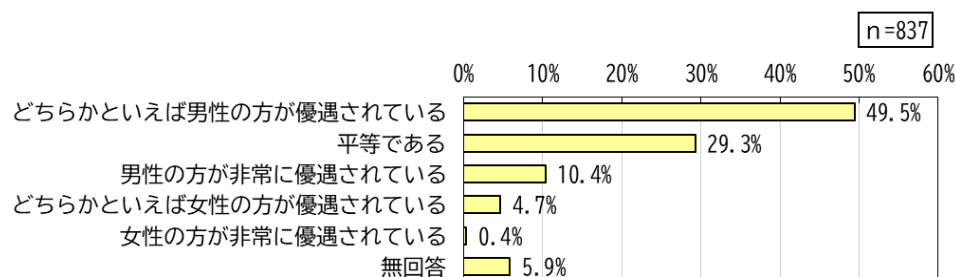


突出して最も割合の高い項目が「結婚意識の低下」であることは変わっていない一方で、前回結果と今回結果を比較すると「経済的な余裕がない」の割合が高くなっています。

問6 その他の意見
個人の生活を優先したい人の増加
結婚の必要性を感じない
メリットがない
結婚している人達が幸せそうに見えてない大変そう
少子化で若者が少なくなった
当方は幸いにして（？）既婚者ですが…、もう全国的な国民の経済的困窮や貧困化は言うまでもないですし、この津和野地域においても人口減少&少子高齢化…これが最大の原因じゃないですか？ 住居地周辺、職場関係周辺見渡しても結婚対象になりそうな同世代や多少の年の差の未婚者がほぼ居ないんですよ。「そもそも人がいない」…という感じです。
女性（若い）の流出のため。
他県に出た若者が、津和野に帰って子育てをしたいと思わないから。津和野に定住していれば出会いもない。県外へ出た者を呼び戻す事が重要！
都会での未婚と田舎での未婚の原因は別にあると思う。女性の活躍が社会で増える一方、特に田舎は女性はこうあるべきと言う価値観を持っている人が性別に関わらず多いと感じる。
単にここに住みたくないし、価値観が古すぎるからみんな町外に出て結婚してるだけだと思う。都会の人は自分に忙しいからしなだけ。結婚がすべてじゃない。
津和野町では若者が住みたいと思う環境や労働環境がないのでは 若者が定住すれば未婚化はふせげるように思う。若者がいない いないと出会いもへりますし。
収入の安定がない方が多い。魅力的ではない。
将来に希望が持てない
むかしは飲み会が多かった
7（言いにくいかもしれないけど、結婚して、新しい家族を持つと言うことは、人類のために必要と思う。特に子育てによって、人は成長すると思う。守るべきものが出来ることは、本人の幸福にも繋がる。もっと結婚の必要性を訴える自由があればいいと思う。
人生の生活に対して楽を選択しているのでは。
全国での常識との差
だいたい、すべての項目が当てはまるのではないのでしょうか。出会いの減少、経済的な余裕意識の低下、雇用も、転勤などあればそれも要因の一つでは？すべてが複雑にからみあって、未婚化がふえているのではないのでしょうか？
1～5全て

問7 あなたは「家庭生活」や「職場」、「地域活動の場」、「社会通念・習慣・しきたり」など、社会のあらゆる場面を見た場合、津和野町における男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ選択)

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	男性の方が非常に優遇されている	87	10.4%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	414	49.5%
3	平等である	245	29.3%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	39	4.7%
5	女性の方が非常に優遇されている	3	0.4%
	無回答	49	5.9%
	全体	837	100.0%

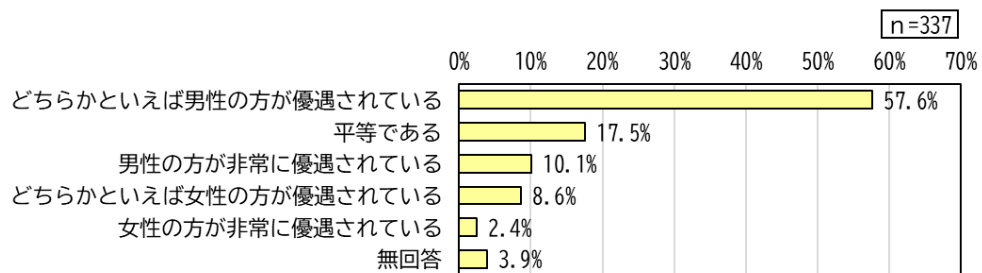


「どちらかといえば「男性」の方が優遇されている」49.5%が突出して高く、次いで「平等である」29.3%、「「男性」の方が非常に優遇されている」10.4%の順で選択している人の割合が高くなっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

- 性別で見ると、男女ともに「どちらかといえば「男性」の方が優遇されている」、「平等である」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- 年齢で見ると、「18～19歳」・「40歳以上」は「どちらかといえば「男性」の方が優遇されている」、「20～39歳」は「平等である」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。
- 地域で見ると、いずれの地域でも「どちらかといえば「男性」の方が優遇されている」、「平等である」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「どちらかといえば「男性」の方が優遇されている」、「平等である」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- 職業で見ると、いずれの職業でも「どちらかといえば「男性」の方が優遇されている」、「平等である」の順で選択している人の割合が高くなっています。「学生」のみ「「男性」の方が非常に優遇されている」を選択している人の割合が、同率で2番目に高くなっています。

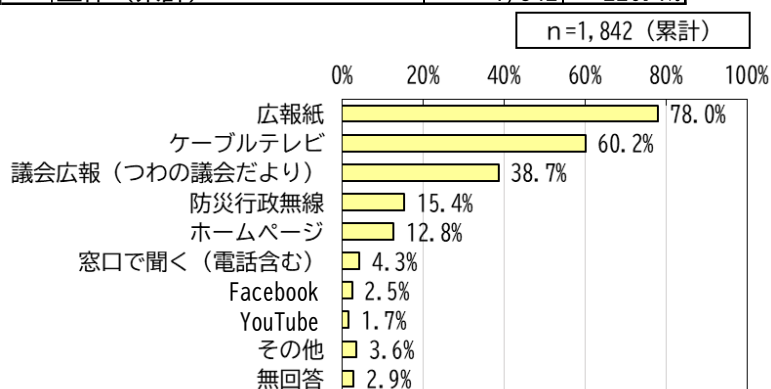
以下は、前回行った住民意識調査（令和元年実施、回収数337/1000）における同じ質問内容の結果です。



前回結果と今回結果を比較すると、「どちらかといえば「男性」の方が優遇されている」・「どちらかといえば「女性」の方が優遇されている」・「女性」の方が非常に優遇されている」を選択している人の割合が低く、「平等である」・「男性」の方が非常に優遇されている」を選択している人の割合が高くなっています。

問8 あなたは、普段どのような方法で津和野町からの情報を受け取りますか。
(複数選択可)

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	広報紙	653	78.0%
2	ホームページ	107	12.8%
3	Facebook	14	1.7%
4	YouTube	21	2.5%
5	防災行政無線	129	15.4%
6	ケーブルテレビ	504	60.2%
7	議会広報(つわの議会だより)	324	38.7%
8	窓口で聞く(電話含む)	36	4.3%
9	その他	30	3.6%
	無回答	24	2.9%
	全体(累計)	1,842	220.1%



※回答者数は837人ですが、複数回答が可能なため、全体の累計人数は837を超えています。

「広報紙」78.0%、「ケーブルテレビ」60.2%、「議会広報(つわの議会だより)」38.7%の順で、選択している人の割合が高くなっています。

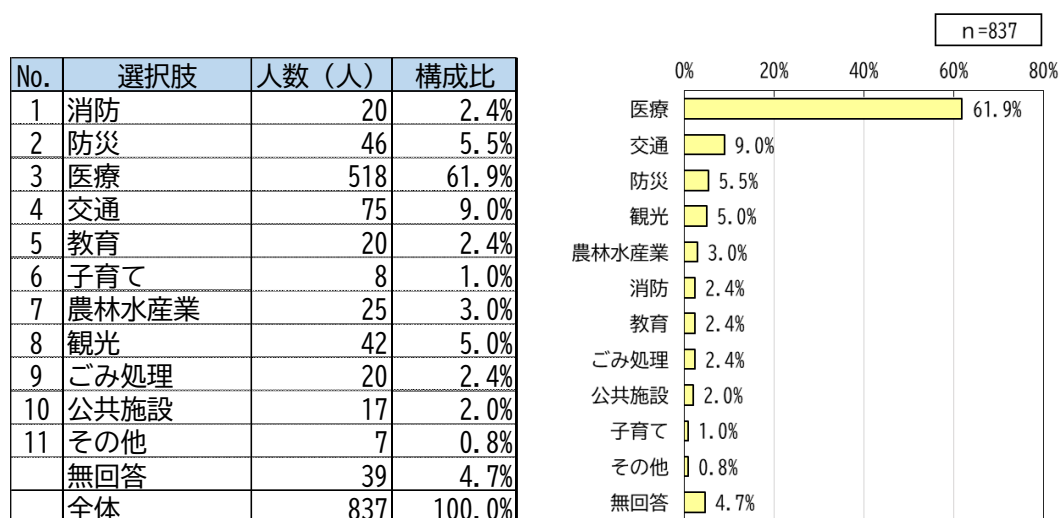
以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

- 性別で見ると、男女ともに「広報紙」、「ケーブルテレビ」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- 年齢で見ると、「18～19歳」は「ホームページ」・「ケーブルテレビ」・「議会広報(つわの議会だより)」、「20歳以上」は「広報紙」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。2番目に割合の高い選択肢については、「20歳以上」は「ケーブルテレビ」となっています。
- 地域で見ると、いずれの地域でも「広報紙」、「ケーブルテレビ」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「広報紙」、「ケーブルテレビ」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- 職業で見ると、いずれの職業でも「広報紙」を選択している人の割合が最も高くなっています。

ます。2番目に割合の高い選択肢については、「学生」のみ「ホームページ」となっており、それ以外の職業では「ケーブルテレビ」となっています。

問8 その他の意見
友人
友人から
人間関係
人との出会い
人との話の中で
人からのうわさ、ききたくなくても耳に入ります。
会話
井戸端会議
井戸端会議、年寄りの集まる場所の少なさ
近隣の方に教えてもらっている
口コミ
職場
回覧板
公民館
地区連絡
有線放送
ケーブル放送
SNS ちなみにFacebookはもう時代遅れでありあまり有効ではないです。XやInstagramが主流です。
インスタ
観光協会、インスタ
Google
新聞
超高齢化には2, 3, 4, 5は無理である
ナシ

問9 津和野町において、近隣市町とのより密接な連携が必要だと思う分野は何ですか。（1つ選択）



「医療」61.9%が突出して高く、次いで「交通」9.0%、「防災」5.5%の順で選択している人の割合が高くなっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

- 性別で見ると、男女ともに「医療」、「交通」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- 年齢で見ると、「18～19歳」は「医療」・「子育て」・「公共施設」、「20歳以上」は「医療」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。2番目に割合の高い選択肢については、「20～39歳」は「観光」、「40歳以上」は「交通」となっています。
- 地域で見ると、いずれの地域でも「医療」を選択している人の割合が最も高くなっています。2番目に割合の高い選択肢については、「木部」・「畑迫」・「津和野」・「左鐙」・「池河」は「交通」、「小川」・「日原」・「枕瀬」は「防災」、「須川」は「消防」・「防災」・「交通」・「農林水産業」・「観光」・「ごみ処理」、「滝元」・「商人」・「溪村」は「農林水産業」となっています。
- お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「医療」、「交通」の順で選択している人の割合が高くなっています。
- 職業で見ると、いずれの職業でも「医療」を選択している人の割合が最も高くなっています。2番目に割合の高い選択肢については、「農林水産業」は「防災」、「自営業」は「農林水産業」と「観光」、「会社員（企業勤務者）」・「家事専業」・「無職」は「交通」、「団体職員」

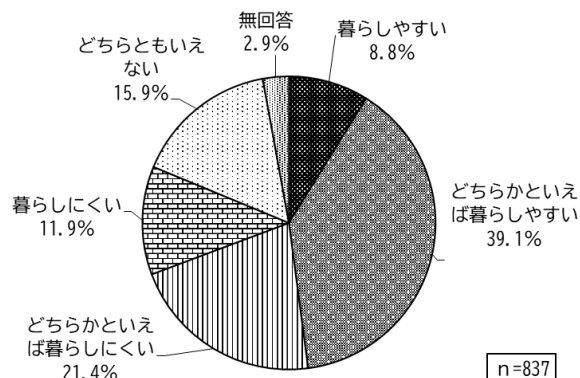
は「教育」、「公務員・教員」は「観光」、「パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員」は「交通」と「観光」となっています。

問9 その他の意見
介護施設
医療、福祉
9号線の道路脇に空きカン、ゴミが捨ててあり、うんざりします。近隣市町が力を合わせて、美しい地域を目指してほしい。みんなで。
聞く事も少ない。有線。
他人とのつきあいが楽
すべて必要

問 10-1 あなたは津和野町が暮らしやすいまちだと思いますか。(1つ選択)。

「どちらかといえば暮らしやすい」39.1%を選択している人の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしにくい」21.4%、「どちらともいえない」15.9%の順で高くなっ

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	暮らしやすい	74	8.8%
2	どちらかといえば暮らしやすい	327	39.1%
3	どちらかといえば暮らしにくい	179	21.4%
4	暮らしにくい	100	11.9%
5	どちらともいえない	133	15.9%
	無回答	24	2.9%
	全体	837	100.0%



ています。「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」(「暮らしやすい」グループの選択肢)の合計が47.9%、「暮らしにくい」「どちらかといえば暮らしにくい」(「暮らしにくい」グループの選択肢)の合計が33.3%となっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

●性別で見ると、男女ともに「どちらかといえば暮らしやすい」、「どちらかといえば暮らしにくい」の順で選択している人の割合が高くなっています。また、「暮らしやすい」グループの選択肢は、「男性」が48.2%、「女性」が48.4%となっており、「暮らしにくい」グループの選択肢は、「男性」が33.9%、「女性」が32.6%となっています。

●年齢で見ると、「18～19歳」は「暮らしにくい」、「20～29歳」は「どちらかといえば暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしにくい」、「30歳以上」は「どちらかといえば暮らしやすい」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。また、「暮らしやすい」グループの選択肢は、「80歳以上」が55.0%と最も割合が高く、「暮らしにくい」グループの選択肢は、「18～19歳」が66.7%と最も割合が高くなっています。

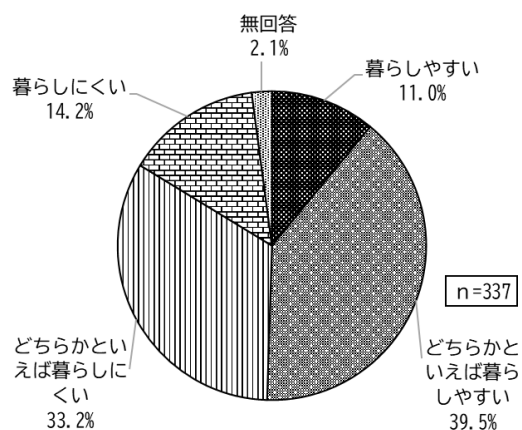
●地域で見ると、いずれの地域でも「どちらかといえば暮らしやすい」を選択している人の割合が最も高くなっています。また、「暮らしやすい」グループの選択肢は、「左鐙」が66.7%と最も割合が高く、「暮らしにくい」グループの選択肢は、「畑迫」が39.7%と最も割合が高くなっています。

●お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」・「Iターン者」とともに「どちらかといえば暮らしやすい」を選択している人の割合が最も高くなっています。また、「暮らしやす

い」グループの選択肢は、「定住者」が51.3%と最も割合が高く、「暮らしにくい」グループの選択肢は、「Uターン者」が36.6%と最も割合が高くなっています。

●職業で見ると、「学生」は「暮らしやすい」と「暮らしにくい」を選択している人の割合が最も高くなっています。それ以外の職業では「どちらかといえば暮らしやすい」を選択している人の割合が最も高くなっています。また、「暮らしやすい」グループの選択肢は、「学生」が60.0%と最も割合が高く、「暮らしにくい」グループの選択肢は、「公務員・教員」が43.2%と最も割合が高くなっています。

以下は、前回行った住民意識調査（令和元年実施、回収数337/1000）における同じ質問内容の結果です。



前回調査では「どちらともいえない」の選択肢がなかったため、各項目の割合のみで比較することはできませんが、前回結果と今回結果の「暮らしやすい」グループと「暮らしにくい」グループの回答割合の比を見ると、前回結果では1：0.70、今回結果では1：0.94となっています。したがって、今回は前回よりも、「暮らしにくい」グループの「暮らしやすい」グループに対する回答割合の比が高くなっています。

問 10-2 (問 10-1 の選択について) そのように思う理由は何ですか？

以下は、問 10-1 のそれぞれの回答について、理由をまとめています。

1 暮らしやすい
町民性。皆が優しい。日原地区＞津和野地区。
昔ながらの人情がある。
人が良い。
高齢になって、皆に助けてもらって一日が過ぎる事。優しくしてくれて手を差し伸べてくれる。嬉しいし、いい人ばかりで…
何でも相談出来る人がいる。
親切、思いやりを実感している。町民お互いが協力、助け合っている。
平和な町と住みやすい所です 人間関係も充実していると考えています。
まず静かであること。高津川がキレイなこと。人情が厚いこと。互いに助け合っていること。女性が活躍していること（ヘルスメイト）。一生を過ごした所となること。
近所の人はみな優しい方ばかりで安心して暮らしています。
生まれてから町内にいるので、何事にもあまり苦にならないし町民のみんなに、良くしてもらっているから、外には出ない町内が暮らしやすいと思います
生まれた所だから
住みなれた所、人がやさしい。
安全だと思う。(どちらかという)
何事もない平和な町だと思います。
高齢者となった今日遠くへの外出は少なくなってきたが、自然が素晴らしくよい、又、買い物も不便がなくてよい。
生まれてずっと中学まで暮らして、津和野を出てあちらこちらを父親の転勤で回り、結婚してからも全国回り、主人が亡くなり、母親と二人でこちらに住んでいます、とても良い暮らしです。都会にはないやさしさの、のんびりとした。
自然豊かで知人でなくても挨拶を返してくれて、山口、益田と買い物も割に便利で暮らしやすく感じています。
自然が豊かで清々しい気持ちで生活できる。益田市が隣接していて働き口や買い物に困らない。
自然が豊かで、動植物が多く、広い田んぼなど都会とは違うところがいい。本当は圃場を整備などは10年後位でいい。
自然と住環境のバランスが良い
都会ほど変化がない、年よりはそれが良い
国道が近くにあるから益田山口にも車ですぐ行ける。自然豊かな町、高津川もあるから。
自然なところ
自然環境が良い
自然環境がよい
都会の騒がしい所とは違い津和野は田舎なので静かでのにんびり暮らせるから気楽でよいから。町だと〇〇がたらんでいるので気をつかう
環境も良く、治安も良い
自然に囲まれ、人口も程々。静かに暮らせているから。
自然の中にいる。人間関係の良さと助け合いの精神がある
お店はなくなってしまったけど、丸久（まごころ市場）が出来てほぼ品物はそろうし、病院も近くにあるから。
保育園無料、保育園で使用する紙パンツ無料など、子育て支援がしっかりあるから。子育て支援センター、地域のお祭りなど子どもが楽しめる場所が充実しているから。

1 暮らしやすい
現在不便と思うことが余りない。
何不自由ない
この町内で家庭をもち勤めを全うした。悔いのない生活が送れた。
現在の行政の仕組の中で有る〇〇の満足な生活が出来ている
子ども達だけでは他の地域に移動する交通手段がないこと。
何となく？

2 どちらかといえば暮らしやすい
・友人、知人が多くいるので生活がしやすい。・必要な施設が身近に有るので。
地域の中で人とのつながりが有るから。
地域での人間関係が良い公民館が使用しやすい車の運転が出来なくなったら、どう生活出来るか心配であるが…。
人が優しい。大きな災害が少ない。
対人関係の問題。医療関係。物価の問題。
他人から干渉されない。
知人が多いので融通が利く
老人に割と手厚いと思う
町民生活を見ていればわかる津和野町はいい方の様に思える
町民がやさしい、地震（大きい）がない
人情味のある気風
生活して居る中で、誰とでも割に（特に自宅に近い方々、とかいろいろな役員しておられる人とふれ合う事が多いと話しやすい事からおのずと何でも話せるのが良いと思っています。
住んでいる地域にもよるかもしれませんが、自治会を通して自分達が思う事が実行出来る。自治会は大事と思う。
暮らしている地域の方との関りが良い
田舎であるということを認識して、すべての分野において100%満足する状態ではなく欠けている分野は自ら対応したり、自己では無理な場合は自治会・公民館などの地域、その上の町行政へ相談して解決する仕組みがある程度確立していると感じているから。
多くの方々は、外部から来られた人々にも非常に寛容で優しく、相手を尊重する態度で接しておられて、すばらしいことだと思っています。一方で、一部の高齢の方々の中には、日原の人に対する偏見や嫌悪を表す方もおられて、残念に思うことがあります。
・転入してきたが津和野の人は穏やかな人やよい人が多く又名前で呼び合って親しみがわく。 ・山や川等自然にいやされる
今住んでいる地域の自然環境、生活環境が良いと思っているので。
人口が少なく高齢化の自治会に住んでいるが周りに気を使うことがなく何かあれば助け合える環境だから安心している。
生まれは津和野町ですが、多感な時を都会で過ごし、こちらに帰って、生活の中に山や川がある暮らしを再認識しました。人間も自然の一部であることを、感じられる暮らしには安らぎがあります。しかし、体が不自由になれば、“暮らしにくい”に変わるかも知れません。都会は人のつながりが冷たいと思われがちですが、そうでもなく、未だに絶えていないつながりも沢山あります。
現在のところ、自然が豊かで、人々の気持ちが穏やか。防犯、防災面も心配が少ない。が、将来的には（個人的に）医療、福祉の面で不安は感じている。
お互いの助け合いの精神があるように思います。
住民の連帯感がありのんびりできる
親切
住みなれた町だから
ずっと住んでいるから

2 どちらかといえば暮らしやすい
住み慣れた町だから
生まれ育った町だから
何も無い場所だが、季節を感じられる。静かでゆっくりできる。
静かな町で日々時間に流されて過ごしているが、もう少し活気があると、生活に潤いが増すのではなからうか。老人が多くなり、それなりに頑張っているが、作業等では、危険を考え中断せざるを得なくなる。若い人が町内で生活できる環境がもう少し欲しい。
今現在夫婦二人暮らしで車の運転ができ、町外への通院もでき、買物にも自分で行けているから。将来は不安であるが
住み慣れた町である事が一番住みやすいと思いますが、車に乗れ、元気でいるからそう思えるのです。しかし、これから、一人暮らしになったり、子どもも近くにおりませんので年を重ねていき、体が不自由になると、不安になり不便になり、暮らしにくくなると思います
田舎なので（郷里）
昔からの行事など大切にして、自治会等皆で協力して生きている
田舎なので顔見知りが多くなる。時に窮屈だが助かる事も多い。
静かで良い。
静かな所が好きなので自分には合います。ただ、病院が少ないので、そこだけは不満です。
静かである。いい面も良くない面も併せて。
気持ち的に安心（出生地）
落ち着いた静かな町だから
静かな山間の町で落ち着いた生活ができること、皆さんのお力のおかげだと思います。
穏やかに日々過ごせる、静か。
静かでのんびり過ごせる
静かで、のどか
静かな町並なので！！
何の楽しみもないが、平和に穏やかに暮らせているから。
他県と比べて災害等がない平和な町だから！！
自然に囲まれ安心安全に暮らしているから
・自然や歴史があり静かで好き。・観光地といわれるが、近年は、観光客も減少で少し残念・医療が充実しているととても良い
静かだし、環境も良いと思う
ゆったりとした時が流れている様子が好き
自立心があり心が和む
健康で自分で運転できる方であれば生活に不便は感じません。自然は豊かで落ちついて生活できる町です。ただ医療が必要になった時の不安は大きいです。
自然豊か 今のところ比較的災害が少ない
自然が豊かである。水と食物が美味しい。
活気はさほどないが、のんびりゆったりした環境。
騒音が少なく自然豊かなゆったりとした場所と思う。
不便だが自然が豊かでいい。
・自然に恵まれている（四季を感じる）・全体的に町の職員が親切
自然豊かで、災害がない所
美しい自然がある。
空気はきれい。水は不自由しない。
特別、困ることがないから
日常生活に今のところ不便はない
町内で暮らしているので、特に不便は感じない。

2 どちらかといえば暮らしやすい
長く暮らしていて不便を感じていないから
特に不便を感じていない
今のところ、経済的に困らずに生活できている
多少不満はあるものの、日々生活をするにあたり困っていないから。
不便な点は有るが、解決出来る範囲のものが多い。
ずっと住んでいるので特に不便を感じない。働く場所が少ないけど、吉賀町や益田市まで車で30分以内で移動できる。
交通の便も良く、病院や商店にも近い
J Rも有る、病院、スーパーマーケット、バス路線が身近に有ること。
一時間圏内に生活に必要なものがある
町の中心に住んでいるので各方面にアクセスしやすい
車で自分で移動できる間は、必要なもの（津和野町内で足りない物・サービス）は近隣で対応できており、困ってはいないが、高齢になり、運転できなくなると難しくなる面が、心配なので。
私の地区は、国道、鉄道等割合近い。その上、小学校、保育園近い。自動車に出来る間はまあまあ。
今は車で出かけられるから。
5年先は分らんが今のところ車の運転が出来るから。
今は体力、気力があり、車の運転ができるから趣味に時間を使える
今は、自分で車を運転し、どこへでも移動でき特に不便は感じていない。
交通 買い物 医療
移動において車が必須であること
今は特に大きな困ったことはないから。ただ、高齢になった時は医療や交通手段、生活など不便だったり暮らしにくいことが想像できる。
80才以上の高齢者です。今は車に乗りますが今後が今から心配です。妻は現在施設に入寮中、自由に乗れる運転がしたい。
健康・保健など、かなり充実している。買物・交通などが不便。
交通手段の不足 買物する所がない 余暇を過ごす所が無い
交通インフラが悪い、買い物食事に行ける店が少ない
自動車がある買物店が少ない
移動手段に難点はあるがたいいていの施設などは揃っているから
大体物がそろっている、買い物、病院等
スーパー、病院に行くとき便利をはかっている。わからない時、電話でくわしく教えてくれる（役場）。
自分で今のところ（買物、病院）最低限は動けるので…間に合ってますが、今後は、どうかな？
今住んでいるところからすれば、暮らしやすいが医療には不満がある。
現在のところ自立できているので特に不満はないが、介護等が必要になれば暮らしにくくなるかもしれない。
病院、役場、金融機関、買い物などが少し遠いので、近隣市町を利用することが多いから。
医療機関(特に小児系)が少ないので、体調が悪い中、益田まで往復する必要がある。
津和野町には、眼科がなく、益田まで出るのが大変です。
例えば年齢を重ねると専門医による診断、治療を受けたく思うが近隣には…。
子育てしやすい環境、支援制度の充実。物価高とう対策など市民の生活に必要な支援が他の市町村より充実している。
地理的に恵まれているし診療所や役場スーパー等が近い為、上下水道の整備、自治会の役目も行き届いている。
小さくて狭い町なので、学校、役場、金融機関、全て身近にまとまっているから利用しやすいです。
・お買物が近い場所に家がある・友達がいる
田舎の不便さを理解すれば困らないけど、便利を求めるなら住みにくい

2 どちらかといえば暮らしやすい
地震や増水による災害も少なく、近隣の市町のアクセスも良い
災害がまあまあ少ない。
災害が少ない
災害が少ない
特別な理由はありませんが、毎日平凡な生活が良いのでしょうか。
1. 身体に一部不自由（卒中の為）があっても何とか無理をしない範囲で暮らす事ができる 2. 過去多かった津和野式フェイク（流言が少なくなったと思う）良くにつけ、悪くにつけ、うわさの対象にされるのは嫌なのです
情報の少なさは、落ち着いて生活できる気がします。変化を求める年齢ではないからかもしれませんが。
行動出来るから
自分に合っている
自分のペースで生活できるから
周りに気を遣わないでいられる事。
田舎でのんびりしている。自給自足である。
津和野しか知らないのだからこんなものだと思ってしまう。
他所で暮らした事がないから
全体のバランス
暮らしにくい点もあるし、暮らしやすい面もあるから。
色々不便
近所との付き合い。
合併以後両町がしっくりしていない気がする
稼げる雇用が少ないと思う
観光に財源を使用しない方がよい 町民の生活、医療に使用すべき
人の流れが少ない
役場に行き分らない事は相談にのってください。
何をするにも町外に出なきゃいけないから。
なんとなく
何となく
特になし

3 どちらかといえば暮らしにくい
交通に不便
交通手段
交通手段不足
道路・交通の便
車の運転が出来ない方等の、交通の不便 子供達の遊び場があまりない
自家用車を利用できる内はよいが、運転できなくなると日常生活のための移動が困難となり日常生活に不安を感じる。
外出するときは車がないと不便である。
高齢者や弱者にきびしい。道路の段差、交通手段。
交通が不便。クマ、サル、イノシシなどがいて危険。仕事に限られている。
全てにおいて移動に車が必要なため
車を持っている人はよいが、持っていない人にとっては移動手段が少ないから。津和野町に引っ越すとなった場合、すぐに住める家を探すのに苦労すると思うから。町内における雇用の場が少ないから。
自然豊かで水や空気がきれいな点は素晴らしいが、自分勝手な人が多い印象。車がないと不便だと思う。

3 どちらかといえば暮らしにくい
噂がすぐに広まる。眼科・皮膚科がない。公共交通機関が充実していない。
安定した雇用の企業が少なく、交通の便が悪い。
楽しく過ごせる場がない。バスやJRの本数も少ないため、高校生の家庭は送迎の時もあり、仕事しながら送迎は大変。
交通網
商業施設がない。公共交通機関が不便。公園がない。病院の専門家が少ない。
交通の不便さ。病院、特に眼科。
益田の病院に通う人が多く免許の無い高齢者にとって非常に不便です。交通の便が悪すぎる。シルクウェイ日原の敷地内にホームセンターかダイソーを誘致してほしいです。
医療の不安（診療科目が少ない）、環境が悪い（美化意識が低い）、交通の不便。
公共交通機関が少ない。医療に不安がある。
・交通の便が悪い。・医療が充実していない。
基本、車がないと生活しづらい。医療が心配。人口減少。
医療、交通の利便さ
大手企業の撤退による交通および医療、商業施設が人口減少により激減し観光も減少、高齢化のため一段と暮らしにくくなってきている。
病院の診療科が少ない。公共交通が不便、5年後10年後が不安。
交通にしても不便、車を使うにしても道は狭い、賃貸も田舎なのに高額、教育や福祉、医療に対しても充実してない、旧津和野町と旧日原町との格差を感じる
医療に不安。子どもを産み、育てることにハードルがある。津和野町で出産する病院がない。交通事故のリスクを負いながら、大きいお腹で近隣の町まで診察に行かねばならない。これで、安心して出産は無理。
車がない人達の買物が大変なこと。
車社会で自分で運転できないと買物にもいけない。
交通の便が悪く、買物等不自由
食料品店が少ない 飲食店が少ない 交通の便が悪い
町内で買いたい物が整わない。（大型店があれば、お互いに競争し合い、品揃いや価格に買物客に意欲がわく） 交通が不便
交通が不便 スーパーが1つしかない（買物が不便）
スーパー病院等が少ない交通の便が悪い専門店がない
車がないと歩いて店、病院などに行けない
医療に不安がある。買い物も車（自家用車）がないと不便であり、現在は自分で運転できるからまだ何とかなっているが、この先、年を重ねると不安になる。
仕事に関して町内に働く場所少ない、車がないと生活しにくい（医療、買い物等）
都市から一番出にくい町（高速道路、JRの幹線も遠くにある）。買い物ができる店が極端に少ない、値が高い。病院が診療科が少ない、高度医療は浜田まで。道路の維持修繕も観光主体、地元主体でない。
高齢化が進み買物への不安交通への不安病院への通院が不安
買い物、医療、交通、冬の除雪等、解決しなければならない課題が多い
交通手段が無い。 免許返納した場合の病院への受診、買い物等交通手段に困る。
医療、スーパーが不便、特に眼科が無いこと。
商業施設が少なく町外での買い物が余儀なくされる。歯科、医整形外科、眼科、耳鼻咽喉科が自由に受診できない。
店が少ない 医者が少ない
買い物、医療に不便
家から店も医療も遠い。
買い物、衣料品雑貨類などが求めにくい。 専門的医療が受けにくい。

3 どちらかといえば暮らしにくい
買い物には自宅から30分はかかる町外にでる事も多い。津和野は物が高い。子どもの習い事など町内でしている方が少ないのではないかと。送迎だと全て親の負担。近くで充実した活動ができればもって町内に人が集まると思う。医者も夜はやっていないので益田までいくことになる。高齢者が多く、町内だけで賄えるには、施設数が足りない。
日原地域に病院がない。日常品の買い物施設がない。津和野地域は歴史観光の街であるが観光客は少なく活気がない。津和野地域と日原地域が合併はしたものの一体感がない、イベント等もバラバラである。
免許証返納後を思うと、医療機関、日用品買物に不安を感じる。
医療機関、サービス店舗が少ない
特に日原地域は日用品を購入できる店舗がないため、津和野地域や益田市に出かけないといけない。産婦人科系の医療体制が整ってない。日原地域の飲食店が少ない。
店舗、病院の少なさ
買い物をするのに時間がかかる
1. 気温が低い。2. 買物難民。(キヌヤに遠い。)
小売店が少ないので買い物の選択肢が少ない
スーパーが家より遠い
高齢者で買い物に行く不便
食料品を含め全てにおいて買物をする店がない事。
買い物も地元では思う 物が少なく他町へ行く事になる 一ヶ所の店ではなかなか買物がそろわない(大手スーパー等があれば)
買い物に行く時、町外へ出なければならない。
店(電器店)がない
商店が少ない、物価が高い
買物するにも、店がない。
・ホームセンターがない。・ランチをとる店が少ない。
買い物が充分にできない(店、品物が少ないため)
1人暮らしの為、体調の悪い時に(通院、買物等)自分で行動をおこしにくい
飲食店が少ない。コンビニも24時間ではない。フィットネスジムもないので体力維持が難しい。
お店(スーパー、コンビニ以外)が少ない。
買い物に不便さを感じる
飲食店が無い
飲食店の少なさ ストレス発散できるような楽しめる施設が無い
買い物や食事の為に町外に出かけることが多い。
買い物が大変
医療が遠くまで行かなくてはならない。眼科がない。夜間の救急受付がない、益田まで行かなくてはならない。
病院が少ない。
医療体制の不便さ
病院がない。
医療、子育て(教育含む)、移住定住にしても、アピールよりも、「家」が無い。
医療の体制が不十分
病院をえらぶのも通うのも困難 高齢になるにつれ不安も大きくなっていく 手頃な価格の商品を購入するために町外に出ないといけないのも不便
医療機関の少なさ 仕事場の少なさ
病院の不足 雇用の不足
医療体制が悪いので緊急の場合対応できない。
産婦人科がない事

3 どちらかといえば暮らしにくい
夜間等緊急搬送に時間がかかる。（町内夜間診療ないため）（専門科がないため）
福祉充実不足
住民の意見、アイデアを聞く姿勢が役場職員に乏しい
行政が合理化されていない。
行政が信用出来ない。
観光主体の行政に思える。 私達、一般の町民には無縁！ 町民重視に取り組んでほしい。
縦割り行政 司令塔多すぎ 行事等多すぎ
情報等が町民に届いてない 官民一体というより隔離状態
このアンケートのQ1で40問の5段階評価の設問がありましたが…、自分が直接関係するであろう設問以外は全く内容がわからない、実際に何か取り組みをされてるのかも含めてよく分からない設問が大半でした。 何か各分野で色々取り組みはやってるっぽいけど、正直何をやっているのかもよく分からなかったです。 広報や議会だよりも目を通してはいますが、知ってる人は知ってるけど知らない人や関りが無い分野や人のことはまったく知る余地もないってことが多くないですか？ 議会だよりに至っては正直、質疑応答の内容を見て溜息出ます。 今、それ議論する必要がある？もっと他に重要なことたくさんあるんじゃないの？って。色々取り組みをされてるなら情報発信が薄いんじゃないですか？住民にちゃんと伝える手段や取り組みを検討していただけてますか？どうもコミュニケーションが一方通行な感じがするんですよね。
会話も少ない
身体障がい者はみんな理解を深めたらいいと思います。差別なく皆と仲良く話し合ってもらいたいと思います。手話言語なのでまだまだ理解が少なく感じています。サークル参加とか手話講座、交流コミュニケーションなど、積極的に参加したらいいと思います。公民館に参加するのに、コミュニケーションは十分ではないので。
Iターン者に対しては厳しい。よそ者を受け入れにくい土地柄があるように思う。
地域によっては、誤まった信念をお待ちの方が多く、自己中心的で協調性のない人がいる。
地域住民の意見が合わない。また、格差（考えの）がある。
昔からのやり方を勧められ面倒くさい
田舎特有の噂文化が嫌
閉鎖的な所
固定観念に囚われ、改革と創造ができてにくい町だと思われる。
新しいものを取り入れる感じが無い
生活費に負担が大きい。物の値段が高い。社会貢献のための寄付が多すぎると思う。ほぼ強制なものも納得がいけない。地域色が濃くて入っていけない。
・イベントが多すぎて、時間をとられる。家族と過ごす時間を犠牲にしないと、時間を創出できない・自治も、仕事も、人手不足が深刻 「やらないこと」を決めて、無駄を省いてもらえないから自治体活動や、公民館、商工、保育園の役員など大変。
自治会など集まりが多い。役員になると大変。
人口減少
人口減少。自治会の活動。
高齢社会であること。同時に過疎化の速度が速い。
地域の過疎化、隣近所も空家。回り周辺の草刈、木々の伐採に疲労。鳥獣対策の設置。
人
人と人との接点がない
住民同士の触れ合う機会が少ない。ほとんどない。
子どもを育てるには、いい環境があり、人のつながりがありと感じる一方で、環境、人はいるが、希薄になりがちな現状があり、田舎の良さが薄らいでいる。ただ不便な田舎になりつつあるから。
過疎化、雇用がない、大きい企業もない、箱物ばかり作りすぎ
職場が少ない
何をしても、益田に行く必要がある。津和野だけではできないことが多い。

3 どちらかといえば暮らしにくい
ゆっくりと出かける場がない。
農業林業の地域が多いのに農林業を育成していない、中山間地農業を育成し、特産品の開発を進めてほしい。
水道が凍結したり冬がきびしい
気候は寒暖差がある。（酷暑・大雪）テレビ・ラジオ・ケータイあらゆる電波が弱い（急峻な山岳地帯）人間の活動時間は、太陽に合わせて日が昇り沈むまで、といった、日本昔ばなしのような生活が大半では？そこが逆にPR次第では良い点にもなるかも？とは思いますが。
電波が悪い
子育てに不満のあることしかない
年金が少ない
・平均寿命を意識すると惰性に考えるので… ・50才までなら暮しを意識するでしょう。
自然がいっぱい
特に暮らしに関して不満がないため

4 暮らしにくい
不便
全般的な生活利便性の欠如
交通の便が悪い。
交通の便
交通不便。仕事が少ない。
バスの便数が少ない
車がないとアクセスが悪いし、若者が遊ぶ場所がないから。でも私は日原のきれいな川とか自然な風景が好きなので日原に暮らします。
高齢者が多い。公共交通の利便が悪い。働く場所が少ない。野生動物が増えた。
食事する場所がない。交通手段が少ない。夜間救急が限られている。
◎駅の利用を増やす為にも、エレベーター設置必要。老人生活老人世帯が多いのに、荷物を運ぶのに苦勞（全ての世帯に若人が替って手助けしてくれるところは少ない）。観光重要視の津和野であれば津和野にはエレベーターが必要（人を呼び込む為にも）。
交通の便が非常に悪い。医療が充実していない。
車がないと生活できない。医療が整ってない。
医療 他の病院への交通の便利さ
医療、交通機関の不便さ 今いち活気に欠けている
物価高。交通の便が悪い。医療充実してない。働くところがない。
土曜日に病院が開いてない タクシーが少ない（日原地区）
何をするにも自家用車が必要。子育てのし辛さ（近場に習い事がない、登下校の時間に合わせて働きたい職につけない、幼い子どもを連れて遊べる場所がない、病院がない） 出産に不安しかない町。
今は自動車で動けますが、運転しなくなった時の交通手段（買い物・病院・その他）はタクシーとなります。その点を考えると暮らしにくいです。
車を運転する人は良いが交通の便が悪く買い物や病院等に行くのも大変だと思う。
医療、交通、買い物等不便が多い。
交通の便の悪さ。飲食店や日用品を買うお店が少ない。車の運転が出来ないと移動が困難。医療体制の不足。
活気がなさ過ぎる。観光においてもJR津和野駅だけは良くしても駅前のお店が全く充実していない点。
物価が高い。お店を選べない。交通、特に無免許はつらい。
スーパーは1つ、石油は高い、眼科は無、交通の便は悪い。

4 暮らしにくい
車の免許を持っている時は良いが、免許返納すると、一気に便利が悪く、三輪のモーターカーに乗っても歩道は走りにくく、車道は狭く、お互いが大変不便をする。スーパーは1軒で価格はつげがたい。他より高いものを買うようになる。
飲食店がない、夜はともかく、帰りのタクシーがないので飲みに行かれない。
スーパーが新しくできたから
生活に必要な物を売っているお店がない。
スーパー、1軒、高齢者の洋服等（服類）の店がない。（衣、食、住）・町外より、品が高い。
買い物など遠くに行かないといけない
仕事が無いから津和野を出たら戻ってこない。人口減少。負のループにはいつている。観光客対象の職種以外はどんどん閉店している。高齢化跡継ぎ戻らず、今後も頑張っているお店も無くなるだろう。
病院が充実していない、店が少ない
スーパーはあっても物が無い。薬などドラッグストアのような物もない。品物が高い。病院がない。
買い物をする場所が限られている。選択肢がない。専門医がない（眼科・皮膚科など）
医療面、買い物不自由
人口減、何をしても手間（時間）がかかる。山野の廃棄。サル、イノシシ、クマ。遠い病院、買い物施設行く。老人ではついていけない社会。
若い世代の美容院、ドラッグストアなどの店舗が少ない。娯楽がない。病院特に耳鼻科や整形等、行きにくい。
通勤・買い物・病院全てに時間がかかる
☆コンビニ、クラブ、居酒屋、マーケット、病院、映画館何も無い。
医療の面で不安、夜間の救急がない。益田や山口市まで行く間に死へのリスクが大きい。安心して暮らせる町ではない。
医療が遠くて不便である（救急の時）
医療の体制をもっと整えるべき
・医療、福祉において不便だから・子供も出産できないし、仕事もないから。・福祉においても、相談しても全く助けてくれなかった。
病院がない
年配の人がよそ者を追い詰めることしかしてない。自覚もないし、変える気もない。保育園も先生の質が低いし、安全面衛生面も驚くことばかり。意見するものを白い目で見て圧力をかける町ですよね。津和野も日原も。お互い悪口言ってる、似た者同士くだらないなと思ってます。協力しないと消滅すると思う本気で。
自治会や近所の付き合いなど、地縁の深い地域に住んでいて、どちらかと言えばドライな考え方をする私にはとても窮屈でいろいろな縛りからは解放されたいと思うことがある。
近所付き合いや行事が多すぎる。
1. 町民に協調性がない1. 他県者を受け入れない気風（土地柄）がある。
住民が意地悪い 役割が多すぎて忙し過ぎる
古いしきたりがあり、若い人の意見が通らない
暑くて寒い。安定した職業がない。リーダーシップのある方がいない。年齢の比重が高く、将来を考えていない。若い人は、他の都市に流出している。Iターンの方の定着がなく、町の方との隔たりがある。問題が山積みと思います。解決できない
高齢のため、自分一人では、できない事があっても、誰に、手伝ってもらっていいか？どこに、相談したらいいか？そういう場がない！
人が少ない、人が増えて楽しいにぎやかなまちになるといい（希望です）
インフラ整備が進んでいない
インフラが脆弱なため。
ハード面、ソフト面、全てに於いて他の地域より充実していない

4 暮らしにくい
若者の働く場所・収入がない。町民が増える要素がなさすぎる！税金のムダ使い。潤うのは行政だけ！！
今年の春から暮らしていますが何の支援もなし、役場に相談に行っても何も回答なしできませんの返事ばかり、指摘したら上司が出てきてうちの部下をいじめないで下さいと言われた。なんのための役場と思いました。
子育て、教育についての支援にばかり力を入れ高齢者への支援が力の入れようが足りないように思う。
希望がない町
町長交代
物価が高い
競争がない為、現状維持に終始して活力が減退している。何もかも、
積雪
空き家が多い割に、住めるような所がない。
不便
差別意識の低下
今のところ生活に不自由さ感じていない。

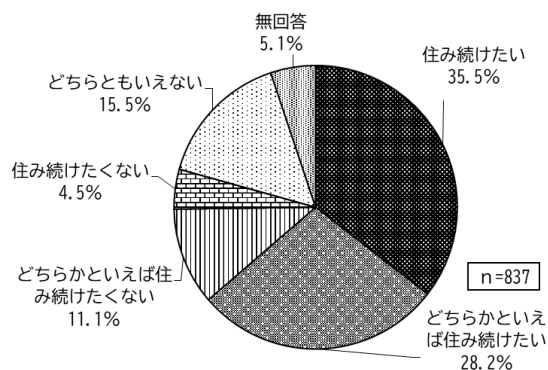
5 どちらともいえない
町バスの運行で助かる
今はまだ車で移動ができます。先が不安です。
自家用車がなく交通不便。年を重ねると買物も不自由になって来る。日用食品の店がない。
今は自由に動けるが老後は交通機関等暮らしにくくなる。
町内で生活面を全て満たすには不十分（消費、医療、娯楽等）
買い物など不便
人口が少ないので静かに暮らせるが、病院や店が少ないので不便
医療面、買い物など不便。小児科がない。支援がもう少しほしい。
暮らしやすいが、医療体制が充実していない
医療が不十分。高齢者の足となるものがない。高齢者の生活が守られる事が都会に比べ不便。配食なども数が少ない。
眼科がない事。週1でも共存病院にあれば年寄りも、助かる。益田まで行くのは大変。
住み慣れているから暮らしやすいです。が、高齢者にとって交通手段が一番問題。お店の減少により、消費者の選択の幅が狭まっている。病院の診療科の充実を願っている。
今は健康な方なので自分の力で暮らしているため。老後はわからない。
一人世帯で現在は何とか生活しているが、2・3年後のことを考えるとどういう暮らしになっているのかと思うと不安。
今現在は問題ないが、体が不自由になる老後が不安。
人間関係で悩むことが多い
高齢者ばかりで地域のマンパワーが少なくなってゆくのに地域を守るためという名目での行事が多すぎます。ゆとりのない地域です。
魅力がない
何回も津和野に来てみたい、特別な何もない、子供の遊び場等また来て見る物なし。
便利な所もあるがちょっと不便で世の中の進行に遅れをとっている所があって面倒な状況になる。デジタル化が遅れている。
将来のビジョンがよく見えないところ
景観は他と比べると格段に良いと思うが人口減少の為に将来に希望が持てない。観光もなんとなく主流になりきれない。パワー不足の町というイメージ。

5 どちらともいえない
普段、衣、食に関する点では、消費するお金（買い物）は他市地域ですることが殆んどです（つまりお金を町外で落としている）今は自分で移動手段と体力を持っているから可能なのであって、依存が必要になる時がくれば暮らしやすさの程度が実感として湧いてくると思う。
津和野町内の人間性。他所からの人間を受け入れない風習がかなりある。
地場に企業が無い為、遠方へ仕事に行く様になっている。これでは、若者も定着しないし、健康面にも決して良いとは思えない。
生まれ育った町で近所との付き合いの面では暮らしやすい。一方、スーパーや病院など生活に必要な施設が近くにないため、将来、歳を取り車が運転できなくなったときに不安を感じる。また、病院については、松江や出雲のような大病院がなく、大きな病気を患ったときに不安を感じる。
静かで自然が多く安全（利点もあるので）。反面高齢者が多く高齢者は車に乗らなくなると生活の制限が大きくなる。孤立。買い物、通院などがすべて中山間部も不便になる。町へ出れば良いという話でもない気がする。
①若い人が住みよい町にする。②若い人が多く（男、女）人口がふえる様に。③元気のいい町にする。④長老が多いと町がなくなる。
ご近所での集まりも少なくなり、人間関係が希薄になったように思える。高齢者1人暮らしが多くなった今こそ人との助け合いが重要と思う。
新店舗まごころ市場にちはらが開店し、買い物に役立っている。高齢者が楽しめるグラウンドゴルフ、ゲートボール場が整備され、健康面維持での一助を担っている。医療関係では歯科医院があり助かっているが眼科がない。介護施設に入りたい状況でも順番待ちでなかなか入所できない。田舎であるため娯楽関係に乏しい、文化芸術活動の面から、地域推進においても、一流の劇場であるグラントワと連携し、いろいろなイベントを開催してほしい。
旧津和野町と旧日原町との交流等
中山間に住んでいるので町の事はよく分からない。
他町村に住んだことがないのでどうとも言えません。
他の市町村と比べたことがない
“住めば都”生まれてから他所に住んだことがない。
暮らしやすいか？暮らしにくい？良くわからない
分からないが。
どちらとも言えない
どちらの面もある
なんとなく
無回答
生活に必要な物がそろっているから。街がキレイだから。
人口減少による商業施設の時短化の為。
気候、交通、市場にしても中途な所 作物もここにしか出来ない物もない 地震が少なく災害もまあ少ない所が良い。
町内（近く）にスーパーがない

問 11—1 今後も津和野町に住みたいと思いますか。(1つ選択)。

「住みたい」35.5%を選択している人の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば

No.	選択肢	人数(人)	構成比
1	住みたい	297	35.5%
2	どちらかといえば住みたい	236	28.2%
3	どちらかといえば住みたくない	93	11.1%
4	住みたくない	38	4.5%
5	どちらともいえない	130	15.5%
	無回答	43	5.1%
	全体	837	100.0%



住みたい」28.2%、「どちらともいえない」15.5%の順で高くなっています。「住みたい」「どちらかといえば住みたい」(「住みたい」グループの選択肢)の合計が63.7%、「住みたくない」「どちらかといえば住みたくない」(「住みたくない」グループの選択肢)の合計が20.0%となっています。

以下は、「回答者の属性」とクロス集計を行った結果の分析となります。

●性別で見ると、「男性」は「住みたい」、「どちらかといえば住みたくない」の順で、「女性」は「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」の順で選択している人の割合が高くなっています。また、「住みたい」グループの選択肢は、「男性」が66.4%、「女性」が62.5%となっており、「住みたくない」グループの選択肢は、「男性」が13.9%、「女性」が17.1%となっています。

●年齢で見ると、「18～19歳」は「住みたい」・「どちらかといえば住みたい」・「住みたくない」、「20～29歳」は「住みたい」・「どちらかといえば住みたい」・「どちらかといえば住みたくない」、「30～49歳」は「どちらかといえば住みたい」、「50歳以上」は「住みたい」を選択している人の割合が、それぞれ最も高くなっています。また、「住みたい」グループの選択肢は、「80歳以上」が72.0%と最も割合が高く、「住みたくない」グループの選択肢は、「20～29歳」が37.5%と最も割合が高くなっています。

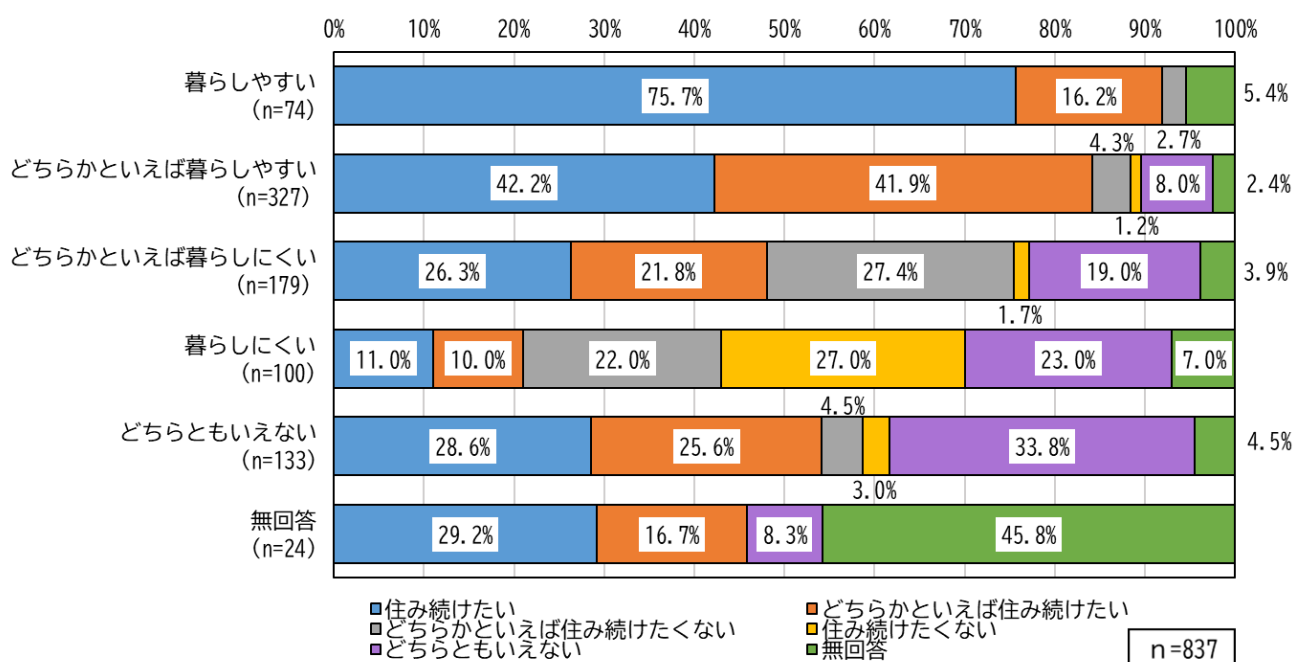
●地域で見ると、「木部」・「畑迫」・「日原」では「どちらかといえば住みたい」の割合が、それ以外の地域では「住みたい」の割合が、それぞれ最も高くなっています。また、

「住み続けたい」グループの選択肢は、「商人・溪村」が86.7%と最も割合が高く、「住み続けたくない」グループの選択肢は、「滝元」が23.5%と最も割合が高くなっています。

●お住まいの状況で見ると、「定住者」・「Uターン者」は「住み続けたい」の割合が、「Iターン者」は「どちらかといえば住み続けたい」の割合が、それぞれ最も高くなっています。また、「住み続けたい」グループの選択肢は、「定住者」が72.9%と最も割合が高く、「住み続けたくない」グループの選択肢は、「Iターン者」が19.5%と最も割合が高くなっています。

●職業で見ると、「会社員（企業勤務者）」は「どちらかといえば住み続けたい」の割合が、「公務員・教員」は「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の割合が、それ以外の職業は「住み続けたい」の割合が、それぞれ最も高くなっています。また、「住み続けたい」グループの選択肢は、「家事専業」が71.9%と最も割合が高く、「住み続けたくない」グループの選択肢は、「学生」が40.0%と最も割合が高くなっています。

以下は、問10と問11についてクロス集計を行った結果となります。

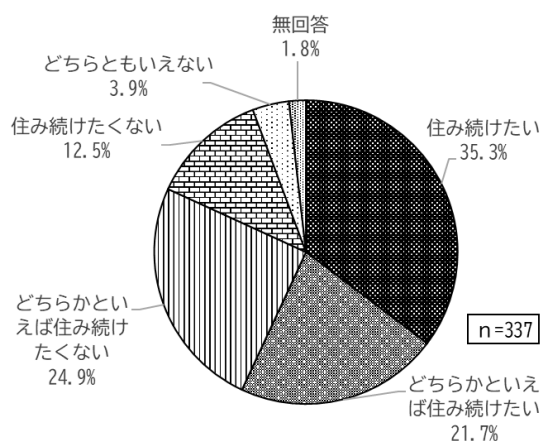


問10において、「暮らしやすい」から「暮らしにくい」になるにつれて、問11において「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を選択している人の割合は低くなっています。

一方、問10において、「どちらかといえば暮らしにくい」と答えた人のうち48.1%、「暮らしにくい」と答えた人のうち21.0%が、問11において「住み続けたい」・「どちらかといえば住み続けたい」と答えており、「暮らしにくい」と感じながらも「住み続けたい」と感

じている人が一定数存在します。

以下は、前回行った住民意識調査（令和元年実施、回収数337/1000）における同じ質問内容の結果です。



「住み続けたい」グループの選択肢の回答割合は、前回結果が57.0%となっているのに対し、今回結果では63.7%となっています。「住み続けたくない」グループの選択肢の回答割合は、前回結果が37.4%となっているのに対し、今回結果では15.6%となっています。

「どちらともいえない」の回答割合は、前回結果が3.9%となっているのに対し、今回結果では15.5%となっています。したがって、今回は前回と比較して、「住み続けたい」グループの選択肢と「どちらともいえない」を選択している人の割合が高くなった一方、「住み続けたくない」グループを選択している人の割合は低くなっています。

問 11-2 (問 11-1 の選択について) そのように思う理由は何ですか？

以下は、問 10-1 のそれぞれの回答について、理由をまとめています。

1 住み続けたい
生活しにくいところもあるが、田舎暮らしの良さもあり他に住み家もないので住みなれたところで住み続けたいと思う。
住み慣れた家があるから
住む家があるから
長年、この地区に住んでいるので、今更、他地区へ住むというのは無理があります。なので、この地区に住むほかありません。
・他に住む場所が無い・住み慣れた場所である・健康相談・生活相談に対応してもらえる
住み慣れた町だから
住みなれた所だから
生まれた町だから。
長年住み慣れたところだから。
住み慣れた町だから
若い頃町外で暮らした事(十年以上)があるので、やはり生まれた所は落ち着く。出る理由もないので。
やっぱり住み慣れた土地がいい
やはり生まれた町。文句はいろいろだが、気分的には楽なところ。
生まれた土地だから
生まれた町だから
生まれた地であるから。
自分の生まれた所である。
生まれた土地だから
生後90年余り住んできてこのまま続けたい
長年住んでいるので
気候の良い、住み慣れている
幼少期から育った町だから
暮らしやすい
生まれ育った街だから、
生まれ育った町で津和野町が好きだから。
津和野で生まれたから。
津和野で縁あって生まれて、津和野でやがて土に帰る。故郷というものは良いものです。
先祖代々。
①ふるさとを大事に。②都会に出た人が何か変えてほしい。③津和野町を若い人が住める様に！④農業をもっと多く！
先祖伝来の土地・建物を継続していかなければならない為。
今まで通りにすんでいたい。
ふるさとである
慣れ親しんだ場所を離れたくないと思う。
愛着があるから
津和野が好きだから
生まれてこれまで町を出たことがないです。
生まれ育った町だから
やはりふるさとだから

1 住み続けたい
生まれてから今まで暮しているので、でも孫たちはここには、友達もいないので無理と思います。
生まれ育ったところであるから
唯一無二の故郷だから。
生まれ育ててもらったふるさとです 先人から続く歴史を未来へつなぐべく暮らしたい
ふるさとだから。
生まれ育った町で愛着がある。
今の生活環境に満足している。
愛着はある。
住所を変えるつもりはありません
とても住みづらい。でも、故郷なので住み続けるためにできることをしていきたい。 いまは大変で、人との関係性が構築しづらい。でも一つ一つのコミュニティを、心から家族も誘えるようなコミュニティにしていきたい
今は良くて老後は不安。人口も少なくなるし、家の維持ができなくなりそう。それこそ車に乗らなくなったらどうやって生活をしようかとなるので益田の徒歩で色々行けるとところに引っ越したほうが良いのではとなる。
老後、土地、田、畑、家の管理に不安がある。
他に行く所ないし家は、自分の物なので。
不便すぎる。良いところが見つけられない。 自宅があるから引っ越せないだけ。
持ち家があるから
自分の家だから。
場所を変える予定がない。今の家に住み続けたいが、あちこち改修しないといけないが、資金がない。
先祖からの土地家屋があるから。
持家がある
持ち家がある
持ち家があるから
持家があるから
家があるから
生まれ育った家があるので、仕方ない
持ち家で子どもと同居しているから
実家があるから
家と職場があるから
自宅があるから。
自宅だから。
自然・文化・町並みが美しく、他地域にはない魅力があります。人々も優しい方々ばかりで、安心して暮らせるからです。
地域性は良い。人から、地域に私は子育てするのに助けられてきた。たくさん不便なことはあるが、楽しい。
一生住み続ける。地域の発展は、地域の方々と苦楽を共にしていた今日、多少問題があろうとも、地域で考え、時間がかかっても、地域発展のために尽力をつくし、将来のために一人で悩まず仲間とともに、地域と町が繁栄できる町づくりに努めるようでありたい。
今まで生活してきて（あまり他町村に住まないのだから）心やすい人が多い。
町外から転入して自立心と津和野のいまも残っている。文化か風景と人々の心使いとやさしさです。
町は美しく、人情豊か
台風などあまり来ない、地震もあまりない、夏は暑い冬は雪も少ない。近所の人とのつながりがあり、人情があたたかい。緑が多くてよい。コロナの時特に環境が良く都会の人の多さに気の毒に思った。

1 住み続けたい
地域の人とのつながりがあるから
集落の中の人間関係がよい
津和野町民は、人情みがあり、人を裏切ることがないと信じている。
生まれ育った須川 知人、友人のいる津和野今の年齢になって離れる気持はない
自分の性格もあるのかも知れませんが割にどなた（若い人、年増の方、子供）とでも声を掛けるのは日原、津和野に近い方とならどなたにでもおたずねでも出来るので、ずっと住み続けたいと思っています
津和野のまちは好きだが、人間関係に左右される。
自治会があるため。
人がいなくなれば出ていくことになるかもしれない
津和野が好きだから。静かで自然豊かで良い。もう少し色々な仕事やお店が増えてほしい。
高齢なので静かなところで暮らしたい
交通は不便ですが静かな町だから。
静かで環境も良いけど、買い物など遠くて不便。
不便なことも多いが、静かでのんびり過ごせそう
静かで穏やかだから
静かできれい。友達が居る。
静かなところ
静かでよい
静かだから
騒音がない。
落ち着いて生活できる。
交通や医療が充実しているとは思えないが、そういう視点で住んでいるわけではない。 自然や地域住民との関係性など津和野町独自のものがあると思っている。
津和野は文化と歴史があり何よりも自然があり、町が美しいことです。どこを歩いても自然や街並みの美しさを感じることができます。この美は守っていきたいです。
田舎から田舎へ嫁いで、自然も多くゆったりしている。落ち着いて生活できる。
自然が豊かで文化財が多く残っている町だから。
自然が豊かな中で生活できることはとても幸せなことだと感じます。
生まれ育ったところ。自然豊か（昔に比べるとずいぶん変わった）
自然が豊かでいい
自然豊かで住みやすい
都会の喧騒とした雰囲気とは違い、自然が身近にあり心身ともに穏やかに過ごせるため。 また、将来子供を持った時に、自然豊かな環境で育ててほしいという思いがあるため。
環境
文化を感じながら生活できる
私の趣味に合っているから。
医療や毎日の生活用品購入（食料品含めて）の便が最低限ある。生活サービスがこれ以上低下しない前提でもあり。
今と同程度で暮らし続けていける見通しが持てているから。
農業が好きだから。
縁りがあってゆったりしていてマイペースの生活が出来る。私の住んでいる地区は大きな災害も無く安心していられる様に感じる。
災害が少ない町と思う
大災害があまりないと思うから（先は分からないが、地理的に）
仕事を続けたいから。

1 住み続けたい
私達は年寄りなので昔の生活と比べて現在の津和野での生活等はいいい方だと思いますので有難い。最高。住み続けたい。
買い物など便利な所へ住みたいが、高齢の為今さら動けない。
高齢故に今更何処にも行かれない。子供は皆都会在住の為。
高齢者ゆえ今更。津和野が好きだから。
私も高齢者で今更他で住む事は考えられない。
将来スーパーマーケットや食事処がなくなるのでは。現在は山口や益田へ車で移動できるが高齢になるとできないので生活が不便になる。
老後の医療や交通（生活バス）の不便さから
老後の介護・医療体制に不安がある。免許証返還以降の交通体系に不安があるから。
高齢になった時に不便すぎる
元気でいれば津和野でもよいが老後が不安
高齢者に対して優しくない。高齢者を生かした地域づくりができていない。
高齢化と持病あり
高齢になり他県に行く気がしない。経済的に余裕がない。
1. 開放的な環境にない為（土地柄）。（狭い村なので、仕方ないかも知れないと思うが…）1. 若者と高齢者が、共に参加出来るイベントを考える必要がある。
住めば都である 高齢になると、老人施設に行かなくてはならない
老後生活が心配。特に経済的に。
年を取ってからが不安。
90才後がない
先が見えているので行くところなし
健康であれば住み続けたいが、自分の事ができなくなれば、施設にお世話になるしかないと思うから。
元気で、身体が自由に動ける間はできる限り住み続けたい。身体が自由がきかなくなれば、その時に、ベストな方法を考えたい。（町内外～できれば町内～の施設、子ども（県外）の近く等々）
歳を取ると違う環境で生活する自信はないし、マイペースでできるように住み続けたい。
年をとって現在を維持するしかない
この年齢になり今さら他町に行きたいと思いません。あえて言うならば中心が役場周辺となって免許を持たない者にとって歩いて商店に行くことが大変苦痛です。町のバスは時間的に一度も利用したことはありません。
他に行く所がない。
今さら変える気はない
70年も津和野町にいて今更よその地には行けない
生れ育った所。町中へ、今さら子供の所へは。保有米ぐらいまだ作って食する。
今更、どこにも行く事は難しい
今さらよそに行く事も出来ない。
今更どこかに移住する元気もないから
今日までここで生活をしてきて今更変える気持ちはありません
知らない所に行くのは不安。
他を知らないから
自分の住む町には、自分にも責任があるということ。自分たちで住む町をよくしていこうという気持ちがないとよい町にならないし、住み続けていこうとも思わない。自分達の町に誇りを持って、住んでいけるようにできることをやっていきたい。
よい町にしたい
問10-2であげた問題を解決していけば、とても住みやすい町だと思う。

1 住み続けたい
課題、問題は沢山ありますが、可能性となる素材も沢山あるため。
人任せにしない。自分の関わり方次第だと思う。
不便なところはありますが愛着があります。
身体が不自由になった時、交通の事や買物、病院等が不安だから。
交通の便が悪い 買い物など不便 文化的な施設が少ない
交通の便が悪い、物が高い。医者がいない。生活するのに、大変不便である。
一言で言えばこの地域で住み続けるのは不便である。車を所有して運転できる内はなんとか移動して生活を維持できるがいずれはそれも出来なくなる年齢に達するので生活が成り立たなくなると思う。
若者がいない。年老いて生活するには、不便だと思う。 交通
車を手離した後の交通手段に不安がある
買い物、病院の不便さ！
何不自由なく暮らしてきたから
不便な事が多い。
不自由
医療面、学業面での不安
人口減少。病院、交通手段が減
もしものときの救急病院がないから（夜間）
今後、スーパー、病院が機能しなくなるのが想像できる。
学校・病院・食品が買える店・働ける場所がある間は住み続けることが可能。ただし、食品の買い物や病院に自分で行けなくなった時に対応する手段がない場合は、それらに対応できる場所に代わる必要が出てくると思う。
子供が帰って来ない可能性がある
自分より下の人たち、これからの子供達が苦勞する未来が見えるからです。
今後、どのようになるか分からない。津和野町のビジョンがない。
・働く場所が少ないこと ・若い人が少ない
発展が無い
冬がきびしい
水道料金の値上げ
全ての事に希望がもてない。
自分の考えと等しくない。
単身赴任かつ住みにくいから
問10-2に書いたとおりです
10-2と同じ
特になし

2 どちらかといえば住み続けたい
生まれた家だから。
長年、住み慣れているから 知っている人が沢山いるから安心
長年暮らしていて、知人もいるから。
住み慣れたまちだから、できる事なら住み続けたいが、これから年齢を重ねていくと、身体的なおとろえと共に車の運転や住周辺の草刈り等が不可能になり、獣の出没に負けてしまうおそれあり、買い物や通院が不可能になるおそれあり、のため。
・他に住む場所が無い・住み慣れた場所である・健康相談・生活相談に対応してもらえる
住み慣れた土地がいい
住み慣れた所だから。
住みよい
住み慣れた町だから

2 どちらかといえば住み続けたい
生まれた地域だから
長年住んでいるので。
住み慣れた場所である一方で、時代にマッチしたまちづくりを期待する。
住み慣れた生活が確保出来るから
ここを終の住みかとして結婚して来たからです
永い間生活したところだから
気持ち的に安心（出生地）
出来れば自己出生地に帰りたいから。
生まれ育った所だから
好きな町
慣れて来たので移動したくないが人数が減るのが淋しい
生まれ育った所だから
出生から津和野町以外で住んでいないから。慣れた場所だから。
自分が生まれ、育った所だから。
生まれ育った所だから
ずっと住んでいるから
地元だから。
親の遺してくれた少しの山と畑があり、土に触れる生活を続けられることが生きがいです。身体が動ける間は、今の暮らしに留まりたいです。お金があれば、住宅型老人ホームに行きたいところです。
持ち家があり 庭で野菜や花を育てられるし静かで、ストレスも少ないのと、他に行く所もないので。
もう年もとったし、家も一応あるし、老後も住み続けるしかない。
住居もお墓も有る。（今、年を老いて知らない土地は不安）
家と畑があるから
家があるので出る理由もない。
自宅がある為
家があるので
もう少し便利な所に住みたいが津和野町に家がある。
持家があり、子供も町内にいるので、住み続けたい。
津和野町に家族の墓があるから亡くなったら家族の墓の近くに入れるから、田舎の方がより、もう町に出る気はないので
昔から住めば都と言う 生家が長いから
実家があるから
持家なので、町内に住み続けたい。
自宅を建築しており移住は出来ない
持ち家である 景色がキレイ
先祖からの土地、家屋がある。
家がある
実家があるから
住居があるから
とても温かい人情があり温厚な人が多いこと。若い人が老人にも声をかけること。町長さんが素敵なこと。草刈りをしてくれて竹藪が無いこと。荒れた田圃が無いこと（ちゃんと草刈がしてある）
生まれ育ったところで長く生活している、慣れ親しんでいて環境面も良い。友人知人もある程度いて、今の生活形態を変えたいというのはとても負担である。
津和野が好きだから。友人知人親戚が多く住んでいるから。
できれば子供だけでなく、多くの人に助けをもらいながら先祖が守ってきた物を守り、ひいては津和野を守る事になると思うから

2 どちらかといえば住み続けたい
知人が多くいるから
人間らしい生活がしやすいから。
人間関係が良い 優しさのある人が多い
現在の良い人間関係を保ち余生を楽しく過ごして生きたいからです
僅かではあるが守るべき財産があるし気心のしれた友人がいる。
地域の集まりや近所付き合いが苦手だから
自然も多く、子育てもしやすい環境だから。また地域の人との関わりも多いため、子供も含めてコミュニケーションが取りやすいから。
自然が豊か 人が人に優しい
近所の方と仲良くできていることです。
子供がいるから
両親がいるから…
自然豊かで静かだから。けど、クマ、イノシシなどが、増えると思うと生活に不安もある。
静かで美しい街で治安も良いが老後は一寸心配。医療と交通の便が良ければもっと良い。
自然豊かで空気も水もきれい。Uターン者にとってはとても良い環境である。娯楽、病院、美容院が少なく不便。益田市や山口までが遠い。
生活の不便を感じるが、自然が多くゆったりと暮らせる。
益田市のほうが、医療、雇用、買い物施設が充実している。ただ、自然に恵まれているのは津和野。
自然だから
高津川の恵みを受けて暮らしたい。
空気感、時の流れ、安心感が心地良い。
家の前には高津川があり、近くに道の駅グランドゴルフ場があり、一年中運動つりが出来て楽しめるから。
治安が良い
Uターンで住み続けます。
どこにも行きたくないから
残りの人生を津和野で全うしたい。
生活地盤が津和野で出来ているから
田舎のほうが融通が利く為
大きい地震がない
引っ越す理由が無いから
移動する理由が今のところないから。夫婦どちらかの両親の介護が必要になった場合や血縁のつながりを大切にしたいとなったタイミングで考えます。
困ってないから
特に困り事がないため。
年をとったら暮らしていけない。色々不便である。
・将来的には子供の近くへ行かざるを得ない。・老人になり日常生活が不自由になると思うので子供の世話にならざるを得ないため。
高齢化になるにつれて不安はあるが、いまだ家族といるので施設等への入居の事までは考えていない。独居になった折は（子供と相談の上生活の形態をとる）
いつまで自分の生活が維持できるか自信がない。周りを見ても高齢者が多くとても不安を感じている。
今後自分たちが高齢になった時に生活していけるのか不安、運転が出来ないと移動出来ない
基本、車がないと生活しづらい。医療が心配。人口減少。老後が心配。
もう年齢も年齢だし今、津和野をはなれる事は考えていません。住みやすいです。
高齢者への対応がよくないような気がする。

2 どちらかといえば住み続けたい
年も年なのでこのまま住み続けるしかない。
年齢を重ねるたびにそう思う。
代々の土地や遺産を引き継いでしまいましたから、ほぼ強制居住ですよ。 町や地域の雰囲気とか周辺環境は性に合っていて好きではあります。ですが、先々の就業環境や医療環境、地域住民の高齢化～過疎化による衰退やゴースタウン化を考えると、まだ余力のあるうちに少なくとも医療・介護体制がしっかりしていて、買い物とかの日常生活に困らないとこへ引っ越したほうが安泰なんじゃないかと思います。
・高齢者が行く施設がない（デイサービス・ショートステイ）・敬老会に何もなし・近くにスーパーがない・税金 取り過ぎ
高齢者なのでこの町で生活をして行きたい。
夫婦共高齢者なので地元で生活を続けたい。
高齢だから
私は年なのでここが一番良いと思う
他地域、他県の方が魅力があり、将来の生活を考えると不安がある
他に方法がない。
他に行くところもない。
他のところで住む事はできない。
他の選択肢は考えられない
いい街ではあるけど、お店は早く閉まる交通も不便
買物・病院に行くのも遠いし、これから先が不安
医療の不安
医療に不安がある。
医療に不安がある。
1人暮らしになると、不便か。
運転できる現在は不便を感じないが、今後、運転が難しくなった時に不安を感じるから
施設に入りたくないの最終は県外の子の所へ行く。（適当な施設も無い）
いい所だとは思いますが、長く住んでいない為。
利便性がない
買い物で欲しい物がすぐに手に入らない（益田や山口まで行かなくてはならない）情報が入りにくい。何をするにしても車で出かけなくてはならない。
楽しくお出かけしよう津和野は論外。遊ぶところもなく（ゲームセンター、ショッピング）食事駐車場がなく、それなら山口や、益田にお出かけする。娯楽が少ない。喫茶店もなく、長時間友達とおしゃべりも出来ない。津和野にいても楽しくない。
町がさびれている
気候
外に出たいから。
間違いを誤魔化される
地域おこしの方を悪く言うわけではないけど中途半端に手を出して帰る人がいることによって、帰省する度に地元感がなくなっていると思ったから。
地域に対して、帰属意識をあまり感じていない。
生活が維持できるか町の状況による
何があるか分からないから
将来がみえない
今後の活動方針が見えない。
進歩がない、ただ漠然と終焉を待つのが嫌だから
人口が増える未来が見えない 子供を育てやすい町とか雇用にあふれる町とか観光以外に力を入れるところにもっと力を入れないと本当に津和野は滅亡する気がする

2 どちらかといえば住み続けたい
人口減少、過疎化
そう思うから
元気が有れば、宗屋也田畑〇〇の持ち分が有るので行政の力を借りて生活して行きたい
同上
問10-2と同じ
10-2と同じ
特に考えたことが無い。
特になし
分からない

3 どちらかといえば住み続けたくない
不便な町だからです。
交通の便が悪い。
交通機関のが少なすぎる。 日常の買い物をする大型商業施設、ドラッグストアなどが無い。（車が運転できなくなると、大変不便）
将来的に人口も減り、病院や公共交通機関がなくなるなど不安がある為。
公共交通が整備されていないので車がないと生活できない。高齢になる前に便利な土地に引っ越す予定。
介護施設も少ないし交通手段も限られている為、歳を取ると暮らし難いと感じる。
病院、介護、買い物、などの 施設等が充実していない。 将来不安！
老人年齢になった時に、移動手段がなさすぎて行動範囲も狭くなり、楽しい老後生活が想像できない。町内スーパーの価格も高めなので、生活が苦しくなりそう。
老いていくにつれた自分の健康の事、病院通いの不便さ、自宅とその周辺の土地の管理等不安になる。ここにいつまで住めるものかわからない、住み続けたいわけではないが引っ越しは容易ではない。
高齢者になった時に病院に通うのに不便
医療の充実・サポートがないと住み続けられない。
安心、安全、自然豊かだから 医療面の不安
医療機関が少ない
子供の体調次第で医療の為 自分だけなら住み続けたい
高齢なので
現在時短94歳なので余命を考えたとき津和野町以外の選択肢はない。
老後が心配 仕事の状況により変化
今のところ魅力を感じてない。
あまり魅力を感じない
魅力がない。
人口減少が激しく、将来が見込めない。 なんとかしようと頑張る人がいない。 役場の職員の方の子どもさんは、ほとんど町に残らず、都会から住む人を呼び込む政策は、無理がある。魅力的な町とは思えなくなった。
人口減少が進む中、限られた人達だけの交流だけでは生きて行けなくなるからです。
ゆっくり過ごせたり安全面ではいいほうかもしれないが、不便なところが多い。住宅も仕事もない。
将来的には津和野から出ていくと思うから。
子供達は、県外に住んでいる。 1カ月に1回のペースで帰って来てくれるけど、1人住まいというのは、何かがあった時、気づいてもらえないから、不安です。
田畑、山林の管理が困難な為。
「陸の孤島」のような思いがするため、近隣市町に住みたい気持ちがあります。
Q10の理由の為、条件の良い物件があれば益田市内に近い場所に住みたいと思っているから

3 どちらかといえば住み続けたくない
協調性のない人が多すぎる
会社の異動によるため
仕事
地方が抱える課題は何処も同じ 自然の豊かさに目を向け、不便さも折り合いをつけて暮らすしかないと思います 津和野ではなくとも同じ
自然があり、人とのつながりもあたたかいし、大好きである。しかし、日原の町が人通りも少なく、昔と比べたら本当にさびしく感じる。
今は古い家を受け継いで住んでいるがもっと老いたら家を維持できなくなる。子供が子育てを終えて帰っても大変なのでいっそうの事、処分した方がいいかも。
持家なのでしょうが無く
自分の生家であり、親の生活を見ながら家を大事にしてあげたい。
自分の家だから
家が有る以上どこにも引っ越すことが不可能だから
他の行く所がないし、家、田畑守る為
生まれ育った土地への愛着
小さい頃から、住んでいるから。
慣れた土地だから。
住み慣れた所だから
理由はなく、生まれ育った町なので良くも悪くも住み続けるようになってきている。
生まれ育って魅力的な自然豊かな場所で子どもを育てたいから。
津和野町に出生し他所に出ていないので顔見知りが多いため。地理にも詳しいから、人心も良く分かる。津和野人は、さっぱりしているので外から入った人には馴染みやすいのではないかな
すぐに出ていきたいと思う程の不便さは感じていない
生活、仕事面で現状転出の必要性を感じないから。
他に移住する必要がない
特に他に移るほどでもないかと
住みよい町、暮らしやすい町。
暮らしやすい街だから
慣れた地域が安心
環境、空気が良い
自然環境が好みだから
自然豊かで空気が良い
暮らし安いから。
静かでいい
住めば都
他地域への魅力を感じていないから

4 住み続けたくない
近所に店がなく不便
車の運転が出来なくなった時、不便を感じる。
山間地に住む老人です 交通の便が悪い商店がない医療が充実していない。
老後住むには不便。
魅力がないから
この先、町として存続できるか？不安。がんばって我慢してまで津和野にいる理由を見出せない。
なんの支援もなし、相談してもできません何もしてくれない役場、ケースワーカーもなんの力になってくれない

4 住み続けたくない
人間関係が面倒くさいから
転居を考慮する年齢ではない。
ゆっくりと暮らしたい。今からは特に。
主人はもともと津和野長なんで慣れてますが、私は津和野出身ではないからです。
家族がいるから
何年も住んで今更！！
津和野になじんでいるので、特に他の町へ越したいとは思わないから。ただ、年を重ねて車の運転が出来なくなった時に困ることが増えそう…という不安はある。
年齢的にも外に出るのも大変だしこのままこの町で暮らしたい。
生まれた故郷だからです
日原が好きだから。
なんだかんだ、津和野が好きだから
自然豊かで、地域の方々も温かい方が多いから。
人付き合いの温かさ

5 どちらともいえない
ドラッグストアない。保育園がやばい（園内でたたくという行為を注意しない。必要なものがそろわない。マンションがない。意見を言えば文句ばかり。防犯意識も低い。町が汚い。人の悪口ばかり。交通が不便。
不便が多いから。
過疎化に不便を感じる。
全てにおいて不便
今は、体も不自由なく動けるし、運転もできるので大きな支障はないが、高齢になった時、買い物や通院等が不自由なくできるのか、心配。
高齢者になりつつあるので今更住居を変えません。
高齢と障害者の二人、不安。人の事を思うことは出来ん。
・高齢者が行く施設がない（デイサービス・ショートステイ）・敬老会に何もなし・近くにスーパーがない・税金 取り過ぎ
人口の減少、高齢化で町内は空家ばかり目立ち始めている。所用で町内を歩いても、誰ひとりと人に合わずに自宅に帰るといことがいつもある。今、これはどこの地域でも同じなのかもしれない。 自然環境の良さは利便性とは比較できないように思うので、自分の体力、気力のことを含めて、今後の生活場所の事はこれから自分にとっての大切な問題だと認識している。
高齢化が進み、特に医療・介護の面で住み安くなれば安心できる。
高齢になり、このままで仕方がないと思う。
高齢で今さら移動出来ない、田畑の仕事が楽しい。美味しい食事、自給出来ている。友人も居る。
老齢なので、今さら移住しても仕方がないので、この地で住み続けたい。
80年も住んでいるので愛着がある。
すごく不便な町だが、津和野の町並みは好きなので住みたいとは思うが、難しいところである。
今に満足しているから。他に行っても同じなら、住み慣れた所が良い
転入して、40年になるので、別の所へ転出しようとは思わない。末っ子同士で結婚し、自分達の力のみで土地を買い、家を建てたので、住み続けたい。死んだ後、たとえ子どもが家に住まなくても家をきれいにしておいて安く、住みたい人に貸せるよう、大切にして過ごしたい
生まれた所である
住み慣れた土地だから
住み慣れている。
住み慣れているから。
住み慣れた場所で最期を迎えたい。

5 どちらともいえない
慣れ
長年住んでいるから
津和野に嫁いで来て51年になります。当時はいやでいやでたまらなかったのに、今は、なるべく長く、ここに居たいと思います。土地にも慣れたと言うこともあるけど、人に慣れたのでしょう。近所の人達と喜んだり、悲しんだり、共に頑張ってきたと言う気持ちがあります。良い人達に出合えて良かったです。
生まれ育った津和野町他の地域へ住もうとは思わない。特に生活するうえで不便はない。
家があるから住んでるだけで、住んでいたいとは思わない。仕事場、収入の確保・行政のあり方・やり方を！
持ち家に住んでいるから
家が持ち家だから
40年以上住み続けているので、他の所に行くつもりはない。家を守って行かないといけないので！
住み慣れた町なので、子供たちも一度は県外に出てもいずれは戻ってきてほしいと思う(町をキープできないため)
先祖からの土地と家があり、生活ができているから。
出生の地であり、持家、高齢のため現状維持を希望。
生まれたところだから
美しいふる里だから。生まれ育った土地だから。
満足
良い町だから。
災害・犯罪もない。津和野町最高。町からのような優遇ある。下原町長最高。本当に住みやすい町。この町に生まれ育ち子を授かり育て本当に良かった。
自然豊かで良い場所ではあるが、生活をするとなると利便性に関しては都会に劣るため
田舎暮らしに満足しているから
自然環境が良い。
静かで空気がきれいな所
静か
静かさど、にぎやかさがどちらも感じれる町だと思います。人が多すぎて疲れることのないこの町は本当に住みやすいです。心地よいです。
余り争い事がないから
ストレスがない
物品の購入等も、バランスのいい立地状況だと思う(広島・山口・益田等)
体に気を付けて無理をしないで生活すると自由もあると思う。
歴史と人情の町に生まれ育った事を嬉しく感謝しています。
生活環境は恵まれている。ただ、収入源となる企業がなく、永住するには不可能を感じる。
都会はイライラして住みにくいので、もう少し便利な所に変われば本当に住み続けたいと思います。
農林、商工と一対となった活動をすすめれば。のんびりと暮らしたいから。
安心して暮らせそうだから。あと医療に眼科があると助かります。
今のところ住みやすいが、医療には不安がある。
医療の心配
年金が少なく暮らし難い
もっと便利な生活がしてみたい。
将来、運転免許返納後生活しにくいと思うため。
貧困な町であるが、静かで平穏。
何も産業なし。観光するにも殿町、稲成、城山。
・働く場所が少ないこと ・若い人が少ない

5 どちらともいえない
冬、雪が積っている時、車で農道から県道に出るまでが怖くて出られない。除雪を早めにしてほしいです。
最近の温暖化により7月頃から9月までの気温上昇により体力的にも非常にダメージがあります。特に農業、涼しい地域への移住も有か。
今はどこへも行けない
子供がすぐに宛にならないから
住めば都。なので今さら他の地域で暮らそうとは思わない。
今更変わりたくない。
今更転出など考えたくない。
他に行くところがない。
住むしかない
子供に迷惑かけたく無い 親しい人もいるから
せっかく定住しているので、出来れば長く住みたいから
津和野を出ていく理由もないから
仕事がどうなるかわからない為。
他に行くところもないし、行きたくもない
Q10と同様
特にない

無回答
自分が生まれた町だから
生まれ育った町ふるさとだから
生まれ育った町が一番安心できるから
住みなれた所だから。
今のまま住み続けるだろうと思うから。
我が家が落ち着ける
自然が豊かで生まれ育った町だから、住みなれていて昔と変わらぬ山々と風景が懐かしく思われる。ひとの温かさ肌で感じ取れる。近所との付き合いも大切にしていきたい。
日原の何もない感じが好きだから。
地域の人達と交流があるから
人と人とのつながりのよさです
子供達と生活出来るから
子育て支援がしっかりあるから。（保育園無料、保育園で使用する紙パンツ無料など） 話しやすい人が多いから。
個人としては現状何も問題がなく暮らせているから
都市部にはない豊かな自然があり心が豊かになる。騒音などのストレス要因が少ない。
街がキレイだから。必要な物がそろっているから困ることないから。
高齢になると車がないと買物にも行けない、不便。医療が整っていないので、高齢になると不安で仕方ない。
最低限必要なインフラはある。食材（特に米や野菜）が比較的安価でおいしい。気候が程よい。住民の人柄が比較のおだやかでストレスを感じにくい。
今の住環境が気に入っている。不便な部分はたくさんあるが、自然の中で暮らせてとても有意義に感じている。
高齢だから
・開放的な環境にない為（土地柄）。（狭い村なので、仕方ないかも知れないと思うが…） ・若者と高齢者が、共に参加出来るイベントを考える必要がある。

無回答
店舗や病院に加え、車がないとどこにも行けないため
お店もない、交通手段も少ない、医療も充実してない場所で高齢になってまで暮らせない
10-2の通り住まざるを得ない。
他に選択肢がない
一人の生活なので、自分では、将来が決められない
未来がみえにくいため。
今後の自分の可能性が分からないから
住み続けてもいいと思う反面、新地を探してみようとも思う。

問 12 その他ご自由にご意見をお書きください。

問12 自由記述

医療が充実すればもっと住みよいと思う、眼科は絶対に必要です。最近認知機能が少し低下されている方が、自分はもちろん気づかず家族がおられても気づいておられず、近所の方は気づいておられるがどういふ対応をしたら良いかわからず困っておられる、こういう時こそ民生委員の方の出番ではないかと思うのだけど、放置されているように思える。

介護保険料が医療保険より高い。しかも津和野町には施設が不足しているので他町村を利用しているのでは他町村への負担金も多い。介護保険利用中の方も満足できるサービスは受けられない。現役世代に負を残さない為にどうしたら良いか？既存のしっかりした建物で共存するしかない。栄養摂取、保清、お互い助け合って楽しく暮らす。できるボランティアをして健康を保つ。5人に1人は認知症と言われているが防ぎたいものです。シェアハウスが一番だと思います。

津和野は城跡、SL、他観光面が沢山あるが日原は天文台、日原歴史民俗資料館とか少ないから仕方ないのかな。比べても…。・町バスが使いづらい・病院は津和野共存病院で治療を続けているが今は歩けるので、東青原駅から津和野駅で汽車を利用し病院まで歩いている。(家から駅までと駅から病院まで)夫に車で連れていってもらうのも、夫も予定があるので頼めない事もある。70才前半であるが、これから生きている間、歩けるように、運転を続けたり、公民館の行事に参加したり人のつながりも大切に、認知症になっても、安心して地域で住み続けられたらいいなと思っている。

【数年ぶりに津和野で住むことになって感じた事】・街がキレイ(津和野に帰ってきてから何度「キレイな街だなあ～」と思ったことか)・町民の方々の意識が変わった(移住者や観光客への眼差しが優しくなった)・町民の方々の意識が他自治体に比べて高い・以前津和野に住んでいた頃に斬新だった町の政策が浸透している(特に子育て支援系)。町長の手腕の素晴らしさだと思う。・町民意識調査が継続されており、熱意を感じる。

町職員はもっと自分が暮らす地域の行事等に出向き、住民との交流を図るべき。(みんながみんなではなく全く地域の行事や消防活動に参加しない者がいる)。1戸建て定住住宅に住んでいる人は地域の行事に全く顔を出さない。ただ地域に住んでいるだけで地域に何ら貢献していない、契約違反ではないか。つわの暮らし推進課はもっと居住後の調査をすべき。町道がボロボロのか所や法面がずって、いつ陥没するかわからない状況にある中で要望しているのに何年経っても建設課からの回答や工事の見通しを示さないのはよくないと思う。

どこかの市町村の首長さんは公約の中で、少子高齢化、若者定住人口減少の歯止めをかけると言っておりますが、実際の所、本気になって取り組んでいるのか、よくわかりません。町の活性化の対策の1つに、まず、道路整備だと思います。1本の道路でも出来れば町が変わります。今頃、隣の益田市が大きく変わろうとしています。新設県道、市道が市内を横断する道路が工事で潤っています。この青原地区は隣の益田市に近いという事もあり、商圏はやや益田市に傾いています。青原をもっと整備したら住宅も沢山出来て、人口増大につながると思います。青原も荒廃地が沢山あります。この荒廃土地を何とか町の方で取り組んでもらいたいと思います。青原地区にもっと若者住宅を増やす事です。

県道197号線の川周辺は、立木が多く、又太くなり、増水時には大変な事が起こるように思える

青原の山林の雑木を切り出し竹を切り出して燃料にして発電をして中電に売ること。犯罪のない集落が多いと思うけど道で会う人に声をかけたいと思う。少なくとも会釈をしたいと思う。お米安くしてください。

中山間部なので仕方ないというか津和野町民は皆そうだが関西地方への交通の便が悪すぎる。時間もお金も。飛行機で東京へ行くのと金額がさほど変わらない。そういう面、不便に思う。

草刈りができてない所が多いので、景観が悪い。町を通る時の印象が悪くなる。

バスもいいのだけれど私はタクシーを使って自由があるのもう一台タクシーがあれば嬉しい。

道路の整備 津和野～山陰道 津和野～山陽道・中国道 バイパスの建設促進

川の整備がなされていない、土がもり上がり、草も多い、大きな木が川にある。これから温暖化により雨も多く降る、川の大きな木にいろんなものが引っ掛かり、水がスムーズに流れなくなりあふれることもある。

役場周辺や庁の中心地の道路が狭い、不便。日原診療所でも子供の診療をしてほしい。今は健康だが将来の事を考えると今の医療体制では不安しかない。町のやっている事はすべて中途半端でその場しのぎに思える、10年20年後を見据えてやるべき。

問12 自由記述

国道9号益田～津和野間の早期改良を行い、10分間くらいの短縮が出来れば医療・買い物・物流・安心安全が高まると思います。夏にJR山口線に二回乗りました、特急、普通と利用しましたがまずまずの乗客だったと思いますが、一点気になること、津和野駅でカード決済ができないことは乗客離れにもなりません、JRと詰め早くできるようにしたほうが良いと思います。益田～広島への高速バス（日原経由）津和野に帰るには日原で下車し路線バスを待つ必要がある、接続をもう少し検討し待ち時間をなくすと利用の増加になる。昔は稲荷さんから9号線の赤井大鳥居が良く見えた、また山口方面から来てもトンネルを抜け少し下るとよく見えそれが津和野のイメージだった、鳥居の周りの杉少し伐採させてもらってはどうか、所有者にも協力をお願いすれば何とかありませんか。日原の図書館前の（かわべ？）いいところだと思います、地元住民がふらっと立ち入れるスペースかな。殿町の公衆便所のたち札がなくなりいい感じになった、広場のところにあったやつ。

町内を町民皆がきれいな町造りに取り組む。町道の維持管理をしっかりとって町がきれいな町造りに取り組んでいる姿勢をみせる。町内を流れる川は町内の面積の大半を占めている、現状の川が清流高津川といえるだろうか。町職員が町民のために働いていないという事がわかった。

老朽化した家屋が目立つ。観光客にとっても娯楽が少なく夜が長い。リノベーションしたりできればIターン者にとっても商売がしやすくなるのではないかと考える。

空き家を利用し、ケアハウスの立ち上げ、試みる必要があると思います。

コンパクトな町を作る必要があるのでは

お年寄りのためのバスの便数を増やす、バス停を増やすなどの利便性を高めてほしい。

医療機関の充実がないと、住み続けるのが困難な人は多い。特に救急外来（夜間などの）はぜひ行ってもらえるよう強く希望します。

町道整備 迂回路と利用される事もあります。（草で見通し悪い、山からの倒木の不安、道陥没箇所等）関係部所の職員見回りされたらどうでしょうか。

私の住んでいる地域も高齢化で農地が荒れてきたり年々有害鳥獣に悩まされたりとだんだん住みづらくなりつつあり、不安を感じています。

提言①里帰り出産が出来るようにする。子供の声が聞こえない所に人口が増える要素はまったく無い。町内出身の助産師の資格を持っていながら利用に来てない人達等に協力を頼む。

福祉と医療が充実してほしいです。

今はよいのですが車の運転ができなくなった時暮らしていけないかと心配しています。

津和野町は山が90%位占めているので、森林を利用して何か工夫して町おこしをして欲しい。山が悲鳴をあげている。

空き家が気になります。

年をとっても楽しく暮せる場所があって欲しい。生活環境が美しいこと（水、山、川、谷）昔からの生き物が住み続けられる地をとりもどすこと。

なごみの里に温水プールをつくる→美容と健康、健康づくりブーム→筋トレ→個人の体力と健康データ医者（病院）との連携

問11-2と重複しますが、あと10年経過すると両隣家の方が亡くなられるかも…。で空き家になって獣が入り込み、獣害の恐れあり。草が生い茂り草に飲み込まれてしまう恐れもあり…で心配です。現在はプライバシーも厳重に保たれており、誰にも気兼ねする事なくソロB B Qなど出来て、快適なのですが…。

津和野分庁舎の裏の高岡通りの緑石の草が気になります。観光地なので役場の方も少しの草抜きをしてほしいと思います。

全国的にクマの被害が起こっています。サル、イノシシは以前よりあります。それらは、人間を困らせようと町に出てくるのではなく、生きるために食べ物を探しに出てくるのです。新しい建物を建てるのではなく、山、山林の整備をしていくことが優先されるべきではないでしょうか。また、いろいろな所に捨てられる。ビニール、プラスチックが小さくなって動物や魚類に悪影響をあたえていることをもっと感じていける町民が増え、優しく思いやりのある町になればと思います 本当のきれいな町（人が造るきれいさではない）自然と動物が共生している町をめざしてほしいです。

少子化対策は、女性、特に若い女性がルンルンで暮らせる環境づくりが必要と思う。 町をデジタル化の町にしてはどうか。観光客、若者、今どき現金払いでは若者、高齢化したからこそ訪れない。乗り物、飲食、宿泊…役場の手続きetc

問12 自由記述
津和野地域と日原地域が一体となり、活気生まれる施策づくりがほしい。近隣都市部と姉妹縁組等を行い、交流活発化により新たな発展を見つけてほしい。高齢者や一人住いが安心して暮らせる町づくりをしてほしい。食事の提供サービス、介護訪問の拡充など。町のブランド品の掘り起こし、推進をしてほしい。
町内の道路整備をしてほしい。オレンジの中央線が消えかかっている箇所も多々あります。大きいトラックとすれ違うときは危険でもあります。また、停止線や横断歩道なども見直してもらえると有り難いです。
歩道の整備をしてほしい。観光客も歩きにくいと思う。グレーチングの凹みやガタツキも多い。
文化遺産の保存継承も大切であるが、過去より今を生きている人へ恩恵のある施策を進めて欲しい。また、日原地域は清流高津川、安蔵寺山、天文台など自然豊かな地域である。そうしたポテンシャルを活かした事業を展開して欲しい。
水道整備など、きちんとしてほしい。人口減少の今、インフラの整備は必須だと思う。木部の地域には水道が、通ってないところがまだある。
小中学校の不登校の子どもがいる。以前、元教育町にも何度もお願いしたが進展がなかった。現職にも言ったが笑って終わった。
保育園や小学校・中学校の人数が少ないからこそできる教育に見直すべき。（体験的な学びを増やすとか）
文化や歴史を語る時、その土地、その人々の思想が重要であろう。西洋中心主義、白人至上主義にも似た都会中心主義、面白み皆無主義に捉えられて、我々、津和野町民思想を隠蔽してはいないだろうか。もっと胸をはって、津和野町民思想を世界に発信すべきではないか。その為には、町民度の底上げや文化、芸術の創造による教育哲学を町をあげて推進していくべきであろう。
小・中・高まで道徳教育に力を入れないといけない。
森鷗外を前面に出した活性化対策「ばけばけ」の小泉八雲のように
津和野高校に力を入れているように思えるが、結局そんなに人が増えないし、県外から来る子は変わった子が多く、いいイメージがない。津和野高校はあくまで「県立」なので、町が力を注ぎすぎるのもいかなものかと…。せっかく津和野町出身で、国内・国外で活躍している人もいるのに、それを盛り上げに使わないのはもったいない。
津和野町の定住人口が増えるような施設企業誘致、農業施設、地産地消、地域で循環ができ雇用が生まれ若者の流出を防ぐような手立てはないものでしょうか。子供の教育はとても重要生きる基盤としてとても大切なことと思う。一度外の世界を見て必ず故郷に帰って生活できるような基盤づくりを大人が作っていないといけない。農地がたくさん放置されている今時の循環型農業を推進し狭い農地でも生産性を上げられるような方法を考えてみては。特に食育は生きる基盤住民が健康で社会貢献できる町になれば医療費負担も少なくなるのでは。理想的なことばかりでもいけないのかもしれませんが、今一番町を上げて考えていかないといけないことだと思います。税の無駄使いをなくし施設にしても集約できるところは見直し町民全体で考えないと行けないと思う。津和野町には優秀な職員さんがたくさんおられます。皆さんの意見を出し合い集約し現実に向かって知恵を出し推進してもらいたい。一町長の切ない願望です。
若い人が安心して仕事に出かける。
近くに店がない（お豆腐一丁買える店がない。）眼科がない。婦人科がない。町議の人数が多い。粕物ばかり作り過ぎ。
津和野町は昔から観光地なのにお店（スーパー）など段々と潰れてしまったり泊まる場所も減少し不便なことが多くなり以前の活気もなくなり寂れてしまいました。現在、各家族高齢者ばかりの生活、先々不安な事ばかりです。若者が少なく、帰省されても働く仕事がない。空き家の建物が残っているが、何か利用できる事業所を作ってにぎわいのある街づくりで盛り上がってほしいです。
このまま人口減少が続くと産業の担い手が減りいろいろな不便が生じて生活が続けられるか不安。
とにかく働く場所を確保して、若者の定住を望んでいる。団塊の世代として昔のようにとは言わないがせめて50%くらいの活力が欲しい。
高齢者になり運転免許証の返納を近い将来行う事になる、町内外への医療機関、買い物等、交通手段に不安を感じている。人口減少が進まないよう、働き場企業誘致の確保に力を入れてほしい。具体的に農地の維持に不安がある、相談窓口があればと思っている。
若者の働く所がほしい。

問12 自由記述
林業が衰退し、除伐、間伐等の育林不足で近い将来山林が荒廃する。益田市内の工業団地は未活用地が多い、地域に雇用の場がないと過疎が進行する。
津和野町も含む益田地域に企業を誘致に石見空港を有効活用してほしいものである。空港を利用して貨物の運搬や都会との交流を図れば空港の黒字化や地域の生活向上になると思われる。益田の工業団地（ファクトリパーク）の活用をもっと考えるべきと思うのだが…？
周辺の自治体と企業誘致を促進する。
若い人の働く場がない。人口を増やすことが最も大切なことではないか。人が減る一方でその状況では、活性化も発展もないのではないか。
工場誘致～津和野は歩いて廻る所→ウォーキング→靴（シューズ）の工場の誘致
観光資源はあるのに、閉まっている店が多く、飲食店もない。若者の起業への支援や店舗の貸し出し。ふるさと納税返礼品の拡充。
観光も必要ではあるが、町の人口を増やすことが何より大事だと思います。人口が増えることで食品店や飲食店の経営安定・学校の生徒増加・空き家の利用・なごみの里や病院を含めた公共施設の利用者増・公共交通機関の利用者増・税収増など、現在の問題点の多くが解消へ向かうのではないのでしょうか？ その為には働く場所が必要であり、山を削ってでも広い土地を用意して多くの従業員が働く企業を誘致するなど思い切った対策が必要だと思います。津和野は大きな地震・長時間の停電・川の傍でなければ大きな水害も無く、海もなく津波等の心配もない町です。これらを資料として整理しアピールすれば、大規模なサーバー設備や研究施設など頻繁な物流を必要としない業種であれば候補地になると思います。観光以外で安定した働く場所を得ることが津和野町の未来に繋がると思います。
高年齢、人口減少で外国人労働者は今後、ますます重要になってくると思いますが、生活習慣の違いか、日本のルールに不慣れな外国人＝ルールを守るのが苦手な人が多いと思います。特に道路通行と歩行者保護、町内観光施設利用マナーなど今後更なる対策が必要だと思っています。（特に殿町、末町）
近所同士が助け合い、繋がりのある社会になって欲しい。
精神疾患のある人への思いやりと、相談などの時間をもう少し増やしてほしいと思っています。
自治会に入ることすら拒否してしまわれる家もあって、人と人とのつながりが保てなくなって来た現状があります。日本人の物の考え方が自分勝手になって来ていて、とても心配です。津和野だけでなくどこに住んでも同じだろうと思いつつ…！！
70代以上の持つ衣・食・住の知恵が残せないかと思っています。もし災害が起こった時などに役立つ知恵が多いのではないのでしょうか。様々なガイドブックはありますが、津和野にあって、「これを使えば大丈夫」というものが残せると後世に役に立つものになると考えます。災害に強い町として、インフラが整わない状態でも生き残る手段を備えてはどうでしょうか。
老化して自分の身の回りの事が出来なくなった場合が一番心配。
高齢者の買い物は不便です。スクールバスなどの空き時間に利用できないかいつも思っています。大きな荷物など、ドライバーさんの手伝いを頼めれば助かります。
同じ津和野なら、日原の奴は津和野の奴はとか言うのやめて、お互いこのままだとやばいんだから協力したらいかがです？一番しょうもない。
私の地域では少子高齢化が進み中で、集まって対話のできる場所少ないため、健康と親睦を兼ねてだれもが出来、男女一緒に楽しめる競技として、グランドゴルフを地域づくりに始めてから数年経過したけれども以前より楽しい場として、次の例会を楽しみにするまでに時間がかかった。その結果例会累計176回累計参加者2542名にいった。この間地域づくりの一環として、津和野中学一年生を対象に、3年間招待してきたがコロナの関係で取りやめとなった。その結果津和野中学一年生も生徒同士の対話と地域の方々の対話が話題も深まったことに、やりがいを感じた。生徒も同好会両者とも、大変いい体験と喜びが出来た。また、つわぶきの里の方を対象にグランドゴルフに招待行ったら結果、すばらしい体験となり、つづいて、津和野清流会30名招待する。清流会は初めての体験に両者ともいろいろ心配していたが次もやろうねで、次を待つようになった。地元同好会も、相手の事を考えると心配であったが、自信となる。地域の発展はやらずして悩まず、体験実績があったことがやる気になった。地域と町づくりは健康づくりに親睦から。
今後みんなが手を取り合って暮らせる町であってほしいと思います。
地域の住民が優しく協力的で住みやすい

問12 自由記述
私が思うのは、おはようございますとかこんにちとはとかこんばんは～と自然体で私は町内の方に出逢ったら声をかけています。たとえ相手が物を云われなくてもかまいません。それぞれ性格もありますから。私は明るく声を発しています。
もっと高齢者が生活しやすい町にしてほしい。一人暮らしで、今後不安でいっぱいです。
閉塞感と行き詰まりを感じている。観光で遊びに来るのは良いが、住みづらい。町民の声が届きにくい。
自然発生的に地元民とIターン者の確執が生まれてきているように感じる。
過疎化・高齢化待ったなし、消滅自治体なんて呼び声も聞こえましたが…、高齢者層も大切にしなければなりません、若年層や中間層もしっかり意識して、就業・生活・居住していける津和野行政にしていかなければならないんじゃないですかね。せっかくSNSやホームページもあるんですから、もっと双方向にコミュニケーションできる仕組みを作ってもいいんじゃないでしょうか。
アンケートの設問ほとんどに否定的な意見を述べました。悪いと言うことは変われるチャンスがあると言うことです。消滅可能性自治体から脱却し、拡大して進化し続ける自治体になれるよう私も貢献したい。諦めムードの役場の皆さんや多くの住民の意識を変えたい。余所者の私はようやく町民になれたと思い始めました。全員で頑張りましょう。
津和野地区は観光客のための整備歩道車道・冬の除雪など重点的にを行い、観光客が安全に楽しめるよう整備してはどうでしょうか。日原地区は、ファミリーや、終の住みかななどを、探している人のための、整備をしてはどうでしょう。食事をする所や、日用品を買う店など、住む人のための店の誘致をする。それぞれ住みわけみたいな整備をしては、いかがでしょうか。
観光に力を入れるべきだと思います。宿泊施設、飲食をする場も少なく、魅力を感じない（食事も季節のものを取り入れるとか）自然もうまく取入れるべきだと。城跡のリフトは老人には辛いと思います。頂上にあがっても、景色だけ、リフトプラス遊歩道があっても良いのでは？遊歩道は、季節の本や花を植えて散策しながら頂上へ、自動販売機があっても良いのでは？飲食のできる施設があっても良いのでは。こだま商品券、もらえるのは嬉しいが、使う場所が少ない。
せっかく小京都津和野と言われているのに、魅力を感じられない町になってしまった。山口県などは本気で取り組んでいる様に感じる。沢山の見る所もあるのに残念です。
津和野も日原も、古い価値観が残りすぎです。新しい意見を取り入れる姿勢必要ですよ？それが全くになってない。
映える所ありますよ？津和野って。でも、汚いし、整備されていない（草刈り、トイレは特に酷い）から人が来ない。食べる所もカフェも少なすぎ。
観光振興の大きな力となる史跡等の磨き上げ。
津和野は観光と農林業、日原は川を中心とした観光、もっと地区を見直して体験型の町にするべき。現在はそれが少ない。建物ばかり建てても意味がない。今ある設備を有効にもっと活用すべき。
もっと若者（子育て世代とか）が帰って来なくなるような町づくりの仕組みを考えるべきだと思う。
中学校を卒業後、戦中戦後日立安来製作所に勤務。家業引継ぎのため帰省。津和野町観光協会設立とともに津和野の歴史案内を引き受け当時の教育委員会委託で観光歴史ガイドを務め津和野町に有名人、政界人が来られたら案内を引受してきた事を今でも誇りに思っている
移住して7ヶ月、行政を十分に把握していない浅はかな者の意見です。津和野郷土の豊富な歴史と、山陰の小京都と呼ばれる環境、特に殿町通り、本町通りのすばらしい建造物、環境は、観光客を魅了し連日観光客が多いことにもなっている証だと考えます。津和野に宿泊所が無いので…と、声を聞くことは、残念に思う。素晴らしい建造物の空き家が多いのも残念に思う。買い物、食事、娯楽（ミニ図書コーナー、他）ができる場、1泊ゆっくり過ごせる場が、空き家利用され、申込みがあった時点で開業できる仕組みなど不可能かと、観光客が泊まる時間が確保出来ることで、町が潤うことには、ならないものかと？お世話さまです。
昨年、息子夫婦が帰省した際に小学生の時に親子キャンプをした枕瀬山のキャンプ場に行ってみました。当時は開場間もない時でキャンプ施設、バンガロー等、快適で楽しく過ごした思い出が残っています。昨年6月の事でしたが、当時の面影はなく、トイレは使用不可となっており、風呂も炊事場も座敷も汚れており、後で東京から児童が夏季キャンプに来られると聞いて、一町民として、とても済まなく、可哀想になりました。息子も現状を見て驚いており、専従の職員を付けない迄も、常に環境整備に注力して頂きたいです。津和野の顔は駅周辺の観光名所だけでなく、キャンプ場だけを訪れた人には、ここが津和野の思い出となるはずです。よろしくお願い致します。

問12 自由記述
先日、大阪の姪を連れて出雲大社に行き、何年か前には気付かなかったうさぎの置き物が何体か参道に並んでいて、因幡の白兎のつもりかわかりませんが、何かそぐわないような違和感を覚えました。翌日津和野を巡り、姪が、この町は古いままの趣きを感じられる、と言い出雲大社のうさぎを見たせいもあるかと思いますが、津和野は人工物でヘンに飾らない素のままの町であって欲しいと思います。殿町のはうぶがもっと色も増えてきれいに咲くとか、観光客がちょっと休めるホットスポットがあるとか、そのようなことは良いと思います。
観光の資源はあるのだから、生かしてほしい。友人を案内するため、（津和野城）リフトに乗ったが、接客が、威圧的で嫌な気持ちになった。
SNSなどをもっと活用して、広く様々な世代、地域の人たちに津和野の魅力やイベントなどを発信出来るようにするべき。それに伴い、宿泊施設や飲食店、駐車場の拡充（せっかく遊びにきてもお店が閉まるのが早すぎて、寝るしかなくなるのは勿体無い）も必要。選択肢が狭いと、それだけで行きたい旅行先の候補から外れてしまう。外から移住してきた者からすれば、閉塞的な部分があると感じる。
人口が多くなる様に、町づくりをする。
人口が減る理由をもっと真剣に考え、高齢者以外、若い世代が住みたくなる町をイメージすべき
自治体が、具体的に少子化対策をされると、よいと思います
世界では人口増加、日本では人口減少、その本当の原因はあると思う。
老人が多い町はだめ！
若人を住める街にする。
老人が多いので老人ホーム多くする。
老人ホーム～75才からは、すべてホーム生活をする
老後はどうなるかわからない、子供は県外だからあまりあてにならない。物価が高いので大変です、年金だけでは持家ならなんとか。
超高齢化世帯、一人世帯の意見を聞く、子は出ていない。発展状況だけでない問題がある。
食事の世話をしないで仕事ができる。
若い人が多くなる様に、
病院がない。
病がある為、これからの医療機関が気にかかります。
①救急搬送を山口県（山口県赤）へ検討できないか
津和野に眼科を受診できるようにして下さい。益田まで行くのは大変です
医療関係で眼科医を確保して欲しい
老人施設が少ないので、増やしてほしい。町外へ行っている人が多いようです
女性一人の少額年金でも施設に入居できるような福祉施設を充実させてほしい。
町営バスについて、来るときは停留所から乗っても、降りるときは自由にしてほしいです、ぜひお願いします。
町の店先（出入り口）にゴミ収集日はゴミ袋が置かれている私の地区は大きなゴミ箱に持って行き、集めるようにしている。（一部補助で不足金は自治会費より出しました）町の特に商店の店先はやめて、どこか1ヶ所に集めるようにして欲しい。なんか不潔で嫌。よそから観光に来られた方は特に嫌では…。
プラゴミの回収日を増やしてほしい。時に3週間に1回の回収日もあり、困ることもある。理想は1週間に1回収日があると助かる。その点は他の市町村に比べると不便だと感じる。
先日ゴミ出しの際、容器包装プラスチックの袋に可燃ゴミが丸出しになって入っていました。そういう家庭に限って名前の記載がありません。以前ゴミの分別のガイドブックを載しましたが、年月も経っており、再度、配布するなり、各家庭に必ず届くような注意喚起をお願いします。
課題に対してゴール設定、戦略的なアプローチをしてほしい。 移住→PRする前に、「家」住める場所の準備 観光→戦略に合う実行プラン、どんな方に津和野に住んでもらいたいのか？今の状況で満足してもらえる町民層のターゲット設定を！

問12 自由記述
とくしまるを増やして欲しい。色々な所へ来てもらえると良い。子供が遊べる広場、走り回っても安全な所。
暮らしにくい。ホテルを壊して公園みたいなものを造ったりもうちょっとましなことにお金を使ってほしい。アンケートを作るのにもインク代がかかるしお金の無駄遣い。職員（町役場）もうちょっとしっかり働いてほしい。☆日原支援センターにきてお茶を飲んだりしている職員がいた。そういう事はやめてほしいです。職員が休憩するところではない。もうちょっと考えてほしいです
“にちはら自然商店”が閉じてしまったのがとても残念です。近隣の方々の野菜や手作り食品（家庭菜園のものなど）、気楽に会話しながら買える場所でした。また、出荷、出品されている方の名前からなじみ、ああ、あの方はお元気で作ってらっしゃるのだなあ…と秘かに思ったり、また、あの方の商品が出ていないかなと楽しみもありました。津和野物産店の様でもあったし、“おみやげ”や“使い物”として利用していました。通りがかりに見えるのが良かった。バス停前なので待ち合いの場所としてもいいし、公衆トイレが設備されていればもっと便利で、いいのになあと車で通過するたびに思うことです。
もっと山陰の小京都を使えばいいと思う 日原天文台では×。津和野天文台とすれば、津和野にも天文台があるのかと、観光客がふえると思う。ケーブルテレビ日原では×。吉賀、津和野で清流高津川（清流日本一）ケーブルで良いと思う。全国版で火野正平が日原を“ひ原”と言った日原は知名度が無い。
少子化になる中、町内に7つもの保育所がある意味がわかりません。住まいの近くでなくても“森のようちえん”のような通わせたい魅力、メリットがあれば納得できるはずですが。同年の子が5人にも満たない環境で次の社会（小学校・中学校）へ出た時の負担は子が自ら背負うのではなく親が先手を打って解消してやるべきなのではないでしょうか。他市町村（益田・吉賀）は実施されている休日保育（日・祝）園で交代制にする等何らかの方法で実現できないでしょうか。共働き、自営業も多く、特に高齢化で医療・福祉は人手不足も問題の中、“預けられないから働けない”は解消しなくてはならないと思います。より良い町となるようご検討よろしくお願ひいたします。
人口減少を止めることは不可能なので、早目に諦めてコンパクトタウン構想に転換したらいかがでしょうか？
フィットネスジムは24時間利用できるように町が補助しては。職員は常時在中する必要はありません。近隣からの利用客を多く引き寄せられ、終わったら飲食店を利用するなど相乗効果が期待できます。若者も必ず増えます！
昨年度結婚新生活支援金補助金を利用させていただきました。ありがたかったのですが、対象となる項目（内訳）が限られており、十分に活用できておりません。家庭により必要な項目が違うのでより自由度を高くしていただくと新生活が安心してスタートできます。晩婚化や少子化が進む中で、結婚の後押しにもなる制度だと思うので、改善の検討をお願いしたいです。
整備される住宅は夫婦や親子向けの面積が広く賃料が高い物件ばかり。津和野町の人口増や少子化対策のためには単身者向けの物件を整備し、町内外の若者を集めるべきだと思う。
目の前にあるもの・人・事を活かして政策を進めてほしい。一方で、いま目の前のことだけを考えるのではなく、過去や未来があるということを忘れないでほしい。駅や給食センターなど新たな建造物が成果ではないと思います。都市化、大規模化ではなく小さな豊かさを増やしてゆきたい。先人が積み上げてきた叡智を活用し、これからを担う子どもたちに津和野の暮らしを受け継ぐために、環境の保全、教育、福祉、農林業、食の自給、今この土地に暮らす人たちの営みをどうすべきか、長期的視点で考え実践してゆく必要があると思います。
日原中学寄宿舎跡はいつになったら解体されるのでしょうか？
津和野広報でローマ字の題は何故、日本語で書け。上水道のないところがある。
下水道の整備が遅すぎた。年を取ってからではやりたくてもできなかった。
箱ものを造るだけでなく、お金の使い方を「町民の生活を良くするために！」を第一にしてほしい。
広島広域都市圏に加入する→メリットありと思う。津和野町が入っていないのはおかしい。
道路保全車に時おり出会うんですが（津和野町）、二人乗ってエアコン付けてほうき二本立って登って来るけどなにをする人か、わかりません。PM1時すぎに登って4時過ぎに出て来るが、なにをする人かわかりません。仕事をするのを見た事がないです。町にも無駄なお金があるのか、町民として歯痒いです。そんなお金があるのなら道でも治してほしい？
町財政の健全化が第一

問12 自由記述
財政を健全化を図るために、現在、町が管理している施設や土地で需要のないものを手放すべきだと考えます。また、建物を新築もしくは改修等をする場合はLCCを考慮した方がよいと思います。
津和野の行政全体での課題に対して優先順を提示すべき。満遍なく漫然と予算配分しても何一つ変えられない。去年と同じでは何も進歩しない。貧乏自治体には貧乏自治体のもっと良いやり方があるはず。
補助金政策はよくない。（国が悪いが）楽する事から働かなくなる。（働き方改革の弊害も合わせて）
町政現状維持でいいのではないのでしょうか。上を望めばきりが無い。今で幸せな人です。
町政がもっと住民に対してのアピール度が今一低い感じがするが？
津和野に住み始めて7ヶ月になりますが、行政は移住する時だけであとは知らん感じがします 普通は少しは慣れましたか？とか、あってもいいと思います。交通の便も悪いし、仕事もなかなか見つからないし、役場に相談にいつても役に立たない。結局は、自分達で動くしかない。一度、町長と話がしたいです。頼りない職員でどうなっているのでしょうか？職員を指摘したら、上司が出てきて、うちの部下をいじめないで下さいと言われた。仕事や相談に行っても、返事が返ってこないのに？普通は、うちの職員が何かしましたか？とか申し訳ないと言うのがちがうかな？
国全体で人口減少が進んでいるため、今後津和野町の人口が減り続けるのも間違いないと思います。それに伴い税収も減る中で、これまでと同様の仕組みや枠組みを維持することは難しいと考えます。行政組織や自治組織は、個人ではできない、または難しいことを行うために組織としてあると考えますが、今ここに生活する町民が安心して暮らすことを考えるときに、絶対に必要なものは何かということ、これまでの仕組みや枠組みを小さくしていくこと、これらを考える時期に来ているのではないかと思います。
津和野町役場の窓口や電話にコンシェルジュを置くか、案内専用担当課を置いてはどうか。役場のどの窓口へ行けばいいのか、連絡したらいいのか分からない人は多くいると思う。
役場って一生津和野に住めますか？って面接されるらしいですね。パワハラだし、それ言うなら若い人を中心にアンケートをとって、その人たちの意見取入れて、町を変えてから言われたらいいかでしょう。こんな所ハッキリ言って住みたくないし、若い人が出ていくのもわかります。
人口減少、過疎化、役員になり手が無い。役場職員も自治会の役員としてすすんで役員をすらようにしてほしい
人口減少の今日、町会議員の補欠選挙など行なわずむしろ削減すべきと思う。税金の無駄遣いと思う。
町会議員の人数が多すぎる。（財政が乏しいのに…）
人口の割に町議員の数が多いのでは。それと町職員も。
職員の挨拶がない。イメージが暗い。
議会の内容がひどい。議員の質問が意味不明。内容がしょうもない上に町のためというよりはごく限られた一部の人間のためのもの それに振り回される町職員がかわいそう。もっと町の実状を調べて町をより良くするような提案や質問をすべき。
今回、町長選挙が行われるが、任期に制限を設けることも、ある意味ソフト面での改善であると考え。連続3期までにするとかして、町内の凡士を変えていただきたい。町長、町議会委員を含め新たな条例を設けていただきたい。
90才を越えて来て身体も不自由になったが動けるうちは頑張ろうと思っている。一番には難聴で不便を感じている補聴器を付けているが10年以上使用しているので最近では聞きづらい。片耳器具を替えたら10万円も取られたので簡単には修理も出来ない。石見クリニックの漢方医に通っているがタクシー代が1回に800円（3回は使用）かかる。バスが1500円必要であるが障害手帳がないのでタクシー運転手の手帳がないので気の毒と云われるが仕方がない。杖を使って行かなければならないのが悲しい。私の住む地域には男性の1人家庭があるがその人達が幸せであるかは分からない。
私は90才です。目も耳も悪くなりましたが台所の食事、掃除、畑…少しやっています 日々感謝の心を忘れず過ごしています。ありがとうございました。
名古屋、東京、広島と住んでみて、ふるさとが一番いいと思います。新聞、PCで情報に乗り遅れないように気にかけております。

問12 自由記述
数十年ぶりに津和野町に戻って半年くらいなので、津和野町の取り組みがあまり理解できていない面があります。
質問事項が多すぎる。
アンケートの内容が多すぎる
こんなアンケートは難しいです
このアンケートの質問が難しい。
アンケートの解答を記すのが難しい（判断）
このアンケートの問いが難しく視力低下があり読むのも難しい。質問の量が多い。
このアンケートの内容に自分のよく知らないこと等が多く、回答に困る。結果、中途半端な「どちらでもない」ばかりになってしまう。
このアンケートが同家庭内の高齢の母に来ましたが、読んだり答えたりする能力は無いので困りました。できる限りその人の年齢など考慮して配布したほうがいいのではないのでしょうか。もちろん高齢者の意見も必要ですので違った方法がよいのではないのでしょうか。
老人のため質問の理解が出来にくいので変な答え方になりすみません。分かるところだけ答えています。
80歳以上の者にとってのアンケートは回答に無理がある
90を過ぎた老人にこれを書けというのはとても無理！
今回のアンケートについて回答者を無作為に選んだと書いてありますが、無作為すぎると思います。90才の老人が回答できません。認知症あり。
この調査の目的に不安を感じます。「津和野町総合振興計画」の方向性を決める基礎資料として活用、とありましたが、どのように活用されるのでしょうか。現状報告の一部として報告書に掲載される、等であれば納得できますが、「方向性を決める根拠」として無作為に抽出された町民の意見を反映されるのでは、有力な計画はできないのではないかと思います。
どんなアンケートをとっても何も変わらない町。人口を増やしたければ子育てに力をいれて。高校卒業すれば町外に出て行く子ども達、子ども達が津和野に帰って来たい！と思える町づくりに力を入れて下さい。
アンケートが二回来ています。立地適正化計画もできれば同じことを答えた気がするので一つにまとめて役場で分けてください。
違う課でも同じようなアンケートやってましたよね？重複し過ぎて無駄ですね。
私はあまり地域に出ないのでアンケートにあまり協力できなかった、すみません。
もっと若い人にアンケート回答できる方をお願いしてください。
今回の町民意識調査の質問設問は的を得た内容となっているものの、一部意味不明な質問もあると感じています。もう一度設問内容を充実したものを望みます。
アンケート集計しても何も変わらない。ムダ！もっと、意味のある事に！優遇されすぎて、甘すぎる。Iターンの優遇が大きすぎる。どうせ、居なくなるのに補金は要らない。
質問④は、嫁いでからの在住で、生まれてからずっとの定住者ではありません。かといってIターンでもなく、答がありませんでした。また、⑤の津和野町に住んでいる年数の質問がありませんでした。紙アンケートとWeb アンケートに少し違いがありました。紙アンケートでゆっくり考えてからWeb アンケートで回答しました。
アンケート用紙も若い人に配布して、今からの情報をしっかり受け止めて、良い津和野が発展するようにお願いします。年寄りでも孫と暮らしていれば、色々と思う事があるかも知れませんが、今の私には、自分の身を守る事です。
ありません。
別にありません
特にありません。
なし
特記なし
特になし

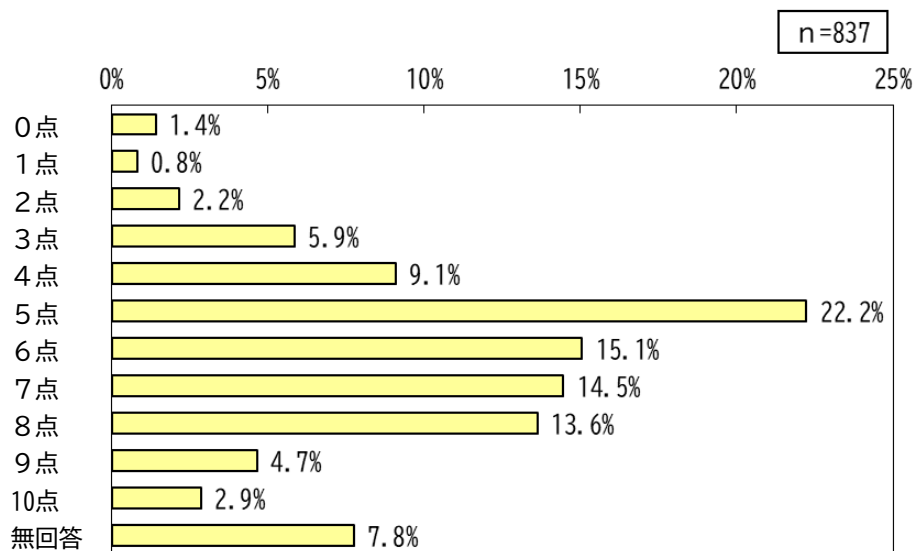
（４）地域幸福度（Well-Being）について

「地域幸福度（Well-Being）指標」は、各種オープンデータ等を元にした「客観データ」と、アンケートを元にした「主観データ」とを用いて、住民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-Being）」を数値化・可視化した全国共通の指標で、指標の整備により全国の市町村との比較や、データに基づくまちづくりに役立てることができます。

今回、津和野町民意識調査では津和野町独自の設問に加えて、地域幸福度(Well-Being)指標を測るための設問も実施しました。質問はデジタル庁が統一的に設定している設問項目を用いています。

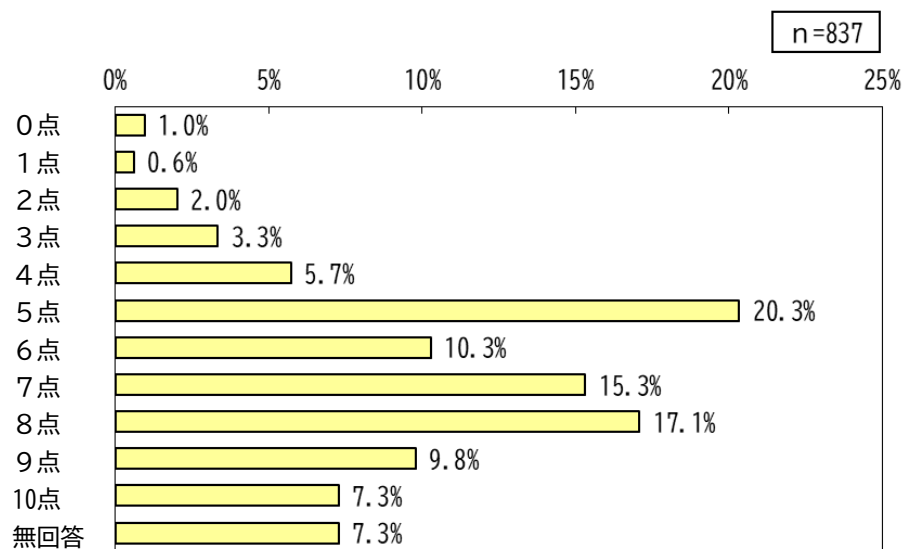
以下では各設問の集計結果をまとめています。

問 13 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（1つ選択）



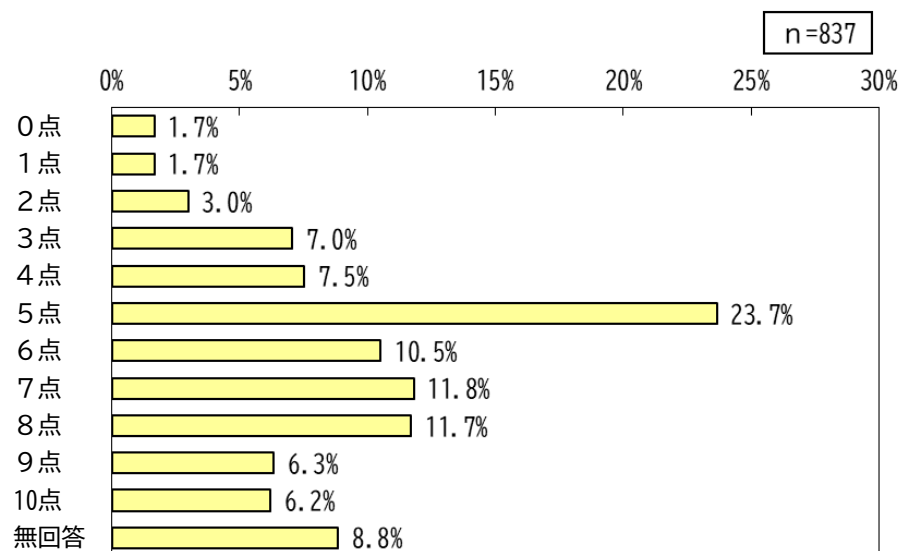
問 14 現在、あなたはどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つ選択)

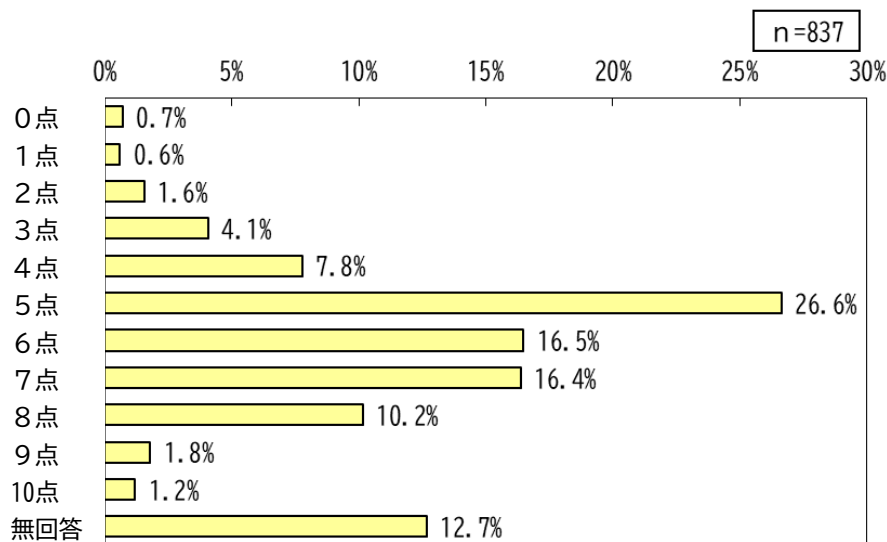


問 15 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つ選択)



問 16 あなたの暮らしている地域の人々は、おおむね、どれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つ選択)
ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。



問 17 地域の生活環境について（それぞれ1つずつ選択）

以下では、設問ごとの回答者の割合を表で示しています。

設問	非常に あてはまる	ある程度 あてはまる	どちら とも言え ない	あまり あてはま らない	全く あてはま らない	無回答
1 私の暮らしている地域は、自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う。	1.4%	27.6%	53.4%	10.2%	2.0%	5.4%
2 私の暮らしている地域は、医療機関が充実している。	1.4%	15.1%	22.5%	34.8%	21.5%	4.8%
3 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい。	2.5%	24.9%	39.7%	21.6%	5.7%	5.6%
4 私の暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない。	2.5%	14.7%	23.7%	34.6%	19.5%	5.0%
5 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している。	0.8%	6.2%	14.6%	38.4%	34.6%	5.4%
6 自宅には、心地のいい居場所がある。	22.6%	44.9%	19.5%	5.4%	2.9%	4.8%
7 自宅の近辺では、騒音に悩まされている。	2.2%	6.7%	14.7%	28.4%	43.1%	4.9%
8 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる。	4.5%	18.4%	50.4%	11.4%	8.6%	6.7%
9 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きなときに好きなところへ移動ができる。	1.0%	6.2%	18.3%	28.1%	41.8%	4.7%

	設問	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
10	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある。	1.0%	3.8%	16.8%	30.6%	42.1%	5.7%
11	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い。	2.6%	12.4%	47.4%	19.4%	10.0%	8.1%
12	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる。	2.5%	21.7%	46.8%	13.4%	7.6%	7.9%
13	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている。	6.0%	28.1%	35.5%	16.0%	7.5%	6.9%
14	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある。	7.0%	31.7%	28.8%	15.5%	10.8%	6.2%
15	私の暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う。	3.2%	20.2%	45.8%	17.0%	8.0%	5.9%
16	私の暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である。	1.4%	16.1%	43.4%	21.6%	11.1%	6.3%
17	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる。	0.6%	10.5%	52.0%	19.8%	9.8%	7.3%
18	私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい。	1.1%	7.9%	50.9%	20.1%	11.7%	8.4%
19	私の暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい。	4.5%	33.1%	40.1%	12.9%	3.3%	6.0%
20	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある。	10.3%	38.9%	24.7%	13.5%	6.7%	5.9%
21	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある。	6.7%	19.8%	32.6%	18.2%	15.9%	6.8%
22	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある。	13.0%	32.3%	30.1%	11.9%	6.2%	6.5%
23	私の暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる。	28.4%	42.2%	17.9%	3.9%	1.3%	6.2%
24	私の暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる。	30.7%	42.2%	16.1%	3.5%	1.8%	5.7%
25	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである。	2.0%	19.4%	50.8%	14.2%	6.6%	7.0%
26	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。	2.7%	23.8%	50.5%	11.9%	4.3%	6.7%
27	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい。	3.1%	21.1%	41.9%	18.2%	9.4%	6.2%
28	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である。	3.2%	22.7%	39.3%	18.9%	8.8%	7.0%
29	私は、自分が暮らしている地域に住む人たちを信頼している。	10.4%	38.9%	33.9%	8.2%	2.6%	5.9%
30	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への町民参加が盛んである。	6.0%	28.7%	41.3%	13.5%	3.5%	7.0%
31	私の暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる。	6.5%	28.6%	38.9%	13.5%	6.0%	6.6%
32	私は、自分の暮らしている地域の人困っていたら手助けをする。	9.8%	46.1%	29.9%	5.9%	2.0%	6.3%

設問	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
33 私は、自分が暮らしている地域に対して愛着を持っている。	11.2%	41.5%	30.0%	8.2%	2.7%	6.3%
34 私の暮らしている地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある。	1.9%	15.9%	49.8%	18.3%	7.0%	7.0%
35 私は、見知らぬ他者であっても信頼する。	1.9%	9.2%	40.0%	24.5%	17.4%	6.9%
36 私は、自分の暮らしている地域の人自分がどう思っているかが気になる。	1.6%	11.2%	47.8%	20.4%	11.9%	7.0%
37 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある。	1.6%	15.3%	52.7%	16.4%	7.4%	6.7%
38 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある。	1.8%	11.7%	42.7%	24.1%	12.4%	7.3%
39 自分のことを好ましく感じる。	3.5%	18.6%	55.4%	11.5%	3.9%	7.0%
40 私は、身体的に健康な状態である。	7.6%	32.6%	31.8%	15.8%	6.3%	5.9%
41 私は、精神的に健康な状態である。	9.8%	36.2%	31.9%	12.7%	3.2%	6.2%
42 私の暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい。	3.9%	14.3%	45.4%	19.8%	9.7%	6.8%
43 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい。	24.1%	38.0%	23.9%	3.9%	3.2%	6.8%
44 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある。	2.3%	12.5%	50.2%	18.9%	9.3%	6.8%
45 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい。	1.2%	3.3%	27.5%	32.9%	28.0%	7.2%
46 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある。	1.2%	4.7%	26.6%	35.2%	25.3%	6.9%
47 私の暮らしている地域には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある。	1.4%	5.5%	35.6%	28.4%	22.1%	6.9%

(5) クロス集計結果一覧

以下では各設問のクロス集計結果についてまとめています。

最も割合が高い項目：



2番目に割合が高い項目：



No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9
問2 津和野町をどのような特色のあるまちにすべきたと考えるか		農業を中心として発展する農業のまち	企業誘致や地場産業の振興による商工業のまち	地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち	安定した雇用と働きやすい環境があるまち	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち	人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち	災害対策や防犯対策が整った安心・安全なまち	快適な居住環境の整備を優先するまち	自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち
総計(人)		102	75	132	280	145	331	86	51	58
性別	男性	7.6%	5.4%	11.1%	14.8%	10.1%	15.3%	4.1%	3.6%	4.4%
	女性	5.8%	3.8%	6.7%	18.9%	8.6%	23.9%	6.7%	2.9%	3.4%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	10.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	無回答	4.6%	7.7%	5.4%	20.0%	6.9%	26.2%	3.8%	1.5%	1.5%
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	8.3%	6.3%	18.8%	10.4%	10.4%	10.4%	4.2%	8.3%	4.2%
	30～39歳	7.8%	2.2%	12.2%	12.2%	22.2%	15.6%	0.0%	3.3%	5.6%
	40～49歳	5.4%	7.2%	9.6%	14.5%	15.7%	14.5%	2.4%	4.8%	5.4%
	50～59歳	5.9%	4.6%	6.5%	16.3%	12.4%	19.6%	3.3%	5.2%	3.9%
	60～69歳	7.6%	4.8%	8.3%	21.9%	8.3%	21.6%	5.4%	2.5%	4.8%
	70～79歳	7.3%	4.4%	7.6%	17.3%	6.0%	22.9%	6.7%	2.4%	3.3%
	80歳以上	4.6%	4.3%	6.8%	17.4%	5.4%	23.6%	7.7%	2.6%	1.7%
	無回答	0.0%	5.0%	5.0%	30.0%	10.0%	20.0%	5.0%	0.0%	0.0%
地域	木部	16.3%	5.1%	6.1%	12.2%	9.2%	19.4%	6.1%	4.1%	4.1%
	畑迫	8.5%	3.4%	11.1%	17.9%	5.1%	23.9%	3.4%	0.0%	1.7%
	津和野	3.8%	5.6%	11.1%	17.2%	8.6%	19.3%	4.2%	2.9%	3.3%
	小川	7.3%	0.0%	7.3%	23.6%	5.5%	22.7%	6.4%	5.5%	2.7%
	左鐙	13.3%	0.0%	4.4%	17.8%	11.1%	22.2%	4.4%	2.2%	6.7%
	日原	1.6%	4.7%	5.5%	21.1%	11.7%	18.0%	8.6%	3.1%	2.3%
	須川	10.3%	2.6%	0.0%	23.1%	10.3%	30.8%	2.6%	5.1%	5.1%
	滝元	3.2%	4.8%	7.9%	23.8%	4.8%	20.6%	6.3%	3.2%	3.2%
	枕瀬	6.0%	6.0%	6.9%	14.7%	12.1%	23.3%	6.9%	3.4%	3.4%
	池河	7.0%	7.0%	7.0%	16.1%	12.6%	17.5%	4.2%	3.5%	7.0%
	商人・溪村	17.2%	3.4%	13.8%	20.7%	3.4%	27.6%	0.0%	0.0%	6.9%
	青原	6.6%	4.8%	6.0%	12.7%	10.2%	21.7%	7.8%	4.8%	3.6%
無回答	4.5%	4.5%	4.5%	22.7%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	
状況	定住者	6.6%	5.3%	7.7%	18.9%	5.5%	21.8%	5.7%	3.1%	3.1%
	Uターン	7.4%	4.9%	8.2%	17.6%	10.6%	19.2%	5.0%	3.3%	4.3%
	Iターン	5.1%	4.3%	9.0%	16.0%	10.4%	21.3%	5.5%	3.4%	3.6%
	無回答	2.5%	0.0%	7.5%	17.5%	10.0%	25.0%	5.0%	0.0%	0.0%
職業	農林水産業	15.9%	2.3%	6.8%	14.8%	9.1%	15.9%	2.3%	1.1%	2.3%
	自営業	9.1%	8.2%	12.7%	11.8%	12.7%	14.5%	4.5%	0.9%	9.1%
	会社員（企業勤務者）	6.3%	6.3%	10.7%	19.8%	12.6%	14.2%	4.0%	4.0%	2.0%
	団体職員	4.9%	7.3%	7.3%	22.0%	14.6%	24.4%	0.0%	9.8%	4.9%
	公務員・教員	6.9%	8.0%	8.0%	8.0%	18.4%	14.9%	4.6%	4.6%	1.1%
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	4.0%	4.0%	8.5%	19.8%	6.5%	20.6%	4.5%	3.6%	6.9%
	学生	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事専業	4.5%	2.8%	8.4%	18.0%	3.9%	28.1%	8.4%	2.2%	1.7%
	無職	5.8%	4.5%	6.0%	17.1%	7.0%	24.9%	7.2%	3.5%	2.9%
	その他	10.3%	0.0%	12.1%	24.1%	6.9%	19.0%	0.0%	1.7%	6.9%
	無回答	4.9%	2.4%	2.4%	24.4%	12.2%	17.1%	9.8%	0.0%	0.0%

No.		10	11	12	13	14	15	16	
問2 津和野町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えるか		道路や下水道といった都市基盤が整備されたまち	高度情報化時代に対応した情報化推進のまち	生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化のまち	歴史的遺産を大切にし、まちづくりに活かす歴史のまち	住民と行政が協力してまちづくりを行う住民参画・協働のまち	その他	無回答	総計(人)
総計(人)		57	16	25	110	94	8	28	1,598
性別	男性	5.4%	1.7%	1.4%	7.7%	5.4%	0.8%	1.1%	633
	女性	2.4%	0.6%	1.6%	6.2%	6.4%	0.4%	1.8%	825
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10
	無回答	2.3%	0.0%	2.3%	7.7%	5.4%	0.0%	4.6%	130
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5
	20～29歳	2.1%	0.0%	2.1%	8.3%	4.2%	2.1%	0.0%	48
	30～39歳	1.1%	2.2%	2.2%	12.2%	1.1%	0.0%	0.0%	90
	40～49歳	3.0%	0.6%	1.8%	7.8%	6.6%	0.6%	0.0%	166
	50～59歳	7.8%	3.3%	2.0%	5.2%	2.6%	1.3%	0.0%	153
	60～69歳	2.2%	0.6%	1.0%	6.0%	3.5%	0.0%	1.6%	315
	70～79歳	4.7%	1.1%	1.3%	6.9%	5.6%	0.7%	1.8%	450
	80歳以上	2.8%	0.3%	2.0%	6.6%	10.5%	0.3%	3.4%	351
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	15.0%	20
地域	木部	2.0%	0.0%	3.1%	5.1%	6.1%	0.0%	1.0%	98
	畑迫	1.7%	0.9%	1.7%	10.3%	6.0%	0.0%	4.3%	117
	津和野	4.8%	0.6%	1.5%	10.3%	5.0%	0.6%	1.1%	522
	小川	2.7%	0.0%	0.9%	7.3%	7.3%	0.0%	0.9%	110
	左鎧	6.7%	0.0%	4.4%	0.0%	4.4%	2.2%	0.0%	45
	日原	3.1%	1.6%	2.3%	3.9%	10.2%	0.0%	2.3%	128
	須川	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	39
	滝元	4.8%	0.0%	1.6%	4.8%	7.9%	0.0%	3.2%	63
	枕瀬	2.6%	0.0%	1.7%	8.6%	3.4%	0.9%	0.0%	116
	池河	2.8%	4.9%	0.7%	2.1%	4.9%	0.0%	2.8%	143
	商人・溪村	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	29
	青原	4.2%	0.6%	0.6%	4.8%	7.8%	1.8%	1.8%	166
	無回答	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	13.6%	22
状況	定住者	3.5%	0.2%	2.0%	5.3%	9.3%	0.9%	1.1%	454
	Uターン	3.1%	1.7%	1.7%	7.4%	4.1%	0.2%	1.3%	635
	Iターン	4.3%	0.9%	0.9%	7.9%	4.9%	0.6%	1.9%	469
	無回答	2.5%	0.0%	2.5%	5.0%	7.5%	0.0%	15.0%	40
職業	農林水産業	5.7%	1.1%	3.4%	8.0%	9.1%	0.0%	2.3%	88
	自営業	3.6%	0.0%	0.0%	7.3%	5.5%	0.0%	0.0%	110
	会社員（企業勤務者）	4.0%	0.8%	1.2%	9.9%	3.6%	0.4%	0.4%	253
	団体職員	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	41
	公務員・教員	3.4%	5.7%	2.3%	4.6%	8.0%	1.1%	0.0%	87
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	3.6%	0.8%	2.4%	6.1%	6.1%	0.4%	2.0%	247
	学生	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	9
	家事専業	3.4%	0.0%	0.6%	7.9%	8.4%	0.0%	1.7%	178
	無職	3.7%	1.0%	1.0%	6.8%	5.6%	0.8%	2.3%	486
	その他	0.0%	1.7%	5.2%	5.2%	3.4%	0.0%	3.4%	58
	無回答	4.9%	0.0%	2.4%	2.4%	7.3%	0.0%	9.8%	41

No.		1	2	3	4	5	6	7
問3 より子育てしやすい環境にするために力を注ぐべき取組		出産・育児・保育・教育の経済的負担の軽減	健診や治療等、医療面での支援強化	援助を必要とする子どもや家庭への支援強化	公園や遊び場など安心して遊べる場の充実	保育サービスの充実	学童保育の充実（放課後児童対策）	子育て世代の親同士が交流できる機会の充実
総計(人)		262	144	69	61	25	21	23
性別	男性	39.7%	15.8%	8.5%	7.3%	3.3%	1.8%	3.0%
	女性	24.8%	18.1%	8.6%	7.4%	2.8%	3.5%	2.8%
	その他	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	34.3%	17.1%	5.7%	7.1%	2.9%	0.0%	1.4%
年齢	18～19歳	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	20.8%	20.8%	4.2%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%
	30～39歳	35.6%	13.3%	4.4%	17.8%	4.4%	0.0%	4.4%
	40～49歳	31.0%	23.8%	10.7%	9.5%	1.2%	2.4%	3.6%
	50～59歳	27.8%	17.7%	6.3%	5.1%	3.8%	3.8%	2.5%
	60～69歳	35.4%	11.6%	8.5%	8.5%	3.0%	2.4%	1.2%
	70～79歳	28.7%	18.6%	12.7%	6.8%	3.0%	3.0%	2.5%
	80歳以上	32.8%	18.5%	3.7%	4.2%	3.2%	2.1%	3.7%
	無回答	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
地域	木部	32.7%	19.2%	7.7%	5.8%	3.8%	1.9%	1.9%
	畑迫	39.7%	22.2%	3.2%	4.8%	4.8%	3.2%	3.2%
	津和野	27.6%	16.9%	8.5%	10.3%	1.1%	2.6%	1.5%
	小川	29.8%	26.3%	8.8%	7.0%	5.3%	0.0%	1.8%
	左鎧	33.3%	20.8%	12.5%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%
	日原	24.2%	19.7%	4.5%	7.6%	6.1%	4.5%	6.1%
	須川	10.0%	25.0%	20.0%	15.0%	0.0%	5.0%	5.0%
	滝元	38.2%	17.6%	8.8%	0.0%	5.9%	2.9%	0.0%
	枕瀬	30.5%	16.9%	11.9%	10.2%	3.4%	0.0%	3.4%
	池河	38.7%	10.7%	8.0%	4.0%	6.7%	1.3%	5.3%
	商人・溪村	26.7%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	青原	40.2%	9.2%	8.0%	5.7%	1.1%	3.4%	2.3%
	無回答	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
状況	定住者	35.6%	19.5%	7.2%	4.7%	2.5%	2.5%	3.4%
	Uターン	28.7%	17.2%	8.2%	7.9%	4.8%	1.5%	2.4%
	Iターン	30.9%	16.3%	9.8%	8.9%	0.8%	4.1%	2.4%
	無回答	29.2%	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	4.2%
職業	農林水産業	46.8%	19.1%	8.5%	6.4%	0.0%	0.0%	4.3%
	自営業	37.9%	17.2%	8.6%	10.3%	1.7%	0.0%	3.4%
	会社員（企業勤務者）	32.6%	17.8%	9.3%	10.9%	3.9%	3.1%	3.1%
	団体職員	52.4%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	公務員・教員	40.9%	11.4%	0.0%	6.8%	2.3%	0.0%	0.0%
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	20.9%	16.3%	8.5%	8.5%	4.7%	3.9%	2.3%
	学生	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	家事専業	25.0%	17.7%	11.5%	6.3%	3.1%	3.1%	4.2%
	無職	29.8%	20.4%	8.6%	5.5%	2.4%	3.5%	2.4%
	その他	33.3%	10.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	3.3%
	無回答	30.4%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%

No.		8	9	10	11	12	13	
問3 より子育てしやすい環境にするために力を注ぐべき取組		地域での子育て支援環境づくり	職場での子育て支援環境づくり	子育てと両立しやすいような雇用労働条件の改善	男性（夫）の育児や家事への参加促進	その他	無回答	総計(人)
総計(人)		40	8	103	21	15	45	837
性別	男性	3.9%	0.6%	8.8%	2.1%	1.8%	3.3%	330
	女性	5.3%	1.4%	16.0%	2.3%	1.6%	5.6%	432
	その他	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	5
	無回答	4.3%	0.0%	7.1%	4.3%	1.4%	14.3%	70
年齢	18～19歳	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	4.2%	8.3%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	24
	30～39歳	2.2%	4.4%	8.9%	2.2%	2.2%	0.0%	45
	40～49歳	6.0%	0.0%	8.3%	3.6%	0.0%	0.0%	84
	50～59歳	8.9%	1.3%	13.9%	3.8%	3.8%	1.3%	79
	60～69歳	4.3%	1.8%	13.4%	2.4%	3.7%	3.7%	164
	70～79歳	4.2%	0.0%	11.4%	2.5%	0.8%	5.9%	237
	80歳以上	4.2%	0.0%	14.3%	1.1%	1.6%	10.6%	189
	無回答	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	33.3%	12
地域	木部	0.0%	1.9%	17.3%	3.8%	0.0%	3.8%	52
	畑迫	4.8%	0.0%	3.2%	1.6%	1.6%	7.9%	63
	津和野	4.4%	1.5%	16.5%	2.9%	2.2%	4.0%	272
	小川	1.8%	0.0%	12.3%	1.8%	3.5%	1.8%	57
	左鎧	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	24
	日原	10.6%	0.0%	4.5%	3.0%	0.0%	9.1%	66
	須川	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%	20
	滝元	2.9%	0.0%	14.7%	0.0%	2.9%	5.9%	34
	枕瀬	3.4%	1.7%	16.9%	0.0%	1.7%	0.0%	59
	池河	8.0%	1.3%	6.7%	1.3%	1.3%	6.7%	75
	商人・溪村	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	13.3%	15
	青原	8.0%	1.1%	8.0%	5.7%	2.3%	4.6%	87
	無回答	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	38.5%	13
	定住者	4.7%	0.0%	11.4%	1.3%	1.7%	5.5%	236
状況	Uターン	4.8%	0.9%	12.1%	4.2%	3.0%	4.2%	331
	Iターン	4.5%	2.0%	13.8%	1.2%	0.4%	4.9%	246
	無回答	8.3%	0.0%	8.3%	4.2%	0.0%	25.0%	24
	農林水産業	4.3%	0.0%	2.1%	2.1%	0.0%	6.4%	47
職業	自営業	3.4%	0.0%	10.3%	3.4%	0.0%	3.4%	58
	会社員（企業勤務者）	3.1%	0.8%	12.4%	2.3%	0.0%	0.8%	129
	団体職員	4.8%	0.0%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	21
	公務員・教員	11.4%	6.8%	6.8%	4.5%	6.8%	2.3%	44
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	6.2%	1.6%	14.0%	5.4%	3.1%	4.7%	129
	学生	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	7.3%	0.0%	14.6%	0.0%	1.0%	6.3%	96
	無職	3.5%	0.0%	13.3%	1.6%	2.7%	6.3%	255
	その他	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	30
	無回答	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%	0.0%	26.1%	23

No.		1	2	3	4	5	6	7
問4 教育環境をより充実したものとするために力を注ぐべき取組		学力向上に向けた取組の強化	教育施設・設備の充実	特別な支援を必要とする児童・生徒への支援強化	ICTを活用した教育環境の整備	文化・芸術などの学びの機会の充実	健やかな心身を育むためのスポーツの機会の充実	地域の課題や地域の人とのつながりを重視した「ふるさと教育」の拡充
総計(人)		121	94	54	54	45	41	134
性別	男性	13.0%	13.9%	7.3%	8.5%	4.8%	5.5%	16.1%
	女性	15.7%	8.6%	6.5%	4.6%	5.1%	3.9%	16.9%
	その他	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	無回答	11.4%	15.7%	1.4%	8.6%	10.0%	8.6%	10.0%
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%
	20～29歳	8.3%	16.7%	12.5%	20.8%	0.0%	8.3%	12.5%
	30～39歳	13.3%	15.6%	4.4%	11.1%	11.1%	11.1%	8.9%
	40～49歳	14.3%	10.7%	6.0%	6.0%	2.4%	2.4%	15.5%
	50～59歳	15.2%	11.4%	5.1%	6.3%	10.1%	3.8%	12.7%
	60～69歳	15.9%	12.8%	6.1%	6.7%	7.9%	5.5%	13.4%
	70～79歳	13.5%	11.8%	7.6%	5.9%	3.8%	4.6%	19.4%
	80歳以上	15.3%	8.5%	5.8%	4.2%	3.7%	3.7%	17.5%
	無回答	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	16.7%
地域	木部	5.8%	11.5%	3.8%	5.8%	9.6%	3.8%	19.2%
	畑迫	19.0%	9.5%	6.3%	4.8%	4.8%	3.2%	25.4%
	津和野	17.3%	12.5%	7.4%	4.4%	5.9%	5.5%	11.4%
	小川	10.5%	22.8%	10.5%	1.8%	1.8%	3.5%	17.5%
	左鐙	8.3%	4.2%	4.2%	8.3%	0.0%	4.2%	16.7%
	日原	6.1%	9.1%	6.1%	9.1%	7.6%	7.6%	15.2%
	須川	25.0%	10.0%	25.0%	15.0%	0.0%	5.0%	10.0%
	滝元	23.5%	5.9%	5.9%	2.9%	8.8%	5.9%	5.9%
	枕瀬	10.2%	11.9%	5.1%	11.9%	5.1%	3.4%	15.3%
	池河	14.7%	8.0%	4.0%	8.0%	5.3%	4.0%	28.0%
	商人・溪村	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	40.0%
	青原	16.1%	9.2%	4.6%	9.2%	4.6%	4.6%	13.8%
	無回答	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%
状況	定住者	17.4%	11.9%	6.4%	4.2%	5.1%	4.7%	17.4%
	Uターン	13.0%	11.8%	6.9%	7.6%	6.0%	6.0%	13.9%
	Iターン	13.8%	11.0%	6.1%	7.7%	4.9%	2.8%	17.9%
	無回答	12.5%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	12.5%	12.5%
職業	農林水産業	14.9%	17.0%	2.1%	4.3%	0.0%	4.3%	36.2%
	自営業	15.5%	3.4%	6.9%	8.6%	3.4%	10.3%	19.0%
	会社員（企業勤務者）	15.5%	17.1%	3.9%	8.5%	5.4%	3.9%	8.5%
	団体職員	14.3%	9.5%	4.8%	4.8%	9.5%	0.0%	9.5%
	公務員・教員	13.6%	6.8%	2.3%	15.9%	4.5%	4.5%	27.3%
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	9.3%	9.3%	10.9%	3.9%	7.0%	4.7%	15.5%
	学生	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	家事専業	20.8%	8.3%	4.2%	7.3%	3.1%	4.2%	13.5%
	無職	15.3%	12.5%	7.8%	4.7%	4.7%	4.7%	15.7%
	その他	6.7%	6.7%	10.0%	3.3%	23.3%	0.0%	16.7%
	無回答	13.0%	13.0%	0.0%	4.3%	4.3%	13.0%	8.7%

No.		8	9	10	11	12	
問4 教育環境をより充実したものと とするために力を注ぐべき取組		社会的・ 職業的自 立に向け 基盤とな る能力や 態度を育 てる 「キャリ ア教育」 の拡充	津和野高 等学校へ の支援強 化	奨学金制 度の充実	その他	無回答	総計(人)
総計(人)		105	59	46	23	61	837
性別	男性	10.3%	8.2%	5.8%	2.1%	4.5%	330
	女性	15.5%	6.0%	5.8%	3.5%	7.9%	432
	その他	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	無回答	4.3%	8.6%	2.9%	1.4%	17.1%	70
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	12.5%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	24
	30～39歳	11.1%	2.2%	4.4%	6.7%	0.0%	45
	40～49歳	25.0%	4.8%	6.0%	6.0%	1.2%	84
	50～59歳	17.7%	10.1%	1.3%	5.1%	1.3%	79
	60～69歳	9.8%	6.1%	8.5%	2.4%	4.9%	164
	70～79歳	11.4%	6.3%	4.6%	1.7%	9.3%	237
	80歳以上	9.5%	10.1%	6.3%	1.6%	13.8%	189
	無回答	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	12
地域	木部	17.3%	9.6%	5.8%	0.0%	7.7%	52
	畑迫	7.9%	11.1%	0.0%	1.6%	6.3%	63
	津和野	12.5%	7.4%	4.0%	4.0%	7.7%	272
	小川	12.3%	5.3%	1.8%	1.8%	10.5%	57
	左鎧	20.8%	0.0%	16.7%	4.2%	12.5%	24
	日原	13.6%	9.1%	7.6%	3.0%	6.1%	66
	須川	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	20
	滝元	14.7%	14.7%	0.0%	5.9%	5.9%	34
	枕瀬	20.3%	8.5%	5.1%	1.7%	1.7%	59
	池河	4.0%	5.3%	9.3%	1.3%	8.0%	75
	商人・溪村	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	13.3%	15
	青原	14.9%	4.6%	10.3%	3.4%	4.6%	87
	無回答	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	30.8%	13
	無回答	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	30.8%	13
状況	定住者	9.7%	8.5%	3.4%	3.0%	8.5%	236
	Uターン	13.9%	6.0%	6.0%	2.7%	6.0%	331
	Iターン	14.2%	7.7%	5.7%	2.8%	5.3%	246
	無回答	4.2%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	24
職業	農林水産業	2.1%	4.3%	4.3%	0.0%	10.6%	47
	自営業	19.0%	3.4%	3.4%	0.0%	6.9%	58
	会社員（企業勤務者）	18.6%	6.2%	4.7%	3.9%	3.9%	129
	団体職員	19.0%	9.5%	9.5%	9.5%	0.0%	21
	公務員・教員	6.8%	11.4%	0.0%	4.5%	2.3%	44
	パート・アルバイト・ 派遣社員・臨時職員	15.5%	6.2%	9.3%	3.1%	5.4%	129
	学生	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	11.5%	6.3%	6.3%	3.1%	11.5%	96
	無職	9.0%	8.6%	5.1%	2.7%	9.0%	255
	その他	20.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	30
	無回答	8.7%	8.7%	4.3%	0.0%	21.7%	23
	無回答	8.7%	8.7%	4.3%	0.0%	21.7%	23

No.		1	2	3	4	5	6	7	8
問5 観光をさらに振興するために力を注ぐべき取組		美しい自然や景観の保全	自然に親しめる場の整備	宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備	観光ルートの設定や観光案内板、道路標識整備	地域の素材を活用した料理、土産品の開発	各種イベントや交流企画の充実	農林業の体験型の施設整備や企画の充実	「日本遺産 津和野今昔～百景図を歩く」を活かした取組
総計(人)		137	84	202	34	41	37	28	28
性別	男性	15.8%	8.8%	22.1%	3.6%	6.4%	4.8%	4.2%	4.5%
	女性	17.1%	11.3%	26.2%	3.2%	4.4%	4.2%	2.8%	2.5%
	その他	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	12.9%	8.6%	21.4%	8.6%	1.4%	4.3%	2.9%	2.9%
年齢	18～19歳	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	8.3%	12.5%	45.8%	4.2%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	30～39歳	15.6%	0.0%	37.8%	8.9%	2.2%	4.4%	4.4%	2.2%
	40～49歳	10.7%	6.0%	25.0%	3.6%	9.5%	9.5%	2.4%	4.8%
	50～59歳	10.1%	7.6%	29.1%	8.9%	5.1%	5.1%	2.5%	2.5%
	60～69歳	20.7%	6.7%	27.4%	3.0%	4.3%	3.7%	3.0%	1.2%
	70～79歳	15.6%	13.1%	21.5%	2.1%	6.3%	3.8%	3.0%	5.1%
	80歳以上	20.1%	12.7%	16.9%	4.2%	3.2%	2.6%	5.3%	3.7%
	無回答	8.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域	木部	19.2%	17.3%	26.9%	1.9%	1.9%	3.8%	3.8%	1.9%
	畑迫	15.9%	9.5%	19.0%	4.8%	3.2%	3.2%	9.5%	7.9%
	津和野	16.5%	7.0%	28.7%	5.5%	4.4%	5.5%	1.5%	2.9%
	小川	26.3%	8.8%	26.3%	5.3%	3.5%	1.8%	1.8%	1.8%
	左鐙	29.2%	16.7%	8.3%	4.2%	12.5%	4.2%	4.2%	4.2%
	日原	12.1%	21.2%	25.8%	3.0%	7.6%	4.5%	1.5%	1.5%
	須川	15.0%	15.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%
	滝元	14.7%	2.9%	23.5%	2.9%	5.9%	2.9%	2.9%	5.9%
	枕瀬	8.5%	8.5%	20.3%	1.7%	8.5%	3.4%	3.4%	1.7%
	池河	16.0%	10.7%	18.7%	5.3%	6.7%	5.3%	1.3%	5.3%
	商人・溪村	13.3%	6.7%	20.0%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%
	青原	14.9%	6.9%	25.3%	2.3%	3.4%	4.6%	4.6%	4.6%
	無回答	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
状況	定住者	17.8%	8.5%	22.5%	5.1%	3.4%	4.2%	5.5%	4.2%
	Uターン	16.9%	9.7%	27.5%	3.3%	6.9%	4.2%	1.5%	2.7%
	Iターン	15.0%	10.2%	23.2%	4.1%	3.7%	5.3%	4.1%	3.3%
	無回答	8.3%	29.2%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%
職業	農林水産業	19.1%	8.5%	21.3%	2.1%	6.4%	4.3%	8.5%	2.1%
	自営業	27.6%	5.2%	19.0%	5.2%	3.4%	0.0%	5.2%	3.4%
	会社員（企業勤務者）	11.6%	8.5%	32.6%	3.9%	7.0%	7.8%	0.8%	2.3%
	団体職員	4.8%	4.8%	47.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
	公務員・教員	9.1%	4.5%	18.2%	4.5%	13.6%	6.8%	6.8%	0.0%
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	18.6%	9.3%	24.0%	4.7%	4.7%	9.3%	0.8%	1.6%
	学生	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事専業	15.6%	14.6%	28.1%	5.2%	1.0%	1.0%	3.1%	5.2%
	無職	19.2%	11.4%	20.4%	3.1%	4.7%	2.7%	2.7%	5.1%
	その他	10.0%	6.7%	23.3%	6.7%	0.0%	6.7%	16.7%	3.3%
	無回答	4.3%	17.4%	8.7%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%

No.		9	10	11	12	13	14	
問5 観光をさらに振興するために力を注ぐべき取組		観光事業者の育成、支援	来訪者へのサービスや接遇の向上	町外への観光PRや情報提供	周辺観光地との連携を強化	その他	無回答	総計(人)
総計(人)		31	29	77	34	30	45	837
性別	男性	2.7%	4.5%	9.7%	4.8%	4.2%	3.6%	330
	女性	4.2%	2.5%	9.0%	3.5%	3.2%	5.8%	432
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	無回答	5.7%	4.3%	8.6%	4.3%	2.9%	11.4%	70
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	0.0%	0.0%	8.3%	4.2%	4.2%	0.0%	24
	30～39歳	6.7%	2.2%	6.7%	2.2%	6.7%	0.0%	45
	40～49歳	6.0%	1.2%	8.3%	4.8%	7.1%	1.2%	84
	50～59歳	3.8%	5.1%	10.1%	3.8%	5.1%	1.3%	79
	60～69歳	3.7%	4.3%	7.3%	5.5%	4.9%	4.3%	164
	70～79歳	2.5%	3.8%	10.5%	4.2%	2.5%	5.9%	237
	80歳以上	3.7%	3.2%	10.6%	2.6%	1.1%	10.1%	189
	無回答	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	12
地域	木部	3.8%	1.9%	1.9%	7.7%	1.9%	5.8%	52
	畑迫	1.6%	3.2%	11.1%	1.6%	4.8%	4.8%	63
	津和野	3.7%	3.7%	7.4%	2.9%	4.0%	6.3%	272
	小川	5.3%	3.5%	8.8%	1.8%	0.0%	5.3%	57
	左鐙	0.0%	4.2%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	24
	日原	3.0%	1.5%	13.6%	1.5%	0.0%	3.0%	66
	須川	10.0%	0.0%	10.0%	5.0%	10.0%	0.0%	20
	滝元	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%	8.8%	34
	枕瀬	5.1%	6.8%	10.2%	10.2%	6.8%	5.1%	59
	池河	0.0%	5.3%	12.0%	8.0%	2.7%	2.7%	75
	商人・溪村	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	15
	青原	5.7%	1.1%	12.6%	4.6%	4.6%	4.6%	87
	無回答	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	13
状況	定住者	4.2%	4.2%	8.1%	4.2%	2.5%	5.5%	236
	Uターン	2.4%	2.1%	7.6%	5.1%	5.1%	4.8%	331
	Iターン	4.9%	4.5%	13.0%	2.8%	2.8%	3.3%	246
	無回答	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	33.3%	24
職業	農林水産業	0.0%	4.3%	8.5%	6.4%	2.1%	6.4%	47
	自営業	5.2%	1.7%	13.8%	3.4%	3.4%	3.4%	58
	会社員（企業勤務者）	4.7%	3.1%	7.8%	2.3%	4.7%	3.1%	129
	団体職員	9.5%	0.0%	14.3%	9.5%	4.8%	0.0%	21
	公務員・教員	2.3%	2.3%	11.4%	6.8%	13.6%	0.0%	44
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	3.9%	3.9%	7.8%	6.2%	2.3%	3.1%	129
	学生	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	2.1%	2.1%	9.4%	3.1%	2.1%	7.3%	96
	無職	2.7%	3.5%	9.8%	3.5%	3.5%	7.5%	255
	その他	10.0%	10.0%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%	30
	無回答	8.7%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	26.1%	23

No.		1	2	3	4	5	6	7	8	
問6 未婚化が進む主な要因		幅広い出会いの機会の減少	地域での出会いの機会の減少	結婚意識の低下	経済的な余裕がない	雇用・労働環境の変化	わからない	その他	無回答	総計(人)
総計(人)		140	89	285	146	63	58	19	37	837
性別	男性	17.0%	10.3%	29.7%	20.9%	8.8%	7.6%	3.0%	2.7%	330
	女性	17.1%	10.6%	36.3%	14.8%	7.2%	6.9%	1.9%	5.1%	432
	その他	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	5
	無回答	14.3%	12.9%	41.4%	14.3%	4.3%	4.3%	0.0%	8.6%	70
年齢	18～19歳	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	33.3%	16.7%	12.5%	20.8%	8.3%	4.2%	4.2%	0.0%	24
	30～39歳	13.3%	6.7%	40.0%	24.4%	2.2%	8.9%	4.4%	0.0%	45
	40～49歳	7.1%	10.7%	33.3%	32.1%	3.6%	4.8%	7.1%	1.2%	84
	50～59歳	20.3%	6.3%	35.4%	19.0%	10.1%	2.5%	5.1%	1.3%	79
	60～69歳	18.3%	3.0%	39.0%	15.2%	9.8%	8.5%	2.4%	3.7%	164
	70～79歳	16.0%	13.9%	36.3%	16.9%	6.8%	6.3%	0.0%	3.8%	237
	80歳以上	19.0%	14.8%	29.1%	10.1%	7.9%	9.0%	1.1%	9.0%	189
	無回答	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%	25.0%	12
地域	木部	17.3%	15.4%	28.8%	15.4%	3.8%	11.5%	1.9%	5.8%	52
	畑迫	20.6%	9.5%	34.9%	14.3%	11.1%	6.3%	1.6%	1.6%	63
	津和野	18.8%	9.2%	31.3%	16.5%	9.6%	7.4%	2.2%	5.1%	272
	小川	14.0%	12.3%	36.8%	19.3%	5.3%	7.0%	0.0%	5.3%	57
	左鎧	8.3%	12.5%	37.5%	0.0%	20.8%	16.7%	0.0%	4.2%	24
	日原	9.1%	15.2%	36.4%	24.2%	9.1%	1.5%	1.5%	3.0%	66
	須川	5.0%	5.0%	55.0%	25.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	20
	滝元	11.8%	8.8%	29.4%	23.5%	8.8%	8.8%	2.9%	5.9%	34
	枕瀬	13.6%	10.2%	40.7%	18.6%	6.8%	5.1%	5.1%	0.0%	59
	池河	14.7%	9.3%	37.3%	18.7%	6.7%	8.0%	2.7%	2.7%	75
	商人・溪村	26.7%	26.7%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	15
	青原	25.3%	9.2%	34.5%	17.2%	0.0%	6.9%	3.4%	3.4%	87
	無回答	7.7%	7.7%	23.1%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	30.8%	13
状況	定住者	16.5%	14.0%	34.3%	14.0%	7.6%	7.2%	2.1%	4.2%	236
	Uターン	16.6%	9.1%	34.4%	18.1%	8.5%	6.6%	3.3%	3.3%	331
	Iターン	18.3%	10.2%	33.3%	20.3%	5.7%	6.9%	1.2%	4.1%	246
	無回答	4.2%	4.2%	33.3%	12.5%	12.5%	8.3%	0.0%	25.0%	24
職業	農林水産業	23.4%	14.9%	38.3%	4.3%	6.4%	6.4%	0.0%	6.4%	47
	自営業	20.7%	6.9%	44.8%	13.8%	6.9%	1.7%	1.7%	3.4%	58
	会社員（企業勤務者）	19.4%	7.0%	30.2%	24.8%	6.2%	6.2%	5.4%	0.8%	129
	団体職員	14.3%	14.3%	28.6%	33.3%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	21
	公務員・教員	15.9%	15.9%	31.8%	11.4%	9.1%	4.5%	6.8%	4.5%	44
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	13.2%	7.0%	38.8%	21.7%	10.9%	3.9%	2.3%	2.3%	129
	学生	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	19.8%	8.3%	30.2%	15.6%	8.3%	8.3%	1.0%	8.3%	96
	無職	14.1%	12.5%	36.5%	16.1%	6.3%	7.8%	1.6%	5.1%	255
	その他	23.3%	13.3%	16.7%	13.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	30
	無回答	8.7%	21.7%	17.4%	8.7%	4.3%	17.4%	0.0%	21.7%	23

No.		1	2	3	4	5	6	
問7 津和野町における男女の地位は平等になっていると思いますか		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	総計(人)
総計(人)		297	236	93	38	130	43	837
性別	男性	6.7%	46.4%	37.0%	6.1%	0.3%	3.6%	330
	女性	13.4%	52.1%	23.8%	3.7%	0.5%	6.5%	432
	その他	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	無回答	8.6%	45.7%	28.6%	4.3%	0.0%	12.9%	70
年齢	18～19歳	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	16.7%	20.8%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	24
	30～39歳	17.8%	31.1%	35.6%	13.3%	0.0%	2.2%	45
	40～49歳	9.5%	57.1%	25.0%	4.8%	1.2%	2.4%	84
	50～59歳	15.2%	48.1%	29.1%	3.8%	0.0%	3.8%	79
	60～69歳	11.0%	54.3%	25.0%	4.9%	0.0%	4.9%	164
	70～79歳	9.3%	55.3%	27.4%	3.4%	0.4%	4.2%	237
	80歳以上	7.9%	43.9%	31.7%	4.8%	0.5%	11.1%	189
	無回答	0.0%	33.3%	25.0%	8.3%	0.0%	33.3%	12
地域	木部	17.3%	46.2%	28.8%	1.9%	0.0%	5.8%	52
	畑迫	7.9%	54.0%	27.0%	9.5%	0.0%	1.6%	63
	津和野	11.0%	48.2%	29.4%	4.4%	0.0%	7.0%	272
	小川	8.8%	54.4%	26.3%	3.5%	3.5%	3.5%	57
	左鎧	8.3%	41.7%	33.3%	12.5%	0.0%	4.2%	24
	日原	7.6%	50.0%	34.8%	3.0%	0.0%	4.5%	66
	須川	10.0%	55.0%	30.0%	0.0%	0.0%	5.0%	20
	滝元	5.9%	64.7%	20.6%	2.9%	0.0%	5.9%	34
	枕瀬	13.6%	50.8%	23.7%	5.1%	0.0%	6.8%	59
	池河	10.7%	52.0%	25.3%	6.7%	1.3%	4.0%	75
	商人・溪村	0.0%	53.3%	40.0%	0.0%	0.0%	6.7%	15
	青原	11.5%	42.5%	37.9%	3.4%	0.0%	4.6%	87
	無回答	7.7%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	38.5%	13
状況	定住者	8.9%	43.6%	38.1%	2.5%	0.4%	6.4%	236
	Uターン	9.4%	55.9%	25.1%	6.0%	0.0%	3.6%	331
	Iターン	13.8%	48.4%	26.4%	4.9%	0.8%	5.7%	246
	無回答	4.2%	29.2%	29.2%	4.2%	0.0%	33.3%	24
職業	農林水産業	4.3%	40.4%	38.3%	8.5%	2.1%	6.4%	47
	自営業	10.3%	46.6%	32.8%	5.2%	0.0%	5.2%	58
	会社員（企業勤務者）	11.6%	49.6%	32.6%	3.1%	0.8%	2.3%	129
	団体職員	9.5%	57.1%	19.0%	14.3%	0.0%	0.0%	21
	公務員・教員	6.8%	43.2%	36.4%	6.8%	0.0%	6.8%	44
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	17.8%	46.5%	28.7%	3.9%	0.0%	3.1%	129
	学生	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	9.4%	55.2%	24.0%	3.1%	1.0%	7.3%	96
	無職	7.8%	53.7%	27.5%	3.9%	0.0%	7.1%	255
	その他	13.3%	50.0%	26.7%	6.7%	0.0%	3.3%	30
	無回答	8.7%	21.7%	30.4%	8.7%	0.0%	30.4%	23

No.		1	2	3	4	5	6	7
問8 普段情報を受け取る手段		広報紙	ホームページ	Facebook	YouTube	防災行政無線	ケーブルテレビ	議会広報 (つわの議会だより)
総計(人)		653	107	14	21	129	504	324
性別	男性	34.7%	7.0%	0.9%	1.3%	6.7%	28.3%	17.2%
	女性	36.3%	5.2%	0.6%	0.6%	7.5%	26.5%	17.5%
	その他	21.1%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	21.1%	26.3%
	無回答	35.4%	2.8%	0.0%	2.8%	5.6%	29.2%	18.8%
年齢	18～19歳	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%
	20～29歳	48.6%	13.5%	0.0%	2.7%	8.1%	18.9%	5.4%
	30～39歳	33.7%	9.9%	2.0%	0.0%	10.9%	24.8%	12.9%
	40～49歳	31.4%	12.0%	1.6%	2.6%	6.3%	26.2%	16.2%
	50～59歳	34.3%	7.1%	1.2%	2.4%	5.3%	30.2%	16.6%
	60～69歳	34.7%	7.7%	0.8%	1.1%	8.0%	27.5%	16.0%
	70～79歳	36.1%	3.5%	0.4%	0.7%	7.2%	28.4%	19.4%
	80歳以上	37.2%	2.2%	0.5%	0.7%	5.8%	26.3%	20.2%
	無回答	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	31.8%	9.1%
地域	木部	31.4%	5.0%	0.8%	2.5%	8.3%	28.1%	18.2%
	畑迫	35.5%	5.0%	0.7%	0.7%	9.2%	26.2%	19.9%
	津和野	37.7%	5.6%	1.2%	2.0%	4.8%	26.5%	16.6%
	小川	37.6%	4.3%	0.0%	0.0%	6.0%	28.2%	19.7%
	左鍔	29.8%	8.8%	1.8%	0.0%	5.3%	26.3%	21.1%
	日原	33.3%	4.8%	1.4%	0.7%	8.2%	31.3%	15.6%
	須川	31.8%	6.8%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	22.7%
	滝元	35.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	26.3%	16.3%
	枕瀬	35.4%	5.4%	0.0%	0.0%	7.5%	28.6%	20.4%
	池河	35.0%	8.3%	0.0%	1.9%	8.9%	26.1%	15.9%
	商人・溪村	27.9%	9.3%	2.3%	0.0%	9.3%	25.6%	23.3%
	青原	36.7%	4.4%	0.6%	0.6%	7.8%	27.8%	16.1%
	無回答	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	31.8%	9.1%
	無回答	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	31.8%	9.1%
状況	定住者	35.3%	4.6%	1.0%	1.0%	5.8%	29.8%	18.1%
	Uターン	35.4%	6.7%	0.8%	1.1%	7.4%	26.7%	17.4%
	Iターン	35.7%	6.2%	0.5%	1.5%	7.7%	26.2%	17.5%
	無回答	34.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	24.4%	17.1%
職業	農林水産業	33.3%	3.8%	0.0%	1.0%	6.7%	29.5%	21.9%
	自営業	38.6%	4.7%	0.0%	1.6%	3.1%	28.3%	22.0%
	会社員（企業勤務者）	36.0%	9.7%	0.4%	0.4%	5.8%	29.1%	16.7%
	団体職員	35.4%	10.4%	0.0%	0.0%	8.3%	27.1%	16.7%
	公務員・教員	34.6%	11.5%	2.9%	2.9%	6.7%	26.0%	11.5%
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	35.4%	6.7%	1.5%	2.6%	7.1%	28.4%	11.6%
	学生	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
	家事専業	36.0%	2.6%	0.4%	0.4%	6.6%	25.4%	21.5%
	無職	35.5%	3.8%	0.7%	0.9%	7.8%	26.4%	19.7%
	その他	30.3%	7.9%	1.3%	1.3%	11.8%	26.3%	15.8%
	無回答	34.1%	2.4%	0.0%	0.0%	7.3%	34.1%	9.8%
	無回答	34.1%	2.4%	0.0%	0.0%	7.3%	34.1%	9.8%
	無回答	34.1%	2.4%	0.0%	0.0%	7.3%	34.1%	9.8%

No.		8	9	10	
問8 普段情報を受け取る手段		窓口で聞く（電話含む）	その他	無回答	総計(人)
総計(人)		36	30	24	1842
性別	男性	1.9%	0.9%	0.9%	743
	女性	2.1%	2.1%	1.4%	936
	その他	5.3%	0.0%	0.0%	19
	無回答	0.7%	2.1%	2.8%	144
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	0.0%	2.7%	0.0%	37
	30～39歳	1.0%	4.0%	1.0%	101
	40～49歳	1.0%	2.6%	0.0%	191
	50～59歳	0.6%	1.8%	0.6%	169
	60～69歳	2.2%	0.8%	1.1%	363
	70～79歳	2.0%	0.9%	1.3%	545
	80歳以上	3.2%	1.9%	1.9%	411
	無回答	0.0%	4.5%	13.6%	22
地域	木部	1.7%	3.3%	0.8%	121
	畑迫	1.4%	1.4%	0.0%	141
	津和野	1.5%	2.6%	1.5%	586
	小川	1.7%	0.9%	1.7%	117
	左鍔	7.0%	0.0%	0.0%	57
	日原	3.4%	0.0%	1.4%	147
	須川	0.0%	2.3%	0.0%	44
	滝元	0.0%	1.3%	1.3%	80
	枕瀬	2.0%	0.7%	0.0%	147
	池河	1.9%	0.6%	1.3%	157
	商人・溪村	2.3%	0.0%	0.0%	43
	青原	2.8%	1.1%	2.2%	180
	無回答	0.0%	9.1%	13.6%	22
状況	定住者	2.0%	1.0%	1.6%	504
	Uターン	2.4%	1.6%	0.5%	748
	Iターン	1.5%	2.2%	1.1%	549
	無回答	0.0%	2.4%	14.6%	41
職業	農林水産業	1.0%	1.0%	1.9%	105
	自営業	0.8%	0.8%	0.0%	127
	会社員（企業勤務者）	0.0%	1.9%	0.0%	258
	団体職員	0.0%	2.1%	0.0%	48
	公務員・教員	1.9%	1.9%	0.0%	104
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	3.7%	1.1%	1.9%	268
	学生	0.0%	0.0%	0.0%	7
	家事専業	2.6%	3.1%	1.3%	228
	無職	2.1%	1.4%	1.9%	580
	その他	3.9%	1.3%	0.0%	76
	無回答	2.4%	2.4%	7.3%	41

No.		1	2	3	4	5	6	7
問9 近隣市町とのより密接な連携が必要だと思う分野		消防	防災	医療	交通	教育	子育て	農林水産業
総計(人)		20	46	518	75	20	8	25
性別	男性	3.6%	6.1%	60.3%	7.3%	1.8%	0.6%	5.5%
	女性	1.6%	5.3%	63.0%	10.2%	2.3%	1.2%	1.4%
	その他	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	無回答	1.4%	4.3%	65.7%	7.1%	5.7%	1.4%	0.0%
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	20～29歳	4.2%	0.0%	62.5%	0.0%	8.3%	4.2%	0.0%
	30～39歳	2.2%	6.7%	51.1%	11.1%	4.4%	0.0%	0.0%
	40～49歳	2.4%	6.0%	66.7%	9.5%	3.6%	0.0%	2.4%
	50～59歳	5.1%	6.3%	51.9%	11.4%	1.3%	2.5%	7.6%
	60～69歳	1.8%	5.5%	69.5%	7.9%	0.6%	0.0%	2.4%
	70～79歳	2.1%	5.1%	70.0%	6.3%	2.5%	0.4%	1.3%
	80歳以上	2.1%	6.3%	50.8%	12.2%	2.1%	1.6%	5.3%
	無回答	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%
地域	木部	0.0%	7.7%	53.8%	19.2%	3.8%	0.0%	3.8%
	畑迫	4.8%	4.8%	73.0%	6.3%	1.6%	0.0%	1.6%
	津和野	3.7%	4.4%	61.8%	9.6%	1.1%	1.1%	1.5%
	小川	0.0%	8.8%	59.6%	7.0%	3.5%	0.0%	3.5%
	左鐙	0.0%	8.3%	41.7%	12.5%	4.2%	0.0%	4.2%
	日原	3.0%	10.6%	57.6%	9.1%	3.0%	1.5%	4.5%
	須川	5.0%	5.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	滝元	0.0%	5.9%	64.7%	8.8%	5.9%	0.0%	11.8%
	枕瀬	1.7%	10.2%	61.0%	6.8%	3.4%	0.0%	0.0%
	池河	4.0%	0.0%	70.7%	5.3%	1.3%	1.3%	1.3%
	商人・溪村	0.0%	6.7%	66.7%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%
	青原	0.0%	3.4%	62.1%	8.0%	2.3%	3.4%	4.6%
	無回答	0.0%	0.0%	46.2%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
状況	定住者	1.7%	3.8%	61.9%	6.8%	3.4%	1.7%	5.5%
	Uターン	2.7%	6.9%	67.7%	8.2%	1.2%	0.3%	1.8%
	Iターン	2.8%	5.7%	55.7%	11.8%	2.4%	1.2%	2.4%
	無回答	0.0%	0.0%	45.8%	12.5%	8.3%	0.0%	0.0%
職業	農林水産業	4.3%	14.9%	46.8%	4.3%	0.0%	2.1%	12.8%
	自営業	3.4%	3.4%	62.1%	3.4%	1.7%	1.7%	8.6%
	会社員（企業勤務者）	3.1%	8.5%	58.9%	10.1%	1.6%	1.6%	3.1%
	団体職員	9.5%	4.8%	42.9%	9.5%	14.3%	0.0%	4.8%
	公務員・教員	2.3%	4.5%	50.0%	11.4%	2.3%	2.3%	0.0%
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	1.6%	4.7%	74.4%	5.4%	0.8%	0.0%	2.3%
	学生	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	家事専業	2.1%	3.1%	66.7%	11.5%	2.1%	0.0%	1.0%
	無職	1.6%	5.1%	62.4%	10.2%	2.7%	0.8%	2.0%
	その他	3.3%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	4.3%	56.5%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%

No.		8	9	10	11	12	
問9 近隣市町とのより密接な連携が必要だと思う分野		観光	ごみ処理	公共施設	その他	無回答	総計(人)
総計(人)		42	20	17	7	39	837
性別	男性	6.4%	3.6%	2.7%	0.3%	1.8%	330
	女性	4.6%	1.4%	1.6%	1.2%	6.3%	432
	その他	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	無回答	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	8.6%	70
年齢	18～19歳	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	24
	30～39歳	13.3%	4.4%	4.4%	0.0%	2.2%	45
	40～49歳	6.0%	1.2%	2.4%	0.0%	0.0%	84
	50～59歳	10.1%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%	79
	60～69歳	4.9%	3.7%	0.0%	1.2%	2.4%	164
	70～79歳	3.4%	2.1%	1.7%	0.4%	4.6%	237
	80歳以上	1.6%	2.1%	3.7%	1.6%	10.6%	189
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12
地域	木部	1.9%	0.0%	1.9%	1.9%	5.8%	52
	畑迫	1.6%	1.6%	1.6%	0.0%	3.2%	63
	津和野	6.6%	3.7%	1.5%	0.7%	4.4%	272
	小川	7.0%	1.8%	3.5%	0.0%	5.3%	57
	左鍔	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	4.2%	24
	日原	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	9.1%	66
	須川	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	20
	滝元	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	34
	枕瀬	8.5%	1.7%	5.1%	0.0%	1.7%	59
	池河	4.0%	2.7%	2.7%	1.3%	5.3%	75
	商人・溪村	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15
	青原	6.9%	4.6%	1.1%	0.0%	3.4%	87
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	13
状況	定住者	3.8%	1.3%	3.0%	0.4%	6.8%	236
	Uターン	3.9%	2.7%	1.8%	0.6%	2.1%	331
	Iターン	8.1%	2.4%	1.6%	1.6%	4.1%	246
	無回答	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	24
職業	農林水産業	8.5%	0.0%	2.1%	0.0%	4.3%	47
	自営業	8.6%	5.2%	0.0%	0.0%	1.7%	58
	会社員（企業勤務者）	7.0%	1.6%	3.9%	0.8%	0.0%	129
	団体職員	9.5%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	21
	公務員・教員	13.6%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	44
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	5.4%	0.0%	1.6%	0.8%	3.1%	129
	学生	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	1.0%	1.0%	1.0%	4.2%	6.3%	96
	無職	1.6%	3.1%	2.4%	0.0%	8.2%	255
	その他	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%	3.3%	30
	無回答	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%	23

No.		1	2	3	4	5	6	
問10-1 津和野町が暮らしやすいまちだと思いますか		暮らしやすい	どちらかといえば暮らしやすい	どちらかといえば暮らしにくい	暮らしにくい	どちらともいえない	無回答	総計(人)
総計(人)		74	327	179	100	133	24	837
性別	男性	9.4%	38.8%	21.8%	12.1%	16.4%	1.5%	330
	女性	8.8%	39.6%	20.8%	11.8%	15.7%	3.2%	432
	その他	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	5
	無回答	7.1%	40.0%	21.4%	10.0%	14.3%	7.1%	70
年齢	18～19歳	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	20.8%	25.0%	25.0%	16.7%	12.5%	0.0%	24
	30～39歳	8.9%	40.0%	22.2%	13.3%	13.3%	2.2%	45
	40～49歳	8.3%	35.7%	26.2%	17.9%	11.9%	0.0%	84
	50～59歳	11.4%	29.1%	19.0%	19.0%	21.5%	0.0%	79
	60～69歳	6.1%	42.7%	22.6%	11.0%	16.5%	1.2%	164
	70～79歳	7.2%	40.1%	22.8%	11.8%	15.2%	3.0%	237
	80歳以上	11.1%	43.9%	16.9%	6.3%	15.9%	5.8%	189
	無回答	0.0%	16.7%	25.0%	0.0%	33.3%	25.0%	12
地域	木部	9.6%	34.6%	23.1%	7.7%	23.1%	1.9%	52
	畑迫	6.3%	34.9%	28.6%	11.1%	19.0%	0.0%	63
	津和野	4.0%	37.9%	22.8%	16.5%	15.8%	2.9%	272
	小川	12.3%	31.6%	28.1%	10.5%	15.8%	1.8%	57
	左鎧	25.0%	41.7%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	24
	日原	7.6%	51.5%	13.6%	9.1%	15.2%	3.0%	66
	須川	0.0%	50.0%	15.0%	5.0%	25.0%	5.0%	20
	滝元	8.8%	32.4%	5.9%	26.5%	20.6%	5.9%	34
	枕瀬	16.9%	45.8%	25.4%	5.1%	6.8%	0.0%	59
	池河	10.7%	44.0%	17.3%	6.7%	17.3%	4.0%	75
	商人・溪村	13.3%	46.7%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%	15
	青原	14.9%	36.8%	23.0%	13.8%	8.0%	3.4%	87
	無回答	0.0%	15.4%	23.1%	7.7%	30.8%	23.1%	13
状況	定住者	9.7%	41.5%	16.5%	11.0%	17.8%	3.4%	236
	Uターン	9.1%	38.4%	23.0%	13.6%	14.8%	1.2%	331
	Iターン	7.7%	38.2%	25.2%	11.0%	15.4%	2.4%	246
	無回答	8.3%	33.3%	8.3%	8.3%	16.7%	25.0%	24
職業	農林水産業	4.3%	42.6%	21.3%	8.5%	19.1%	4.3%	47
	自営業	6.9%	44.8%	25.9%	3.4%	19.0%	0.0%	58
	会社員（企業勤務者）	7.0%	38.0%	20.9%	18.6%	15.5%	0.0%	129
	団体職員	4.8%	33.3%	23.8%	14.3%	23.8%	0.0%	21
	公務員・教員	6.8%	43.2%	29.5%	13.6%	6.8%	0.0%	44
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	10.9%	35.7%	19.4%	14.0%	16.3%	3.9%	129
	学生	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	9.4%	43.8%	19.8%	13.5%	11.5%	2.1%	96
	無職	9.4%	40.4%	20.8%	8.6%	16.1%	4.7%	255
	その他	16.7%	33.3%	16.7%	13.3%	20.0%	0.0%	30
	無回答	4.3%	17.4%	30.4%	8.7%	26.1%	13.0%	23

No.		1	2	3	4	5	6	
問11-1 今後も津和野町に住み続けたいと思いますか		住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	どちらともいえない	無回答	総計(人)
総計(人)		297	236	93	38	130	43	837
性別	男性	39.7%	26.7%	9.4%	4.5%	15.5%	4.2%	330
	女性	30.8%	31.7%	12.7%	4.4%	15.7%	4.6%	432
	その他	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	5
	無回答	47.1%	14.3%	7.1%	5.7%	12.9%	12.9%	70
年齢	18～19歳	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	3
	20～29歳	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	24
	30～39歳	11.1%	57.8%	11.1%	8.9%	11.1%	0.0%	45
	40～49歳	19.0%	35.7%	20.2%	3.6%	20.2%	1.2%	84
	50～59歳	31.6%	25.3%	16.5%	3.8%	21.5%	1.3%	79
	60～69歳	32.3%	27.4%	12.2%	6.1%	17.7%	4.3%	164
	70～79歳	46.0%	21.1%	7.6%	3.8%	16.0%	5.5%	237
	80歳以上	42.3%	29.6%	6.3%	2.1%	10.1%	9.5%	189
	無回答	16.7%	16.7%	16.7%	8.3%	16.7%	25.0%	12
地域	木部	28.8%	34.6%	9.6%	5.8%	13.5%	7.7%	52
	畑迫	30.2%	31.7%	7.9%	4.8%	17.5%	7.9%	63
	津和野	29.8%	27.6%	14.3%	7.0%	17.3%	4.0%	272
	小川	49.1%	15.8%	8.8%	3.5%	14.0%	8.8%	57
	左鎧	50.0%	20.8%	4.2%	0.0%	25.0%	0.0%	24
	日原	31.8%	40.9%	9.1%	1.5%	7.6%	9.1%	66
	須川	35.0%	30.0%	10.0%	5.0%	15.0%	5.0%	20
	滝元	38.2%	29.4%	8.8%	14.7%	5.9%	2.9%	34
	枕瀬	45.8%	27.1%	13.6%	0.0%	11.9%	1.7%	59
	池河	37.3%	25.3%	9.3%	1.3%	21.3%	5.3%	75
	商人・溪村	46.7%	40.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	15
	青原	41.4%	26.4%	11.5%	2.3%	17.2%	1.1%	87
	無回答	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	15.4%	23.1%	13
状況	定住者	48.3%	24.6%	6.4%	4.2%	10.6%	5.9%	236
	Uターン	36.6%	26.9%	11.5%	4.2%	16.0%	4.8%	331
	Iターン	22.0%	34.6%	14.6%	4.9%	20.3%	3.7%	246
	無回答	33.3%	16.7%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	24
職業	農林水産業	44.7%	25.5%	4.3%	2.1%	17.0%	6.4%	47
	自営業	41.4%	25.9%	8.6%	0.0%	17.2%	6.9%	58
	会社員（企業勤務者）	24.8%	32.6%	12.4%	7.0%	19.4%	3.9%	129
	団体職員	33.3%	23.8%	23.8%	4.8%	14.3%	0.0%	21
	公務員・教員	29.5%	29.5%	18.2%	9.1%	13.6%	0.0%	44
	パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	29.5%	24.8%	18.6%	3.1%	22.5%	1.6%	129
	学生	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5
	家事専業	41.7%	30.2%	5.2%	5.2%	14.6%	3.1%	96
	無職	41.6%	27.8%	8.6%	3.9%	10.2%	7.8%	255
	その他	33.3%	33.3%	6.7%	6.7%	13.3%	6.7%	30
	無回答	17.4%	26.1%	13.0%	4.3%	21.7%	17.4%	23